
子ども・子育て支援に関する調査

報告書

令和6年3月

木更津市

目 次

第Ⅰ章 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査の実施方法・期間等	2
3. 報告書を読む際の留意点	2
第Ⅱ章 調査結果の概要	3
1. 就学前児童・保護者調査結果（概要）	3
2. 小学生・保護者調査結果（概要）	7
第Ⅲ章 就学前児童・保護者調査結果（詳細）	9
1. 住まいの地区について【問 1】	9
2. 子どもと家族の状況について【問 2～問 5】	10
3. 子育てを支える環境について【問 6～問 10】	12
4. 保護者の就労状況について【問 11～問 15】	14
5. 子どもが通っている教育・保育施設の利用について【問 16～問 24】	21
6. 地域の子育て支援センターについて【問 25～問 30】	29
7. 休日や長期休暇中の保育園・幼稚園などの利用希望について【問 31～問 33】	35
8. 病気の際の対応について【問 34～問 39】	39
9. 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について【問 40～問 42】	43
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について【問 43～問 49】	46
11. 育児休業など職場の両立支援制度について【問 50～問 54】	55
12. 子どもの気になるところについて【問 55～問 57】	61
13. 子育て支援施策の全般について【問 58～問 60】	64
第Ⅳ章 小学生・保護者調査結果（詳細）	66
1. 住まいの地区について【問 1】	66
2. 子どもと家族の状況について【問 2～問 5】	67
3. 子育てを支える環境について【問 6～問 9】	68
4. 保護者の就労状況について【問 10～問 14】	70
5. 病気の際の対応について【問 15～問 20】	77
6. 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について【問 21～問 23】	80
7. 小学校での放課後の過ごし方について【問 24～問 29】	83
8. 子どもの気になるところについて【問 30～問 32】	89
9. 子育て支援施策の全般について【問 33～問 35】	92

第 I 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「(仮称) 木更津市子ども・子育て支援事業計画 (第3期)」を策定するにあたり、保育や子育て支援サービスなどのニーズ量の把握とともに、子育て世帯の就労実態や要望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査の実施方法・期間等

(1) 対象者

本市に住民登録している「就学前児童」及び「小学生」の保護者から無作為抽出した 2,000 人

(2) 実施方法

調査ハガキの配布、WEB (インターネット) による回収 (※希望者には調査票郵送・回収)

(3) 実施期間

令和 6 (2024) 年 1 月 26 日 (金) ～ 2 月 11 日 (日)

(4) 回収状況

配布数 2,000 票、有効回収数 686 件 (Web 分 685 件、郵送分 1 件)、回収率 34.3%

調査対象	調査対象数 (配布件数)	回収件数	回収率
就学前児童・保護者	1,300 件	448 件	34.5%
小学生・保護者	700 件	238 件	34.0%
合計	2,000 件	686 件	34.3%

3. 報告書を読む際の留意点

(1) 集計結果の端数処理

- 回答率 (回答した人の割合) は、小数点第 2 位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が 100%にならない場合や、図表中の合計値と文章中に表記した数値が一致していない場合があります。
- 図表中にある「n」は、設問の回答総数を示しています。また、有効ではない回答については、回答総数から除いているため、「n」と有効回収数 (686 件) は必ずしも一致しない場合があります。
- 回答率は、その設問の回答数を母数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると 100%を超えています。

(2) その他

- 母集団 1 万人の標本調査において、信頼水準 95%とした場合、統計上必要とされるサンプル数は 385 件程度とされています。本調査の対象となる母集団は約 1 万人、回収数 686 件であるため、統計上有効な数値であると考えられます。
- ※一般的に国などが行っている標本調査も信頼水準 95%で設計

第Ⅱ章 調査結果の概要

1. 就学前児童・保護者調査結果（概要）

（１）家族の状況や子育てを支える環境について

- 配偶者の有無を見ると、「配偶者がいる」が9割半ば（95.3%）、「配偶者はいない」が1割未満（4.7%）となっています。
- 子どもをみてもらえる親族・知人の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が6割弱（58.0%）、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が2割半ば（25.0%）、「いずれもない」が2割程度（21.0%）となっています。
 - 親族や友人・知人に子どもをみてもらえる人が多くいる中で、子どもをみてもらえない人が2割以上も存在しています。
- 気軽に相談できる人の有無をみると、「いる」が9割弱（88.8%）と大半を占める一方で、「いない」が1割強（11.2%）となっています。
- 子育てをする上での相談場所の有無をみると、「ない」が4割半ば（45.8%）となっています。
- 相談先をみると、「保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園」が6割程度（56.0%）と最も多く、次いで「地域子育て支援センター」が3割半ば（36.6%）、「医療機関」1割強（13.2%）となっています。
 - 気軽に相談できる人は多くの人にいる一方で、子育てに関する相談場所のない人が半数近く存在していることがうかがえます。

（２）保護者の就労状況について

- 母親の就労状況をみると、「現在は就労していない」が3割程度（29.7%）と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」が2割半ば（24.8%）、「フルタイムで就労中」が2割強（21.0%）となっています。
- 父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労中」が9割強（91.5%）と、大半の方がフルタイムで働いています。

（３）子どもが通っている教育・保育施設の利用について

- 教育・保育施設の利用の有無をみると、「利用している」が5割弱（47.8%）、「利用していない」が5割強（52.2%）となっています。
- 現在利用している教育・保育施設をみると、「認可保育所」が3割半ば（34.6%）と最も多く、次いで、「幼稚園」が2割強（22.4%）、「認定こども園」が2割強（23.8%）となっています。
- 一方で、教育・保育施設の利用希望をみると、「認可保育所」が5割半ば（55.1%）と最も多く、次いで「幼稚園」が5割弱（48.9%）、「認定こども園」が4割強（42.2%）となっています。
 - 利用希望と実際の利用状況と比較すると、「認可保育所」が20.5ポイント、「幼稚園」が26.5ポイント、「認定こども園」が18.4ポイント、利用希望が実際の利用状況を上回っていることから、保護者の希望と実際の利用の間に乖離があることがうかがえます。
- 教育・保育施設を利用していない人（52.2%）の内、利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため」が5割弱（47.0%）、「利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない」が2割強（21.4%）となっています。

- 市内の教育・保育施設の受け皿が不十分であることを理由に、教育・保育施設を利用できていない人（「利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない」）が2割強存在することがうかがえます。

（４）休日や長期休暇中の保育園・幼稚園などの利用希望について

- 土曜日の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」が3割程度（29.5%）、「ほぼ毎週利用したい」が1割強（12.7%）となっています。日曜日・祝日の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」が2割半ば（24.8%）、「ほぼ毎週利用したい」が1割弱（5.4%）となっています。長期休暇中の利用希望をみると、「週に数日利用したい」が4割半ば（45.8%）、「ほぼ毎日利用したい」が1割半ば（14.6%）となっています。
- 土曜日に利用したいと考える割合は4割強（42.2%）、日曜日・祝日に利用したいと考える割合は、3割程度（30.2%）となっています。長期休暇中に利用したいと考える割合は6割程度（60.4%）となっています。
- 休日に利用したい理由をみると、「保護者の就労のため」が7割半ば（75.5%）と最も多く、次いで「保護者の休養のため」が2割程度（20.3%）となっています。
- 就労のためだけでなく、休養のために利用したいと考える人が2割以上存在することがうかがえます。

（５）子育て支援センター・子育て関連事業の利用状況について

- 子育て支援センターの利用状況をみると、「利用している」が2割半ば（25.2%）、「利用していない」が7割半ば（74.8%）となっています。
- 今後の利用意向をみると、「今後は利用したい」が2割弱（18.3%）、「今後は利用を増やしたい」が1割半ば（14.3%）となっています。
- 今後利用したいと考える割合は、3割強（32.6%）程度と、現在利用している割合（25.2%）を上回っており、利用希望と実際の利用状況に乖離があることがうかがえます。
- 子育て支援センターの利用目的をみると、「子ども同士で遊ばせたい」が5割半ば（55.5%）と最も多く、次いで「一時保育のため」が1割半ば（15.8%）、「子育てなどの相談がしたい」が1割強（11.6%）となっています。また、子育て支援センターに期待することをみると、「一時保育の拡大」が33.7%と最も多くなっています。次いで、「企画、イベントの充実」が32.8%、「育児相談、健康相談の充実」が26.3%となっています。
- 一方で、子育て支援センターを利用しない理由をみると、「利用の必要性を感じていない」が5割弱（46.9%）と最も多く、次いで「子どもを連れて行きたい日程や時間が合わない」が3割強（32.2%）となっています。
- 「子どもを連れて行きたい日程や時間が合わない」ことを理由に、子育て支援センターを利用していない方が3割以上存在することを踏まえると、「一時保育の拡大」や「企画、イベントの充実」などにより利用者の増加が見込めます。
- 子育て関連事業の利用意向をみると、「②保育園の園庭開放」が5割強（51.1%）と最も多く、次いで「⑦子育て応援サイト」が5割程度（50.9%）、「④木更津妊娠・子育て応援ブック」が5割弱（48.0%）となっているほか、その他、全ての項目において3割以上の利用意向がうかがえます。
- 一方で、“知らない”と回答した割合をみると、「⑥家庭教育学級（公民館）」は7割半ば（76.6%）、「⑦子育て応援サイト（子育て支援課）」は5割強（51.3%）、「⑨産後ケアサービス（健康推進課）」は5割強（52.0%）となっています。
- 現在実施している子育て関連事業には一定のニーズが存在しますが、中には認知率が半分に満たない事業も存在するなど、特に事業の周知に課題があると考えられます。

(6) 病気の際の対応について

- 子どもが病気やケガで保育園や幼稚園などを休んだことの有無をみると、「あった」が9割強(91.1%)、「なかった」が1割未満(8.9%)となっています。その際の対応方法をみると、「母親が休んだ」が7割半ば(76.4%)と最も多く、次いで「父親が休んだ」が5割程度(50.8%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が3割弱(28.2%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が2割弱(17.4%)となっています。
- 母親または父親が仕事を休んで対応した回答者の病児・病後児のための保育施設などの利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が5割強(51.3%)となっています。また、病児・病後児の保育を利用する場合の希望施設をみると、「通っている園」が5割強(53.3%)と最も多く、次いで「小児科医などの併設施設」が3割程度(30.8%)、「自宅」が1割半ば(15.4%)となっています。
 - 半数程度が病児・病後児保育施設の利用を希望しており、利用先として「通っている園」(5割強)、「小児科医などの併設施設」(3割程度)を希望する人が比較的多いことから、利用ニーズを踏まえた病児・病後児保育の提供体制のあり方の検討が必要です。
- 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休んで対応できる」が7割半ば(75.6%)と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が4割半ば(44.9%)、「施設の質に不安がある」が1割強(12.8%)となっています。
 - 半数程度の人が利用を希望していますが、病児・病後児保育施設や病児・病後児保育そのものに不安があるため、利用が進んでいないことがうかがえます。

(7) 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について

- 突発的な保育の利用有無をみると、「利用している」が1割半ば(14.1%)となっています。また、利用している事業をみると、「一時保育」(8.3%)と「幼稚園の預かり保育」(5.4%)が、いずれも1割未満となっています。
- 突発的な保育の利用希望をみると、「利用したい」が2割弱(18.8%)となっています。利用希望者の利用目的の内訳をみると「保護者や家族の育児疲れ・不安」が7割半ば(75.0%)と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が5割強(53.6%)、「冠婚葬祭」が3割強(31.0%)となっています。
- 突発的な保育を利用していない理由をみると、「利用料金がかかる・高い」が3割弱(28.3%)、「利用料や利用に関する情報がない、またはわからない」が2割強(21.6%)となっています。
 - 利用希望と実際の利用状況を比較すると、利用希望と実際の利用状況の間に乖離があることがうかがえます。
 - また、利用していない理由では「利用料金がかかる・高い」、利用料や利用に関する情報がない、またはわからない」の回答が半数以上を占めており、価格設定と事業の周知に課題があると考えられます。そのため、突発的な保育を利用しやすい情報提供や利用料金の検討が必要です。

(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 小学校の放課後の過ごし方の意向をみると、低学年時は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が5割強(52.2%)と最も多く、次いで「自宅」(45.7%)と「習い事」(41.3%)がともに4割強となっています。高学年時は、「自宅」が7割程度(69.6%)と最も多く、次いで「習い事」が5割強(52.2%)、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が3割半ば(34.8%)、「放課後子ども教室」が2割程度(19.6%)となっています。
- 放課後児童クラブについて、土曜日の利用意向をみると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が2割強(23.1%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が1割半ば(15.4%)となっています。日曜日・祝日の利用意向をみると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が1割強(11.5%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が1割

未満（7.7%）となっています。長期休暇中の利用意向をみると、利用意向では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2割弱（17.4%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が4割強（43.5%）となっています。

- 土曜日に利用したいと考える割合は、4割弱（38.5%）、日曜日・祝日に利用したいと考える割合は、2割程度（19.2%）、長期休暇中に利用したいと考える割合は、6割程度（60.9%）となっており、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中でそれぞれ利用希望者の数が異なります。そのため、利用意向と実績値を考慮した提供体制の検討が必要です。

（9）育児休業など職場の両立支援制度について

- 育児休業の取得状況をみると、母親では、「取得した（取得中である）」が5割半ば（56.7%）であるのに対し、父親は「取得した（取得中である）」が3割弱（27.7%）に留まっています。
- 育児休業を取得していない理由をみると、母親では、「子育てや家事に専念するために退職した」が2割半ば（25.0%）、「収入源となり経済的に苦しくなる」が2割強（22.5%）となっています。父親では、「仕事が忙しかった」が4割半ば（45.3%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が4割強（42.3%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が4割弱（38.4%）となっています。
- 父親は母親と比較して育児休業の取得率が低く、取得しなかった主な理由として「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が挙げられ、仕事や職場環境が理由で育児休業の取得が進んでいないと考えられます。また、母親、父親ともに「収入減となり、経済的に苦しくなる」ことを理由に育児休業を取得しなかった方が2割以上存在します。これらのことから、引き続き子育てと仕事が両立できる環境づくりに向けた取組の検討が必要です。

（10）子どもの気になるところについて

- 子どもの気になるところの有無をみると、「気になるところがある」が2割弱（18.1%）、「気になるところはない」が8割強（81.9%）となっています。
- 気になるところの内訳をみると、「身体面の発達で『気になるところ』がある」が6割弱（58.0%）と最も多く、次いで「情緒面の発達で『気になるところ』がある」が4割程度（39.5%）、「人とかかわり方で『気になるところ』がある」が3割程度（29.6%）となっています。

（11）子育て支援施策の全般について

- 子育て環境や支援の満足度をみると、「どちらともいえない」が35.5%と最も多くなっています。また、「満足している」（9.4%）と「どちらかといえば満足している」（31.3%）を合わせた“満足”が4割程度（40.7%）となっています。一方で、「どちらかといえば満足していない」（11.6%）と「満足していない」（12.3%）を合わせた“不満”が2割強（23.9%）となっています。
- 子育て支援施策に取り組んでいくために重要なことをみると、「子どもが安心して遊べる広場や公園などの整備」が6割弱（58.3%）と最も多く、次いで「一時保育、保育時間の延長など保育サービスの充実」が4割強（42.2%）、「安心して受診できる医療機関の整備」が4割弱（39.7%）、「病児・病後児を安心して預けることができるサービスの充実」が4割弱（37.3%）と、これらが上位項目として挙げられています。
- 一方で、「子どものしつけを学ぶ機会（家庭教育学級など）の充実」（6.3%）と「赤ちゃんとのふれあい体験など、中高生に向けた思春期教育の充実」（5.1%）については、いずれも7%未満と、重要だと考える方は比較的少ないという結果になりました。

2. 小学生・保護者調査結果（概要）

(1) 家族の状況や子育てを支える環境について
○ 配偶者の有無をみると、「配偶者がいる」が9割弱（88.2%）、「配偶者はいない」が1割強（11.8%）となっています。 ○ 気軽に相談できる人の有無をみると、「いる」が9割弱（88.9%）、「いない」が1割程度（10.1%）となっています。 ○ 子育てをする上での相談場所の有無をみると、「ある」が3割弱（26.9%）、「ない」が7割強（73.1%）となっています。相談場所の内訳をみると、「保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園」が3割半ば（35.9%）と最も多く、次いで「医療機関」が3割弱（28.1%）、「地域子育て支援センター」が2割強（21.9%）となっています。 ➤ 気軽に相談できる人は多くの方にいる一方で、子育てに関する相談場所のない人が多く存在していることがうかがえます。
(2) 保護者の就労状況について
○ 母親の就労状況をみると、「フルタイム以外で就労中」が4割強（42.0%）と最も多く、次いで「フルタイムで就労中」が3割強（31.9%）、「現在は就労していない」が2割強（21.0%）となっています。 ○ 父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労中」が9割弱（88.2%）と、大半の方がフルタイムで働いています。
(3) 病気の際の対応について
○ 子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無をみると、「あった」が9割弱（87.4%）、「なかった」が1割強（12.6%）となっています。その際の対応をみると、「母親が休んだ」が7割強（73.1%）と最も多く、次いで、「父親が休んだ」が4割弱（37.0%）、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が2割強（22.1%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が2割強（21.2%）となっています。 ○ 母親または父親が仕事を休んで対応した回答者の病児・病後児のための保育施設などの利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が2割弱（18.0%）となっています。 ➤ 病児・病後児保育施設の利用を希望する人が2割弱と、就学前・保護者の利用意向（51.3%）と比較して利用を希望する人が少ないことがうかがえます。 ○ 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休んで対応できる」が6割弱（56.8%）と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が4割強（42.4%）、「施設の質に不安がある」が2割強（21.2%）となっています。 ➤ 病児・病後児保育施設や病児・病後児保育そのものに不安があるため、利用が進んでいないことがうかがえます。
(4) 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について
○ 突発的な保育の有無をみると、「利用していない」が9割弱（87.4%）となっています。また、利用している事業をみると、「幼稚園の預かり保育」が3.4%、「一時保育」が2.5%といずれも1割未満となっています。 ○ 突発的な保育の利用希望をみると、「利用したい」が1割程度（9.7%）となっており、利用目的の内訳をみると、「保護者や家族の病気」が6割弱（56.5%）と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が4割強（43.5%）、「冠婚葬祭」が3割弱（26.1%）となっています。

- 突発的な保育を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が7割弱(67.8%)と最も多く、次いで「利用料金がかかる・高い」が2割半ば(25.0%)、「利用料や利用に関する情報がない、またはわからない」が2割半ば(24.5%)となっています。

実際の利用状況と利用希望を比較すると、利用希望と実際の利用状況は概ね一致しているものの、利用していない理由では「利用料金がかかる・高い」と「利用料や利用に関する情報がない、またはわからない」の回答が半数近くを占めており、価格設定と事業の周知に課題があると考えられます。そのため、突発的な保育を利用しやすい情報提供や利用料金の検討が必要です。

(5) 小学校での放課後の過ごし方について

- 小学校の放課後の過ごし方をみると、「自宅」が7割弱(68.5%)と最も多く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が4割程度(39.1%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が3割程度(29.4%)となっています。
 - 放課後児童クラブの利用について、就学前児童・保護者の利用意向(低学年時:52.2%、高学年時:34.8%)と小学生・保護者の利用状況(39.1%)を比較すると、概ね一致しており、希望通り利用できる環境が整備されていると考えられます。
- 放課後児童クラブについて、土曜日の利用意向をみると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が2割弱(18.3%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が1割弱(7.5%)となっています。日曜日・祝日の利用意向をみると「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が1割強(11.8%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が1割未満(5.4%)となっています。長期休暇中の利用意向をみると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が3割強(31.9%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が1割半ば(15.1%)となっています。
 - 土曜日、日曜日・祝日の利用意向は、低学年時・高学年時いずれも2割未満と、利用ニーズが少なからず存在しています。また、長期休暇中の利用ニーズは、土曜日、日曜日・祝日よりも高くなっています。これらを踏まえ、利用意向と実績値を考慮した土曜・休日や長期休暇中の提供体制の検討が必要です。

(6) 子どもの気になるところについて

- 子どもの気になるところの有無をみると、「気になるところがある」が3割弱(27.7%)、「気になるところはない」が7割強(72.3%)となっています。
- 気になるところの内訳をみると、「情緒面の発達で『気になるところ』がある」が7割弱(66.7%)と最も多く、次いで「人とのかかわり方で『気になるところ』がある」が4割半ば(45.5%)、「身体面の発達で『気になるところ』がある」が4割弱(39.4%)となっています。

(7) 子育て支援施策の全般について

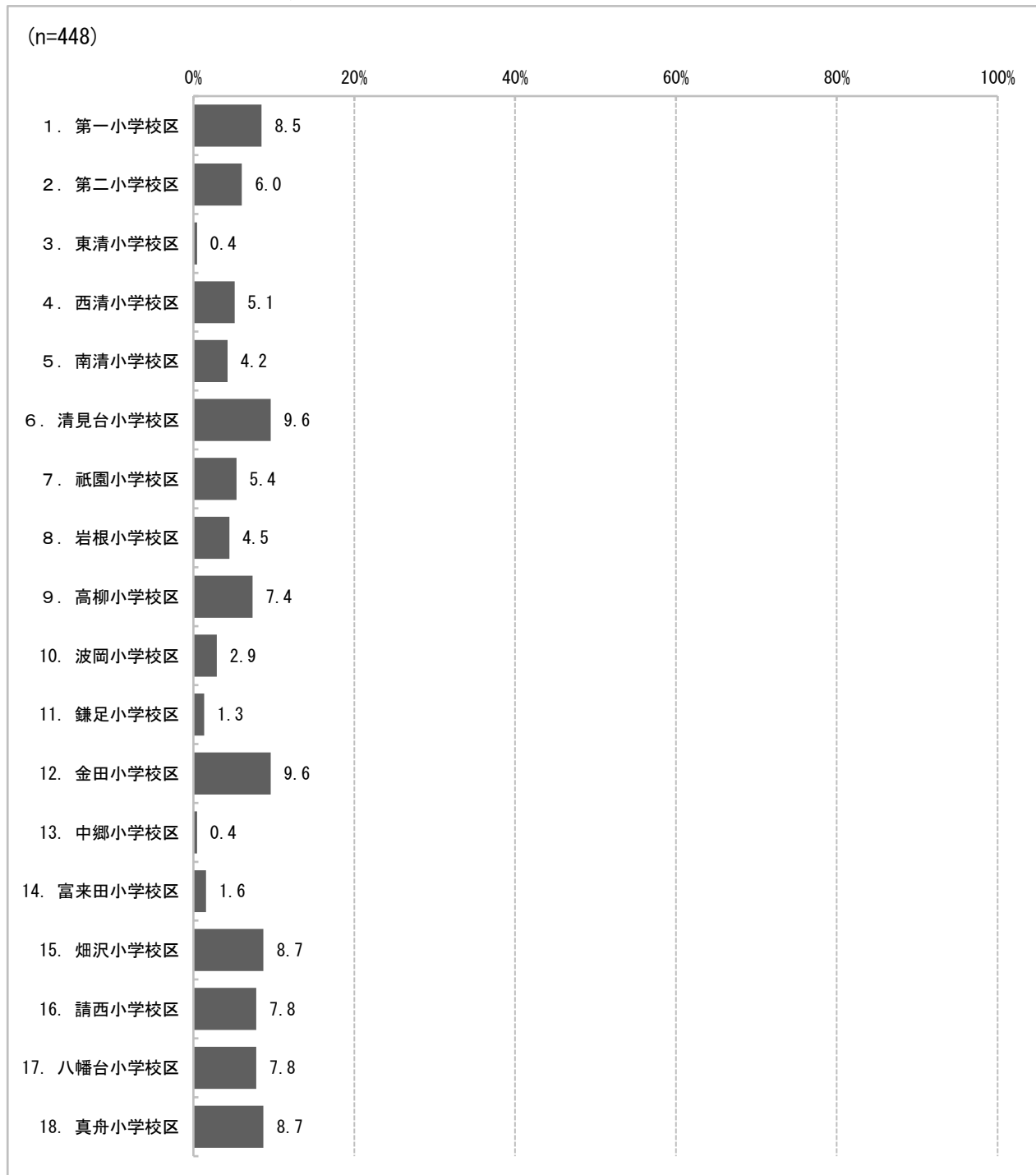
- 子育て環境や支援の満足度をみると、「満足している」(8.4%)と「どちらかといえば満足している」(31.1%)を合わせた“満足”が4割程度(39.5%)となっています。一方で、「どちらかといえば満足していない」(13.0%)と「満足していない」(11.8%)を合わせた“不満”が2割半ば(24.8%)となっています。
- 子育て支援施策に取り組んでいくために重要なことをみると、「子どもが安心して遊べる広場や公園などの整備」(61.8%)、「安心して受診できる医療機関の整備」(43.7%)については、いずれも4割以上となっており、上位項目として挙げられます。
- 一方で、「赤ちゃんとのふれあい体験など、中高生に向けた思春期教育の充実」(2.1%)と「同じ悩みを抱える親同士のつながりを支援する活動の充実」(5.9%)については、いずれも6%未満と、重要だと考える方は比較的少ないという結果になりました。

第三章 就学前児童・保護者調査結果（詳細）

1. 住まいの地区について【問1】

問1 お子さんがお住まいの地区の番号に○を付けてください。（○は1つ）

○ 「清見台小学校区」が9.6%、「金田小学校区」が9.6%、「畑沢小学校区」が8.7%、「真舟小学校区」が8.7%、「第一小学校区」が8.5%となっています。

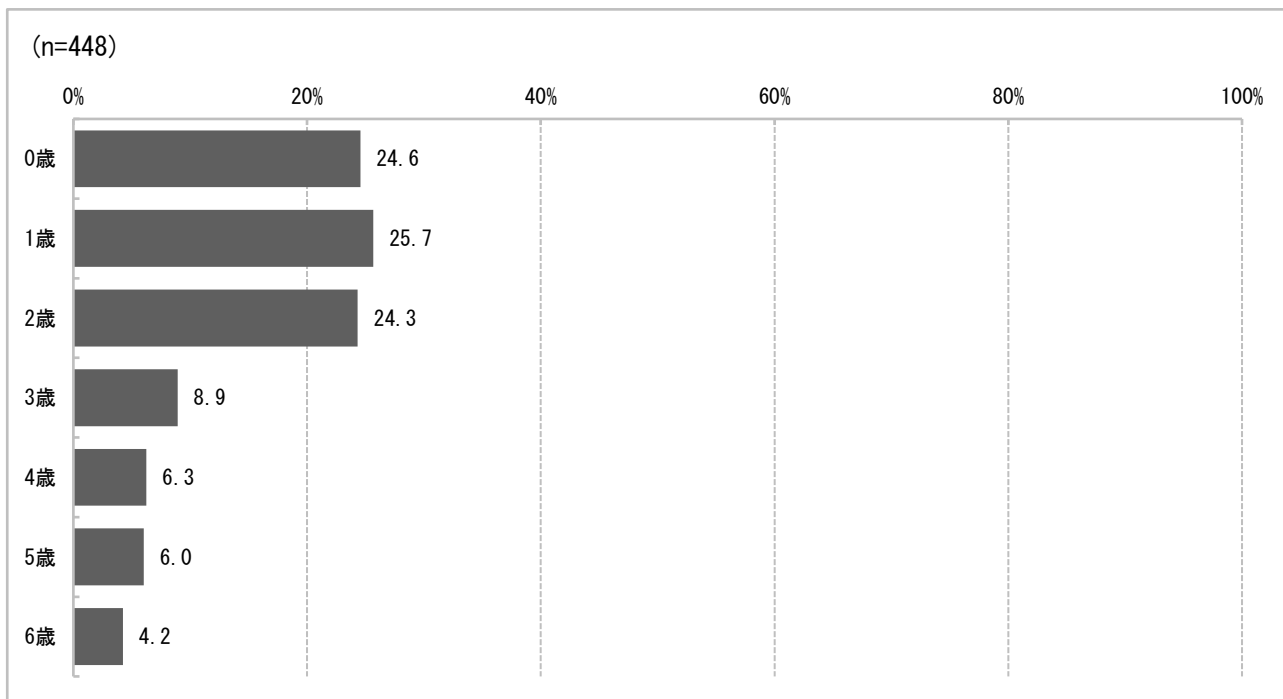


2. 子どもと家族の状況について【問2～問5】

(1) 対象の子どもの年齢〈単数回答〉

問2 回答時点のあて名のお子さんの年齢を選択してください。

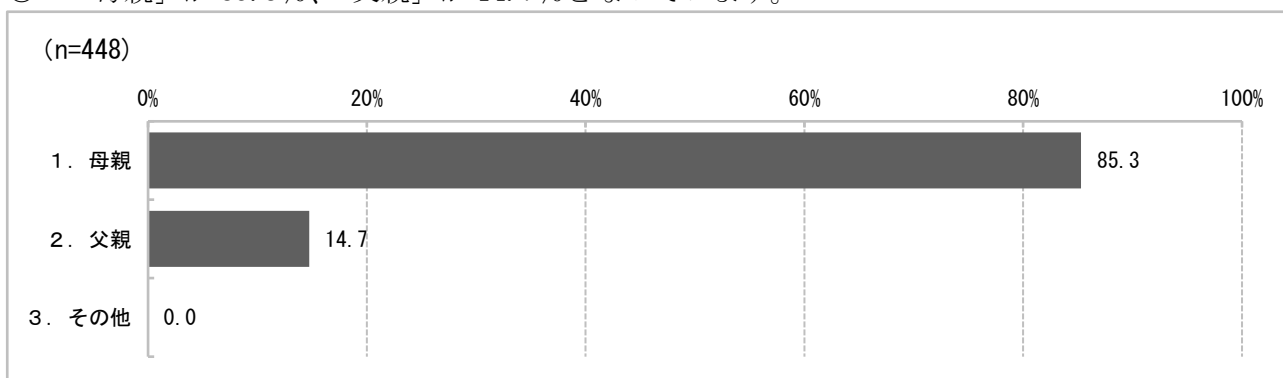
○ 「1歳」が25.7%、「0歳」が24.6%、「2歳」が24.3%となっています。



(2) 調査票の回答者〈単数回答〉

問3 この調査票にご回答をいただいている方はどなたですか。

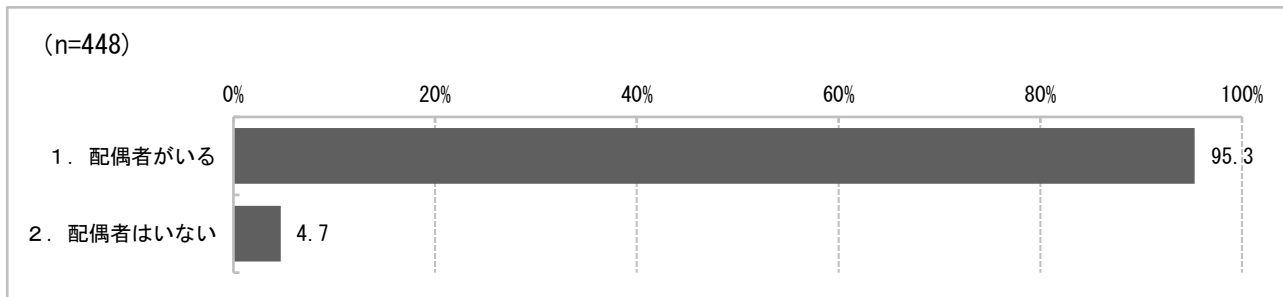
○ 「母親」が85.3%、「父親」が14.7%となっています。



(3) 配偶者の有無〈単数回答〉

問4 調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無について、あてはまる番号に○を付けてください。

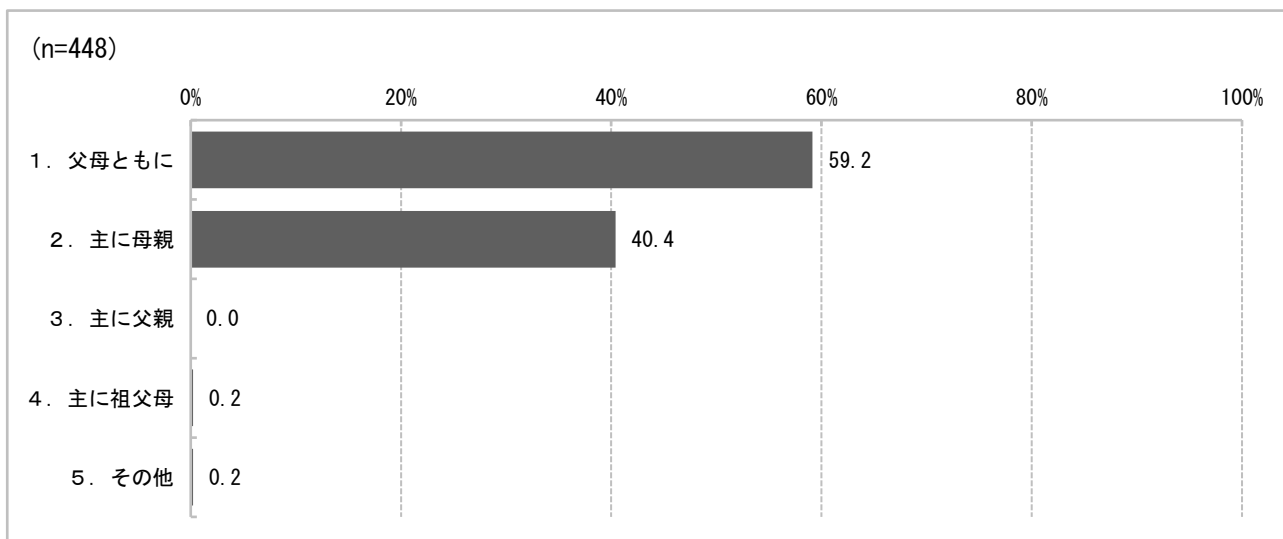
○ 「配偶者がいる」が95.3%、「配偶者はいない」が4.7%となっています。



(4) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉

問5 お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。

○ 「父母ともに」が59.2%と最も多く、次いで「主に母親」が40.4%となっています。

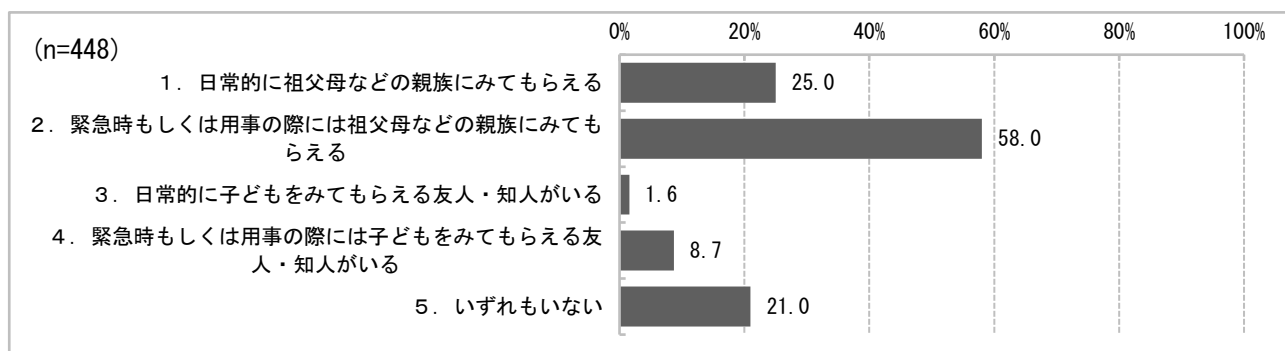


3. 子育てを支える環境について【問6～問10】

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の状況〈複数回答〉

問6 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

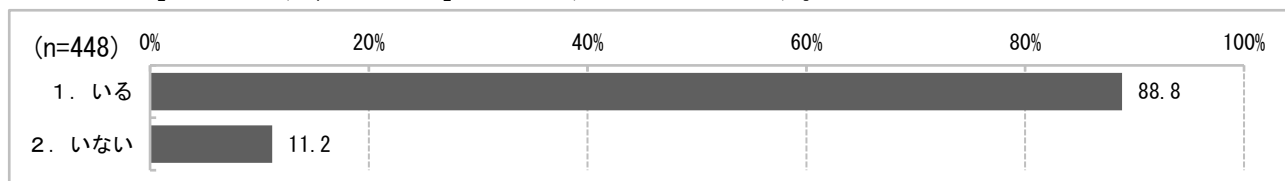
- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が58.0%と最も多くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が25.0%、「いずれもない」が21.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が8.7%、となっています。



(2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無〈単数回答〉

問7 あなたがお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。

- 「いる」が88.8%、「いない」が11.2%となっています。

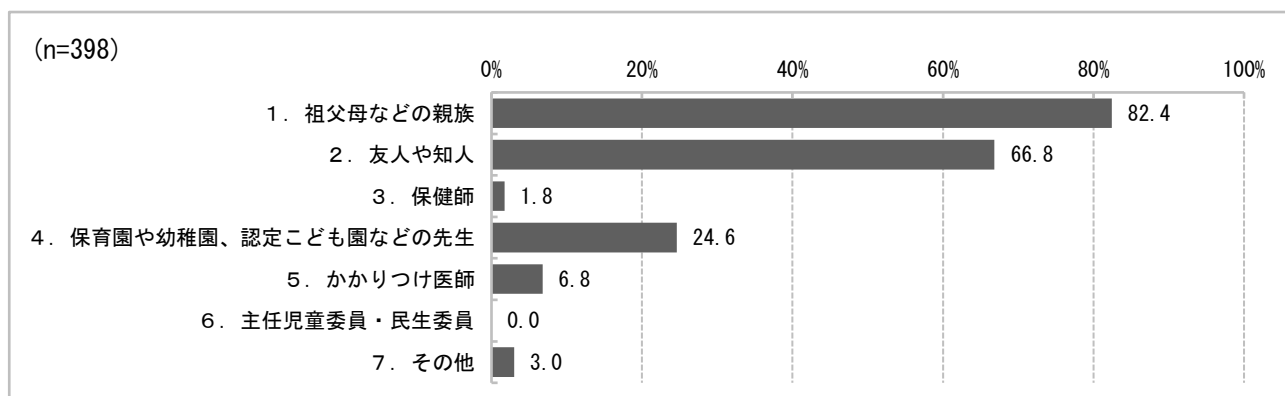


(3) 子育てに関する相談相手〈複数回答〉

問7で「1. いる」に○を付けた方にうかがいます。

問8 子育てに関して、気軽に相談できる人は、誰ですか。

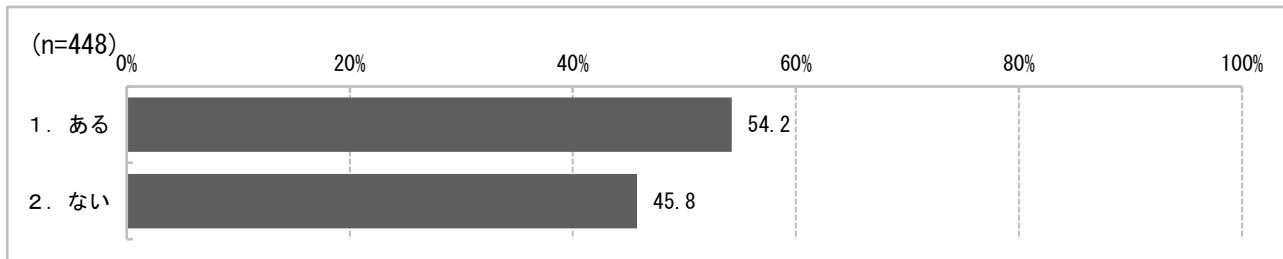
- 「祖父母などの親族」が82.4%と最も多く、次いで「友人や知人」が66.8%、「保育園や幼稚園、認定こども園などの先生」が24.6%となっています。



(4) 子育てをする上での相談場所の有無〈単数回答〉

問9 あなたがお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる場所がありますか。

○ 「ある」が54.2%、「ない」が45.8%となっています。

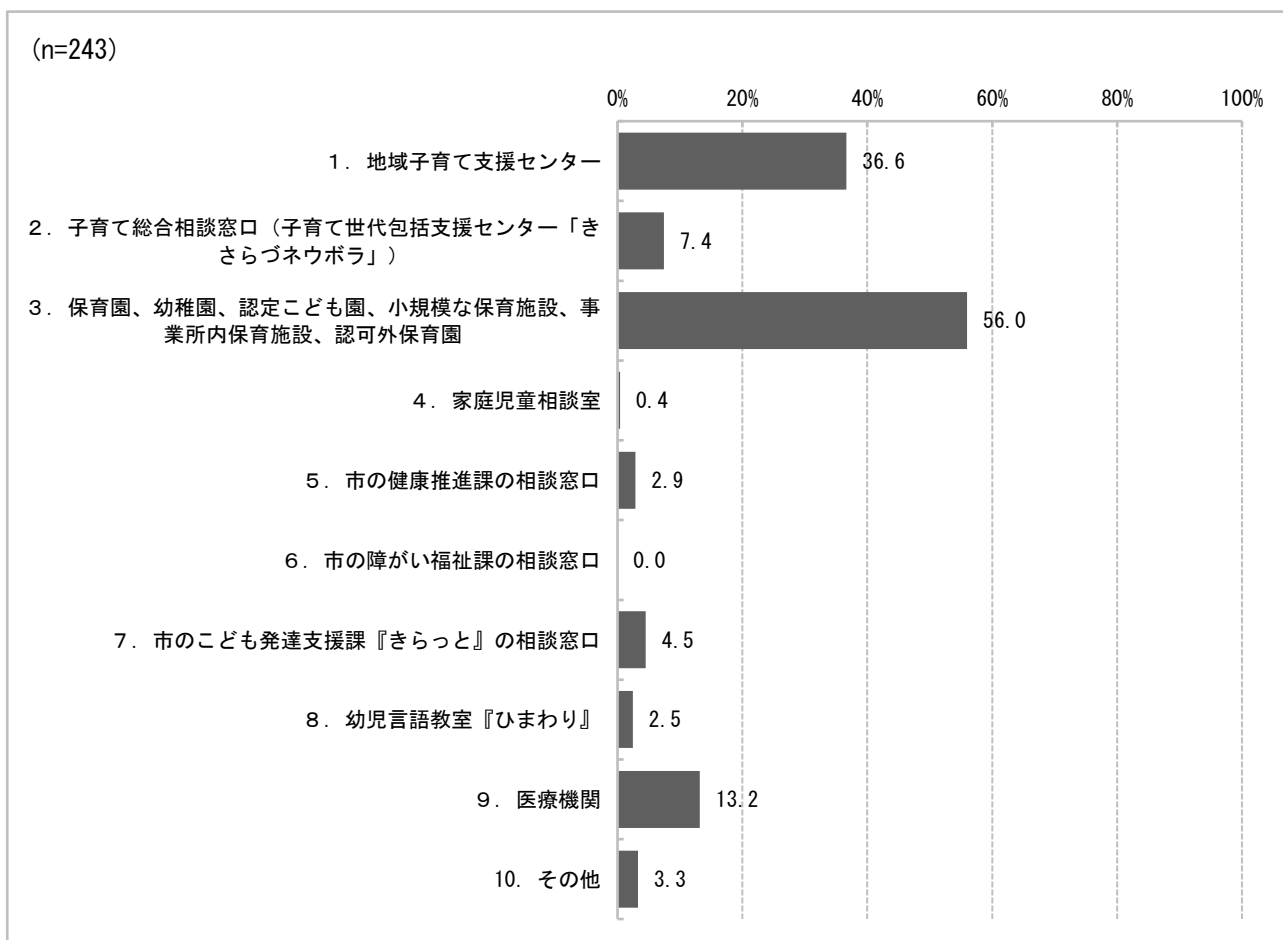


(5) 子育てに関する相談先〈単数回答〉

問9で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます。

問10 子育てに関して、気軽に相談できる場所は、どこですか。

○ 「保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園」が56.0%と最も多く、次いで「地域子育て支援センター」が36.6%、「医療機関」が13.2%となっています。



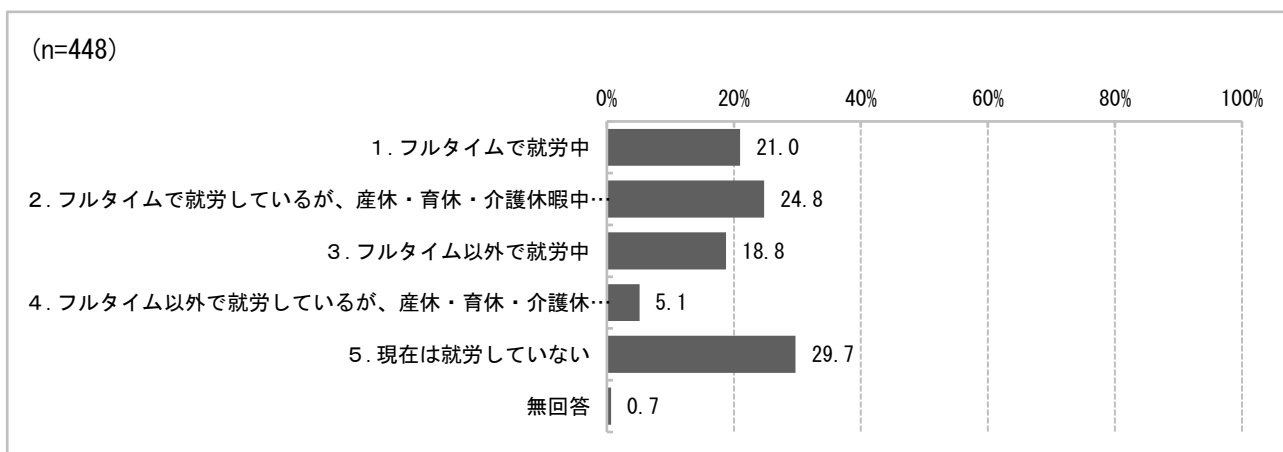
4. 保護者の就労状況について【問 11～問 15】

(1) 保護者の就労状況

問 11 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、あてはまる番号に○を付けてください。

①母親の就労状況〈単数回答〉

- 「現在は就労していない」が 29.7%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」が 24.8%、「フルタイムで就労中」が 21.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「現在は就労していない」が 10.0 ポイント（前回調査：39.7%）前回より少なくなっています。



■子どもの年齢別クロス集計

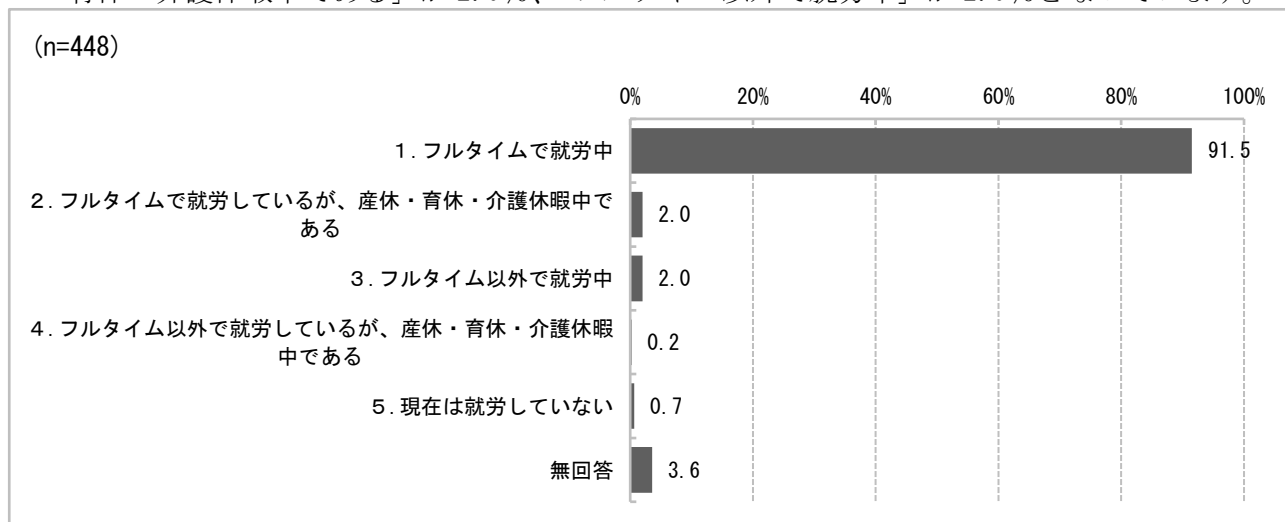
- 母親の就労状況を子どもの年齢別でみると、「フルタイムで就労中」について1歳までが2割未満であるのに対し、2歳以上では2割以上となっています。

単位：%

	全体	1. フルタイムで就労中	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である	3. フルタイム以外で就労中	4. フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休暇中である	5. 現在は就労していない	無回答
全体	(448)	21.0	24.8	18.8	5.1	29.7	0.7
0歳	(110)	3.6	51.8	8.2	10.0	26.4	0.0
1歳	(115)	13.9	32.2	14.8	5.2	33.9	0.0
2歳	(109)	33.9	10.1	20.2	3.7	31.2	0.9
3歳	(40)	27.5	10.0	32.5	2.5	27.5	0.0
4歳	(28)	46.4	0.0	21.4	0.0	28.6	3.6
5歳	(27)	22.2	3.7	37.0	3.7	29.6	3.7
6歳	(19)	36.8	5.3	36.8	0.0	21.1	0.0

②父親の就労状況〈単数回答〉

- 「フルタイムで就労中」が91.5%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」が2.0%、「フルタイム以外で就労中」が2.0%となっています。



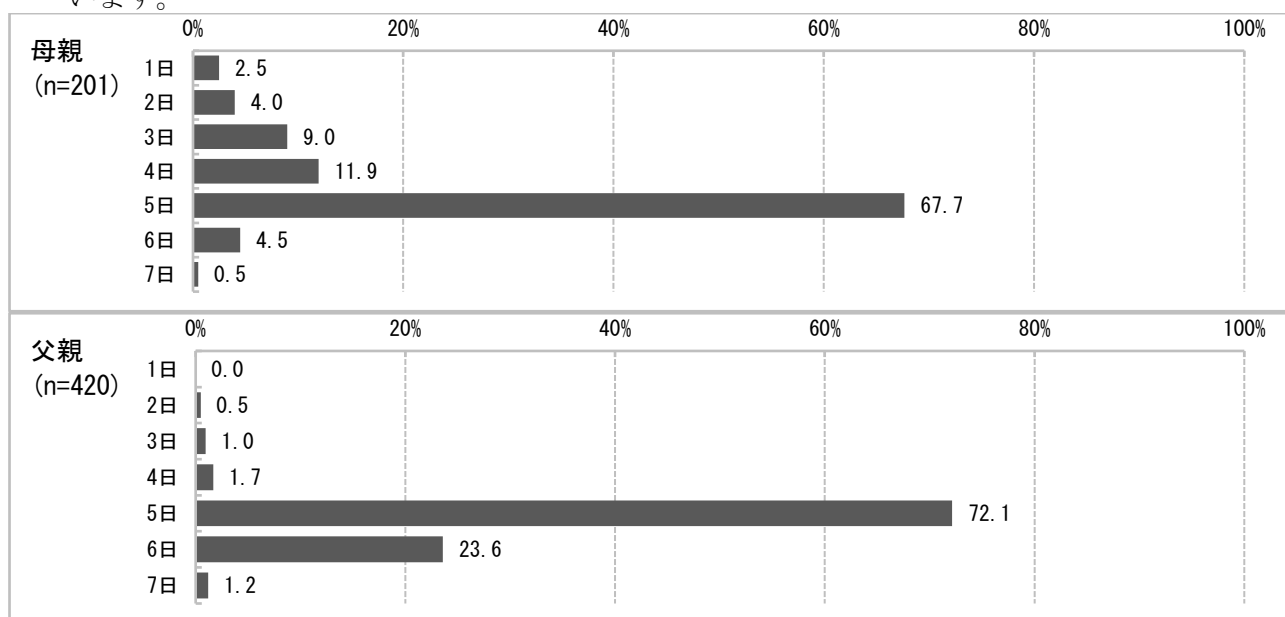
(2) 保護者の就労日数・就労時間

問 11 の母親・父親のどちらかで、「1」から「4」のいずれかに○を付けた方（就労している方）にうかがいます。

問 12 「就労日数」や「就労時間」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、もっとも多いパターンでお答えください。

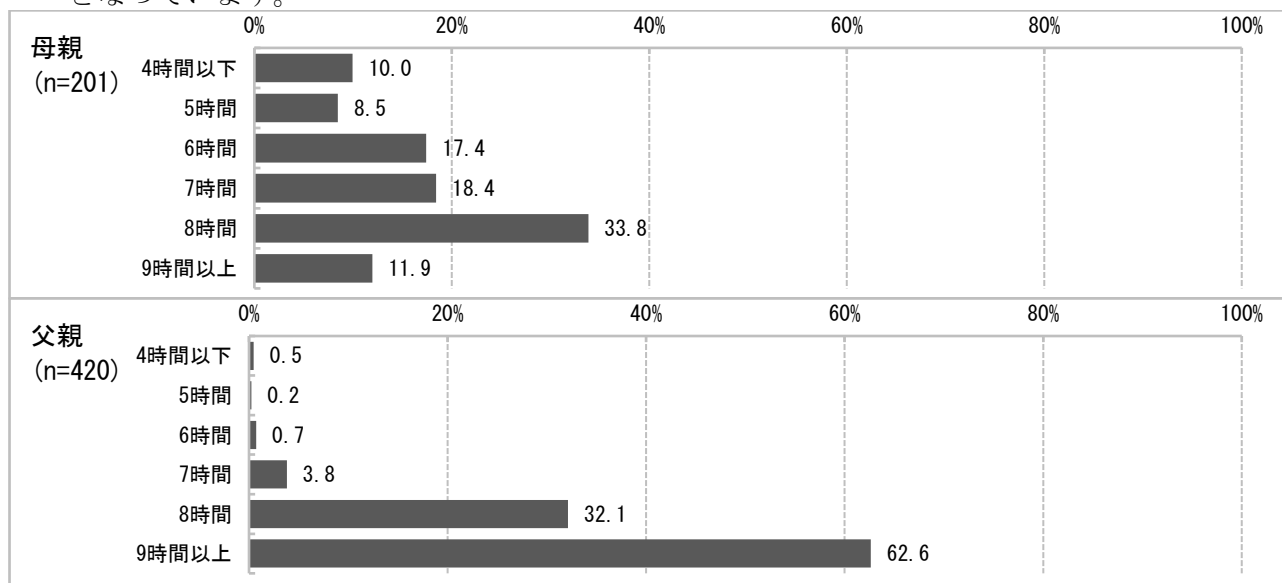
① 1 週あたりの就労日数〈数量回答〉

- 母親では、「5日」が67.7%と最も多く、次いで「4日」が11.9%、「3日」が9.0%となっています。
- 父親では、「5日」が72.1%と最も多く、次いで「6日」が23.6%、「4日」が1.7%となっています。



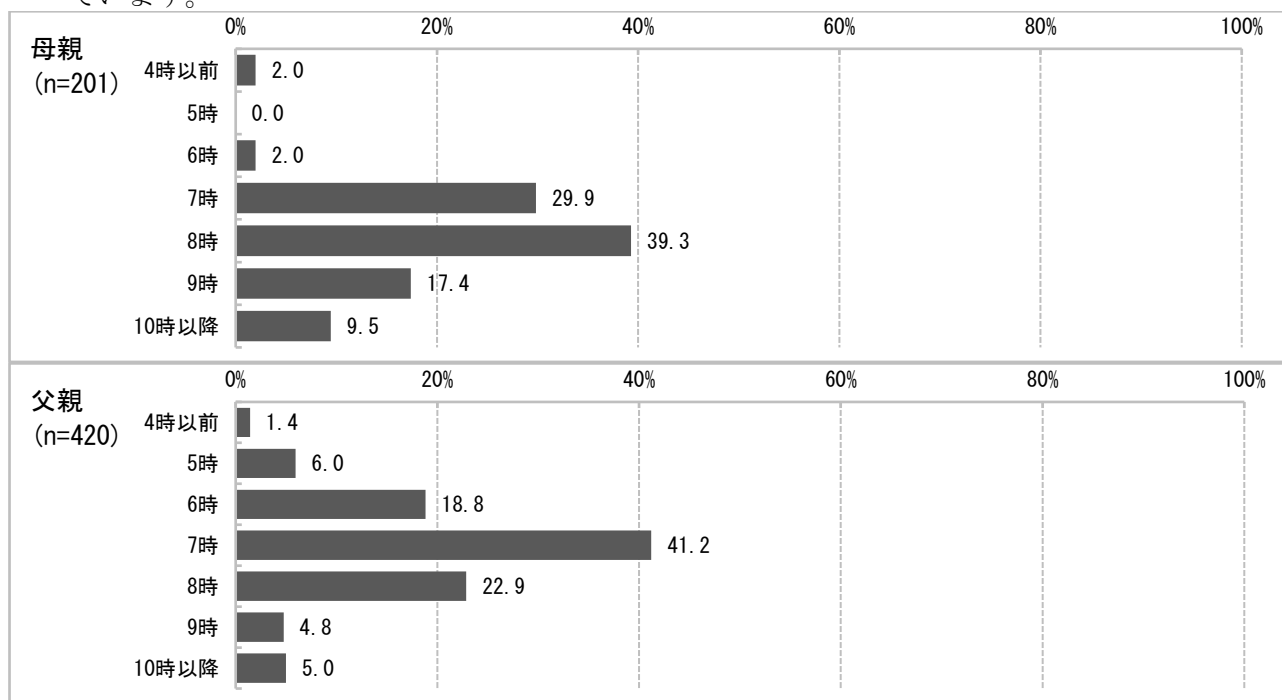
② 1日あたりの就労時間〈数量回答〉

- 母親では、「8時間」が33.8%と最も多く、次いで「7時間」が18.4%、「6時間」が17.4%となっています。
- 父親では、「9時間以上」が62.6%と最も多く、次いで「8時間」が32.1%、「7時間」が3.8%となっています。



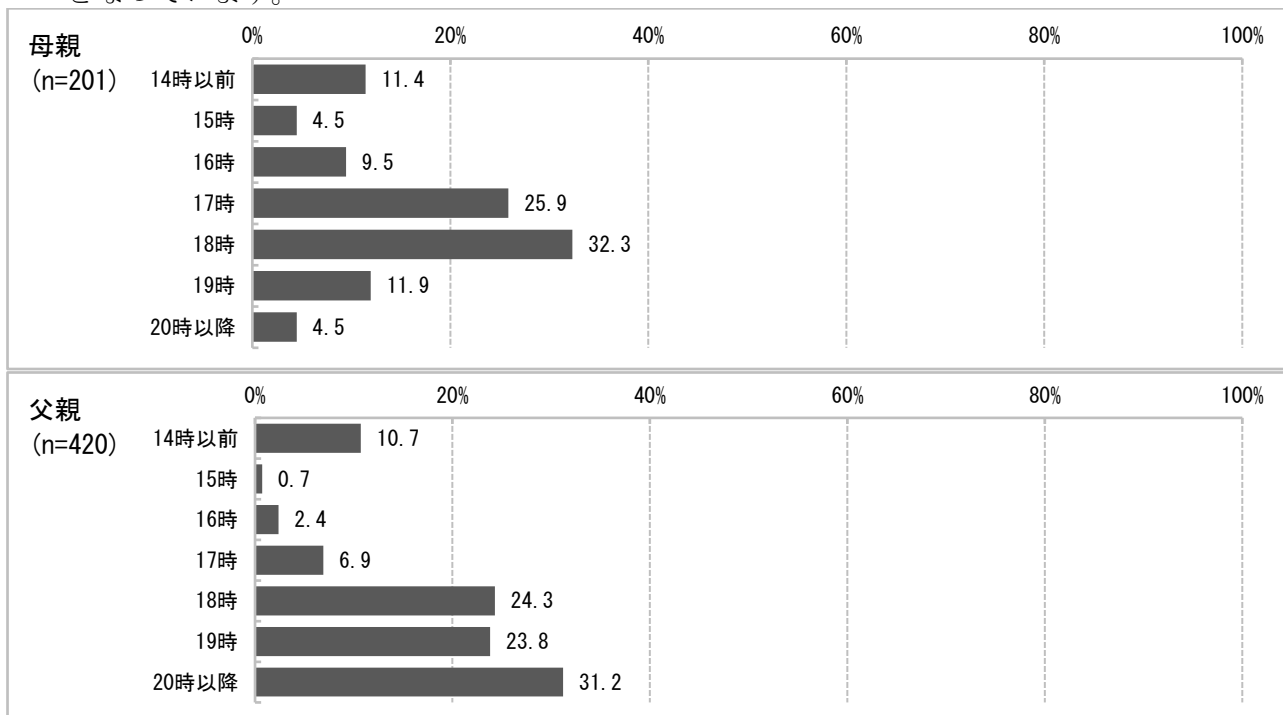
③ 出勤時刻〈数量回答〉

- 母親では、「8時」が39.3%と最も多く、次いで「7時」が29.9%、「9時」が17.4%となっています。
- 父親では、「7時」が41.2%と最も多く、次いで「8時」が22.9%、「6時」が18.8%となっています。



④帰宅時刻〈数量回答〉

- 母親では、「18時」が32.3%と最も多く、次いで「17時」が25.9%、「14時以前」が11.4%、「19時」が11.4%となっています。
- 父親では、「20時以降」が31.2%と最も多く、次いで「18時」が24.3%、「19時」が23.8%となっています。

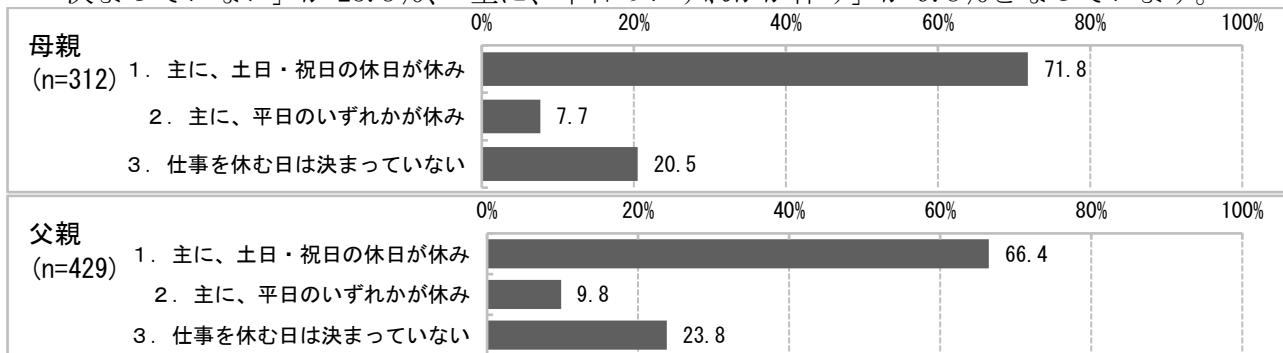


(3) 就労している方の休日の状況

問 11 の母親・父親のどちらかで、「1」から「4」のいずれかに○を付けた方（就労している方）にうかがいます。

問 13 「就労の休みの日」について、もっとも多いパターンはどれですか。

- 母親では、「主に、土日・祝日の休日が休み」が71.8%と最も多く、次いで「仕事を休む日は決まっていない」が20.5%、「主に、平日のいずれかが休み」が7.7%となっています。
- 父親では、「主に、土日・祝日の休日が休み」が66.4%と最も多く、次いで「仕事を休む日は決まっていない」が23.8%、「主に、平日のいずれかが休み」が9.8%となっています。

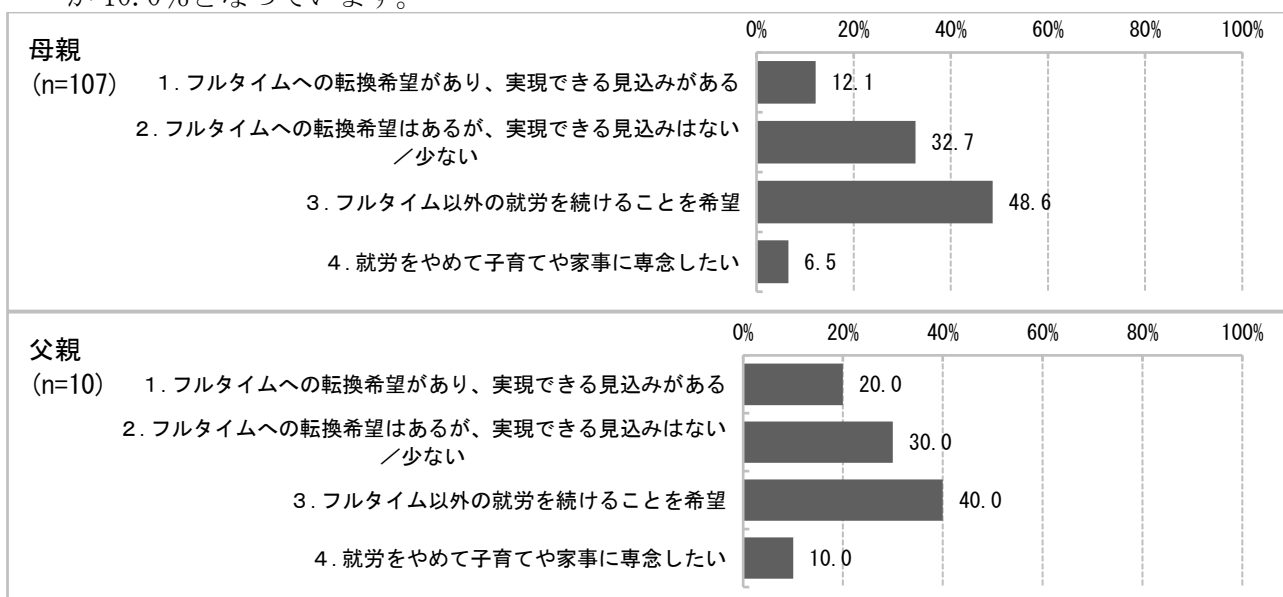


（４）パート・アルバイトなどで就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

問 11 の母親・父親のどちらかで、「３」または「４」のいずれかに○を付けた方（フルタイム以外で就労している方）にうかがいます。

問 14 フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。

- 母親では、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 48.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が 32.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.1%、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」が 6.5%となっています。
- 父親では、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 40.0%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が 30.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 20.0%、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」が 10.0%となっています。



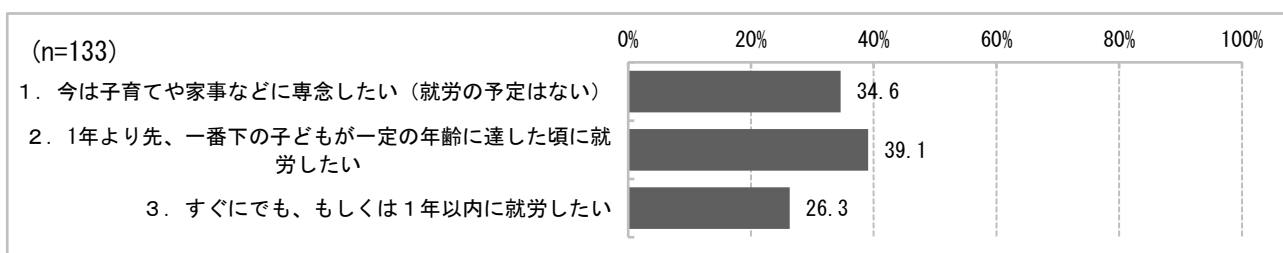
（５）就労していない方の就労希望〈単数回答〉

問 11 の母親・父親のどちらかで、「５」に○を付けた方（就労していない方）にうかがいます。

問 15 就労したいという希望はありますか。

①母親の就労希望〈単数回答〉

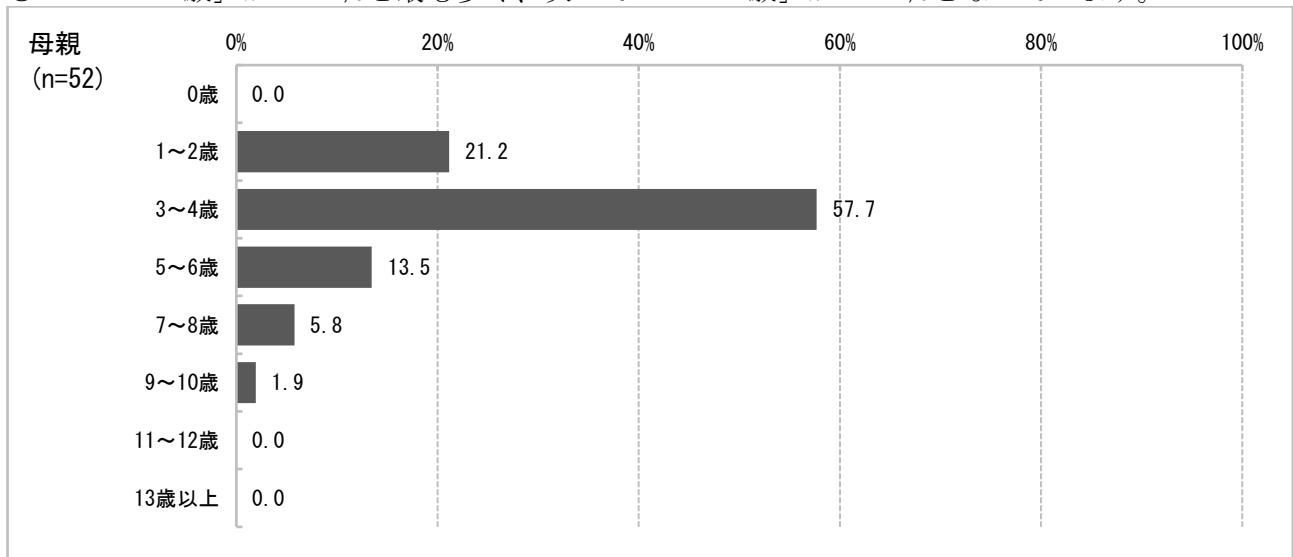
- 「１年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が 39.1%と最も多く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 34.6%、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 26.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「１年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達したころに就労したい」が 3.8 ポイント（前回調査：35.3%）、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 4.4 ポイント（前回調査：30.2%）、前回より多くなっています。



②母親の希望する就労タイミング

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」を選んだ方／数量回答〉

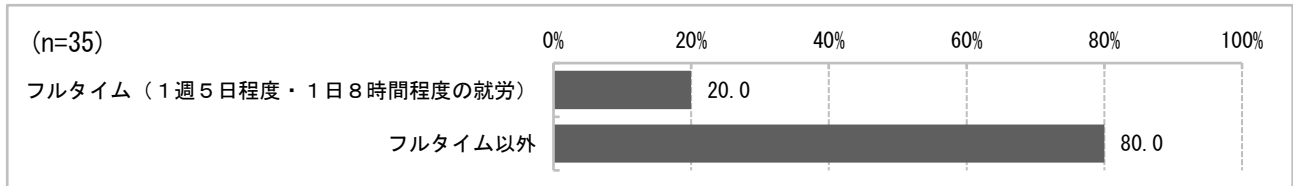
○ 「3～4歳」が57.7%と最も多く、次いで「1～2歳」が21.2%となっています。



③母親の希望する就労形態

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方／単数回答〉

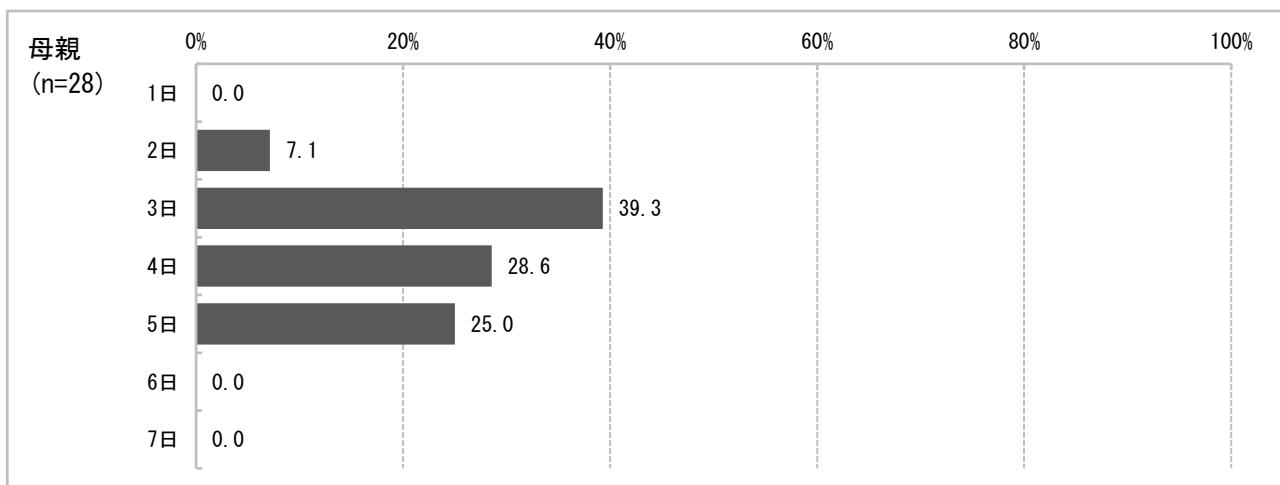
○ 「フルタイム以外」が80.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が20.0%となっています。



④母親の「フルタイム以外」での1週あたり希望就労日数

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

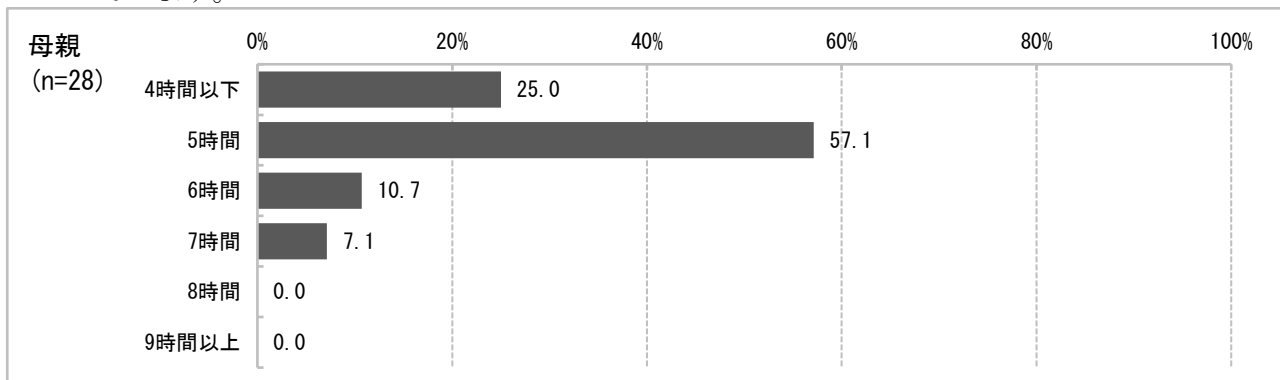
○ 「3日」が39.3%と最も多く、次いで「4日」が28.6%、「5日」が25.0%となっています。



⑤母親の「フルタイム以外」での1日あたり希望就労時間

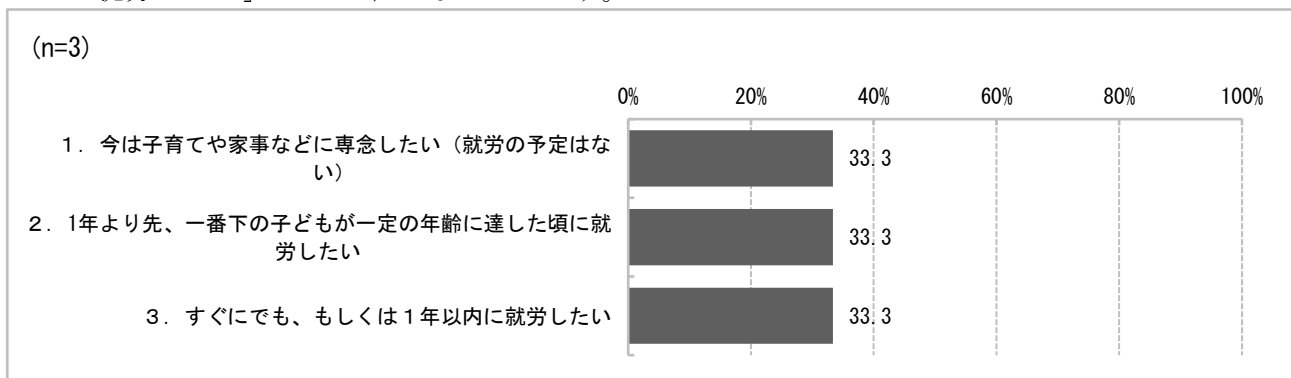
〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

- 「5時間」が57.1%と最も多く、次いで、「4時間以下」が25.0%、「6時間」が10.7%となっています。



⑥父親の就労希望〈単数回答〉

- 「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が33.3%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が33.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.3%となっています。



⑦父親の希望する就労タイミング

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「3～4歳」の回答が1件となっています（回答数が1件のためグラフ省略）。

⑧父親の希望する就労形態

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方／単数回答〉

- 「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」との回答が1件となっています（回答数が1件のためグラフ省略）。

⑨父親の「フルタイム以外」での1週あたり希望就労日数

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

- （※回答なし）

⑩父親の「フルタイム以外」での1日あたり希望就労時間

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

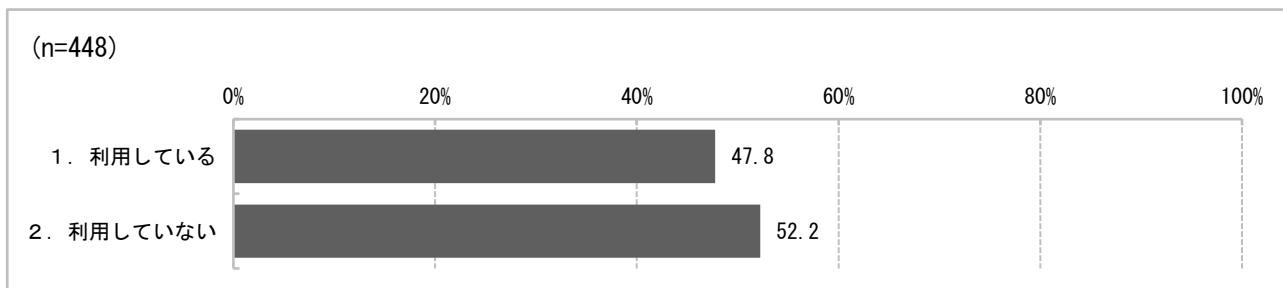
- （※回答なし）

5. 子どもが通っている教育・保育施設の利用について【問 16～問 24】

(1) 現在の教育・保育施設の利用の有無〈単数回答〉

問 16 あて名のお子さんは現在、教育・保育施設を定期的に利用されていますか。

○ 「利用している」が 47.8%、「利用していない」が 52.2%となっています。



■子どもの年齢別クロス集計

○ 利用の有無を子どもの年齢別で「利用している」をみると、0歳では 7.3%、1歳で 30.4%、2歳以上では 60%以上となっています。

単位：%

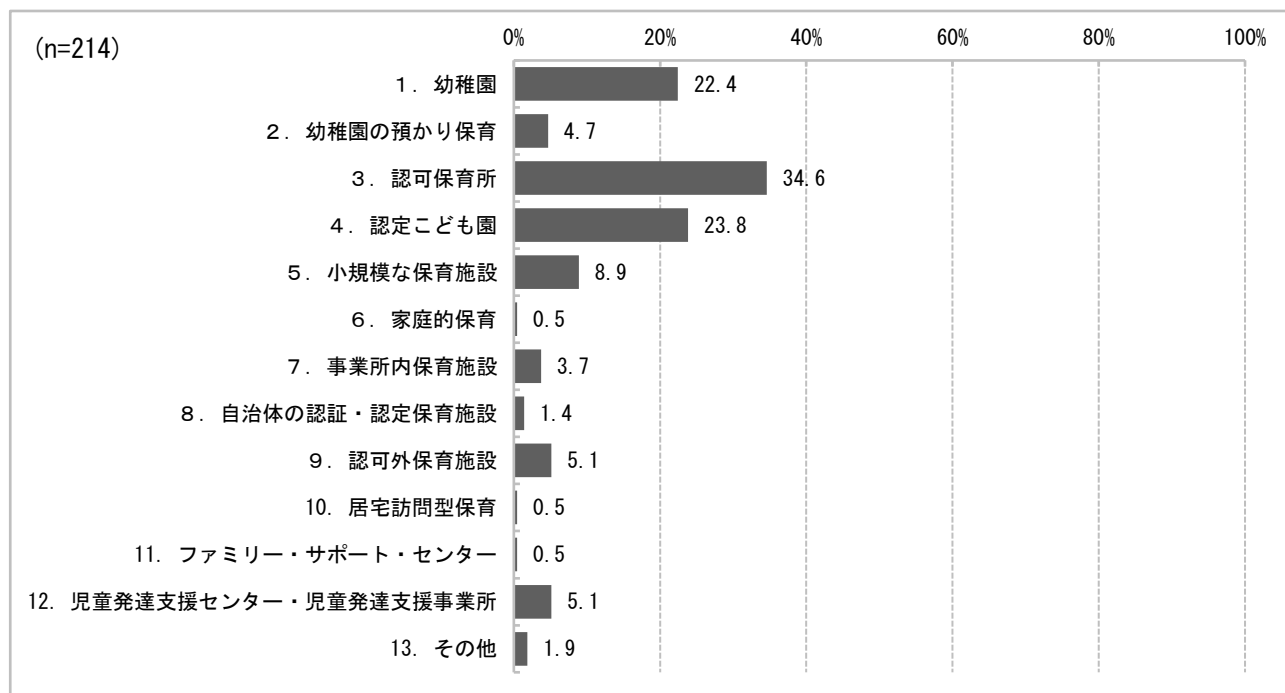
	全体	1. 利用している	2. 利用していない
全体	(448)	47.8	52.2
0 歳	(110)	7.3	92.7
1 歳	(115)	30.4	69.6
2 歳	(109)	60.6	39.4
3 歳	(40)	85.0	15.0
4 歳	(28)	100.0	0.0
5 歳	(27)	96.3	3.7
6 歳	(19)	89.5	10.5

(2) 利用している教育・保育施設〈複数回答〉

問 16 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます。

問 17 お子さんは、下記のどの施設を利用していますか。「定期的に（月単位）」利用している施設をお答えください。

○ 「認可保育所」が 34.6%と最も多く、次いで、「幼稚園」が 22.4%、「認定こども園」が 23.8%となっています。



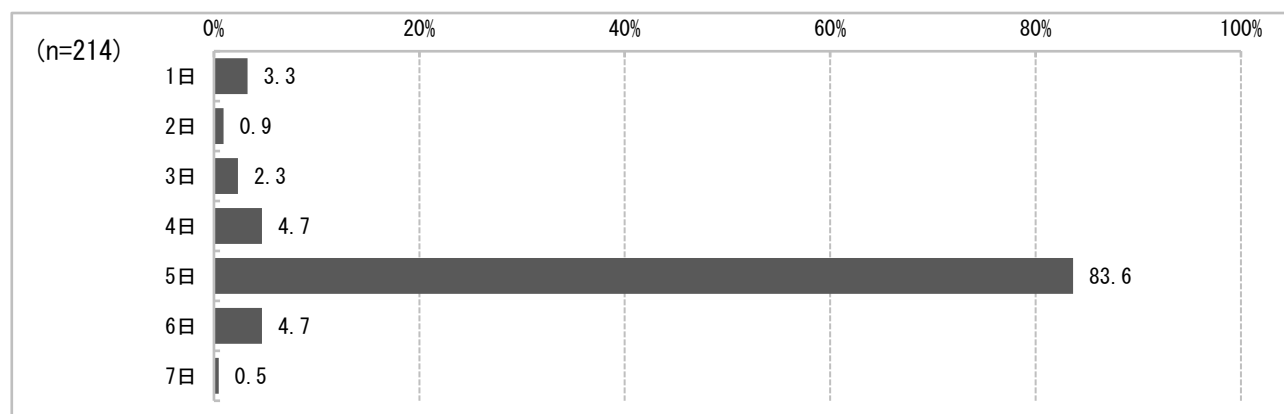
(3) 教育・保育施設の現在の利用頻度、希望する利用頻度

問 16 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます。

問 18 問 17 で答えた施設は現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

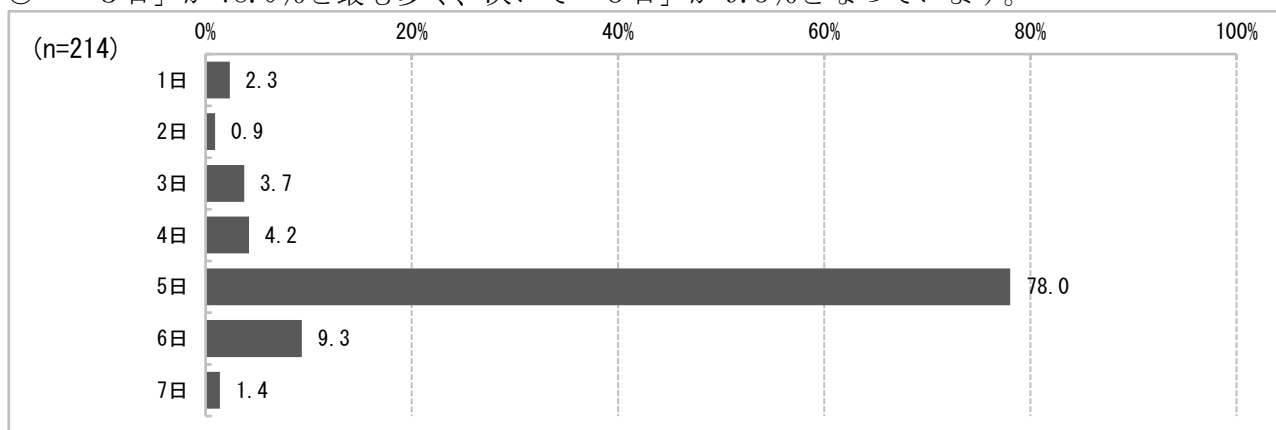
①現在の1週あたりの利用日数〈数量回答〉

○ 「5日」が 83.6%と最も多く、次いで「4日」が 4.7%、「6日」が 4.7%となっています。



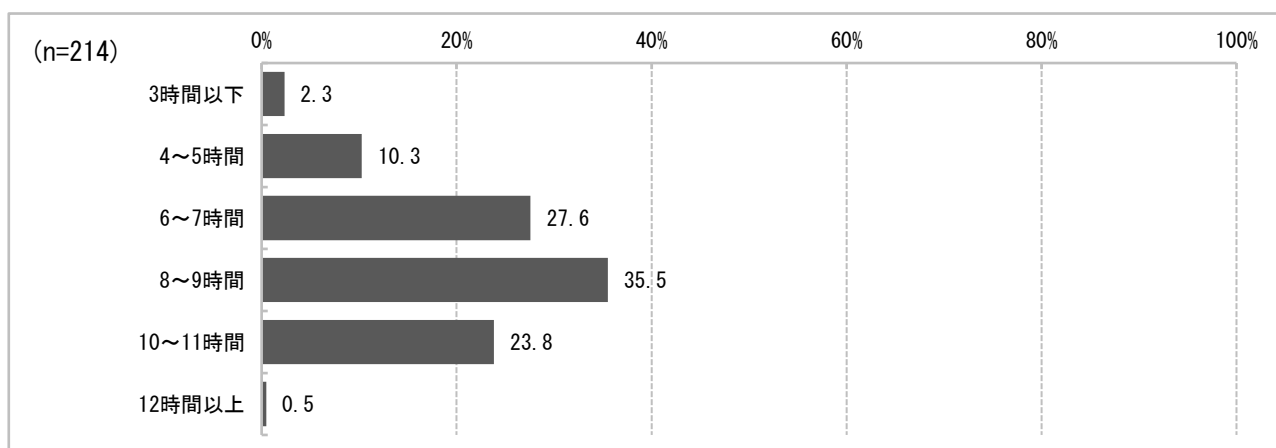
②希望する1週あたりの利用日数〈数量回答〉

○ 「5日」が78.0%と最も多く、次いで「6日」が9.3%となっています。



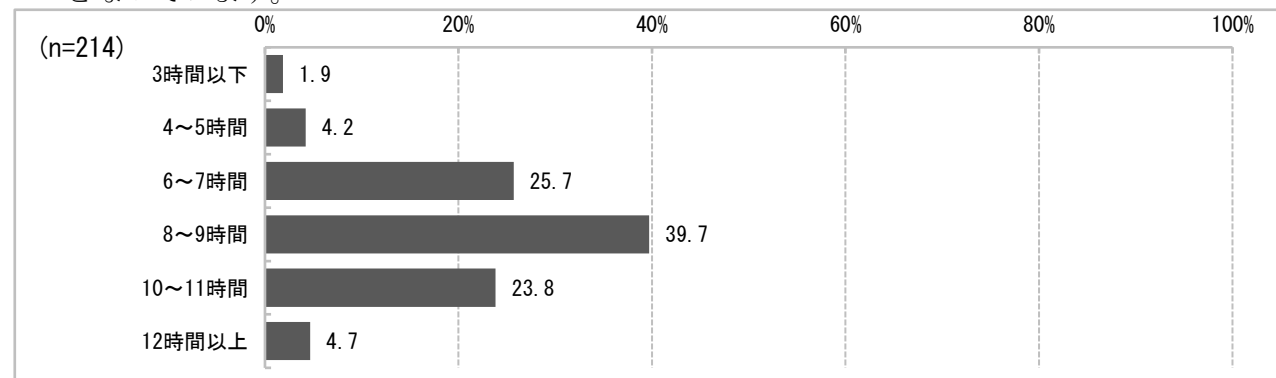
③現在の1日あたりの利用時間〈数量回答〉

○ 「8～9時間」が35.5%と最も多く、次いで「6～7時間」が27.6%、「10～11時間」が23.8%となっています。



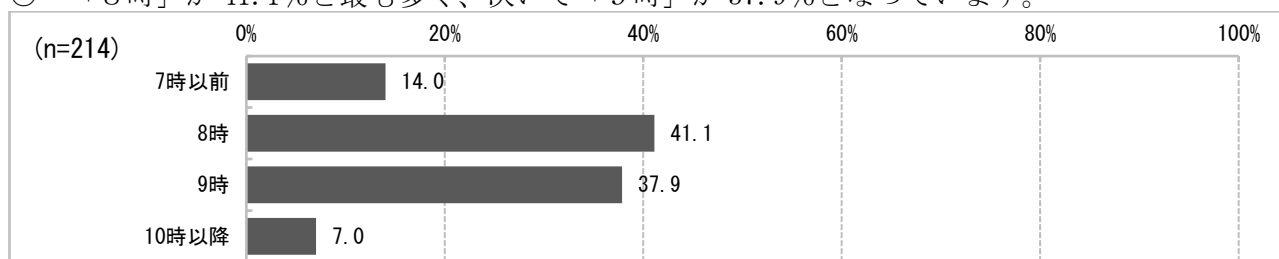
④希望する1日あたりの利用時間〈数量回答〉

○ 「8～9時間」が39.7%と最も多く、次いで「6～7時間」が25.7%、「10～11時間」が23.8%となっています。



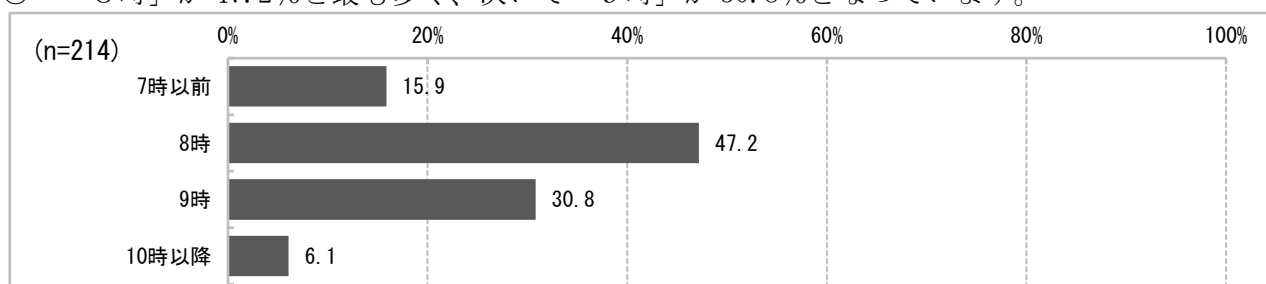
⑤現在の利用開始時刻〈数量回答〉

○ 「8時」が41.1%と最も多く、次いで「9時」が37.9%となっています。



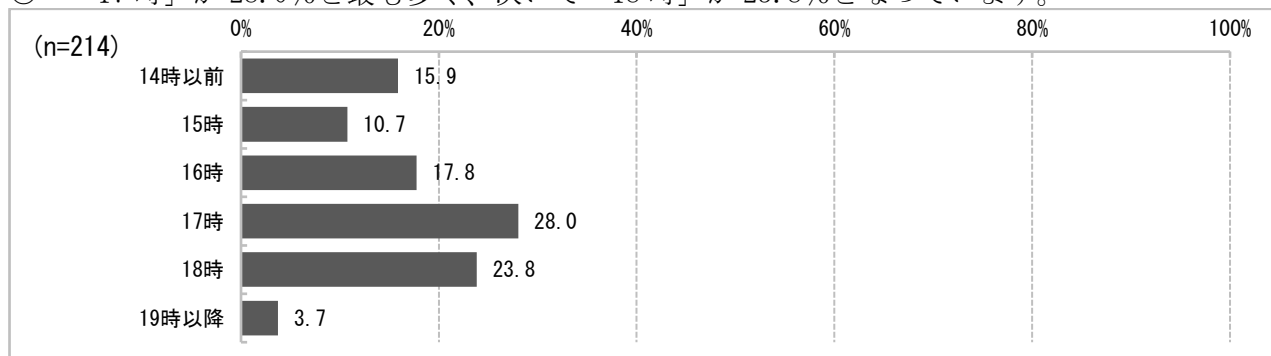
⑥希望する利用開始時刻〈数量回答〉

○ 「8時」が47.2%と最も多く、次いで「9時」が30.8%となっています。



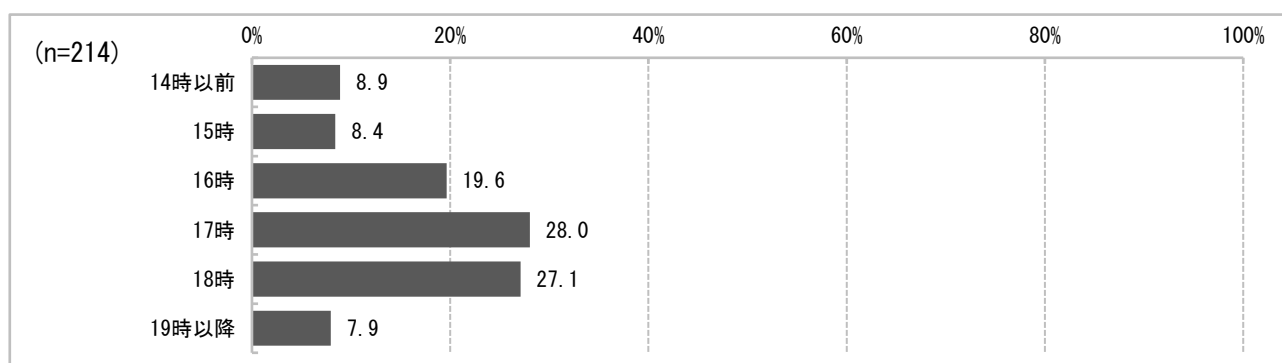
⑦現在の利用終了時刻〈数量回答〉

○ 「17時」が28.0%と最も多く、次いで「18時」が23.8%となっています。



⑧希望する利用終了時刻〈数量回答〉

○ 「17時」が28.0%と最も多く、次いで「18時」が27.1%となっています。

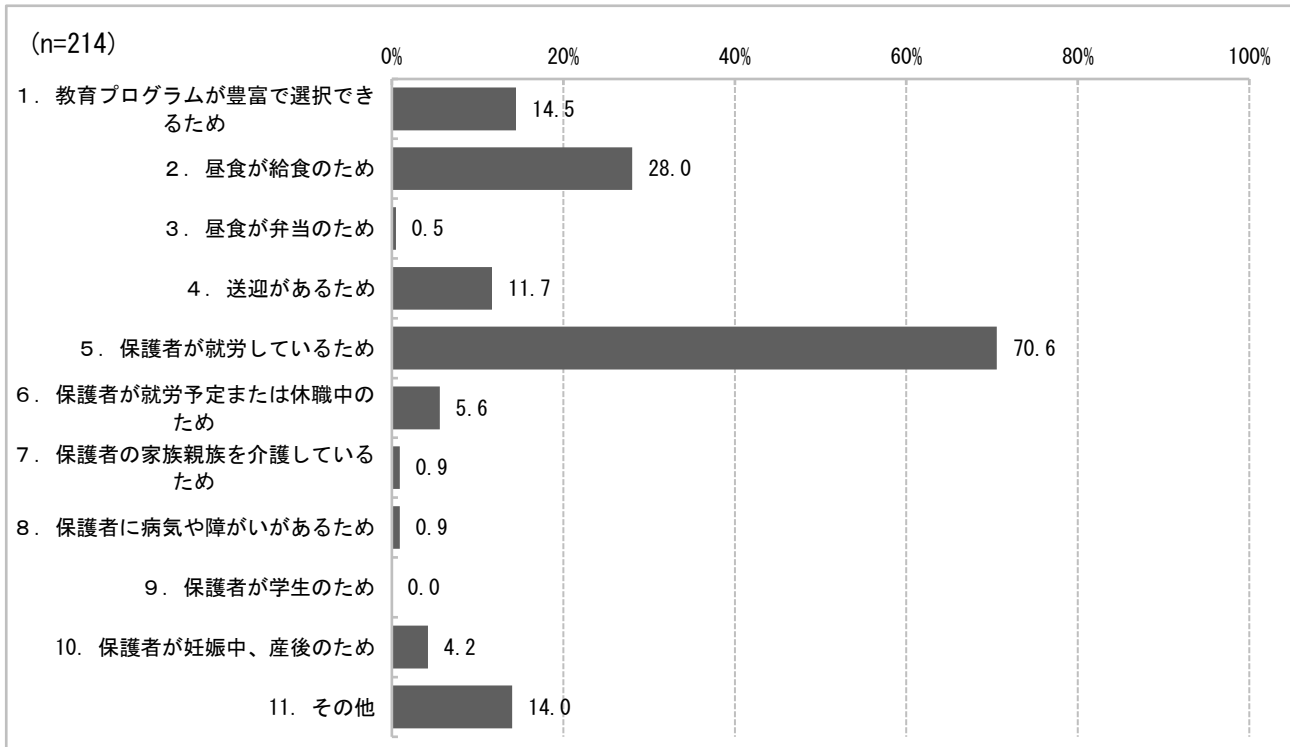


（４）教育・保育施設を利用している理由〈複数回答〉

問 16 で「１．利用している」に○を付けた方にうかがいます。

問 19 問 17 で答えた施設を利用している理由は何ですか。

- 「保護者が就労しているため」が 70.6%と最も多く、次いで「昼食が給食のため」が 28.0%、「教育プログラムが豊富で選択できるため」が 14.5%となっています。



【その他の主な内容】

- ・子どもの教育のため
- ・家から近いため
- ・職場から近いため
- ・夜間も預かってもらえるため

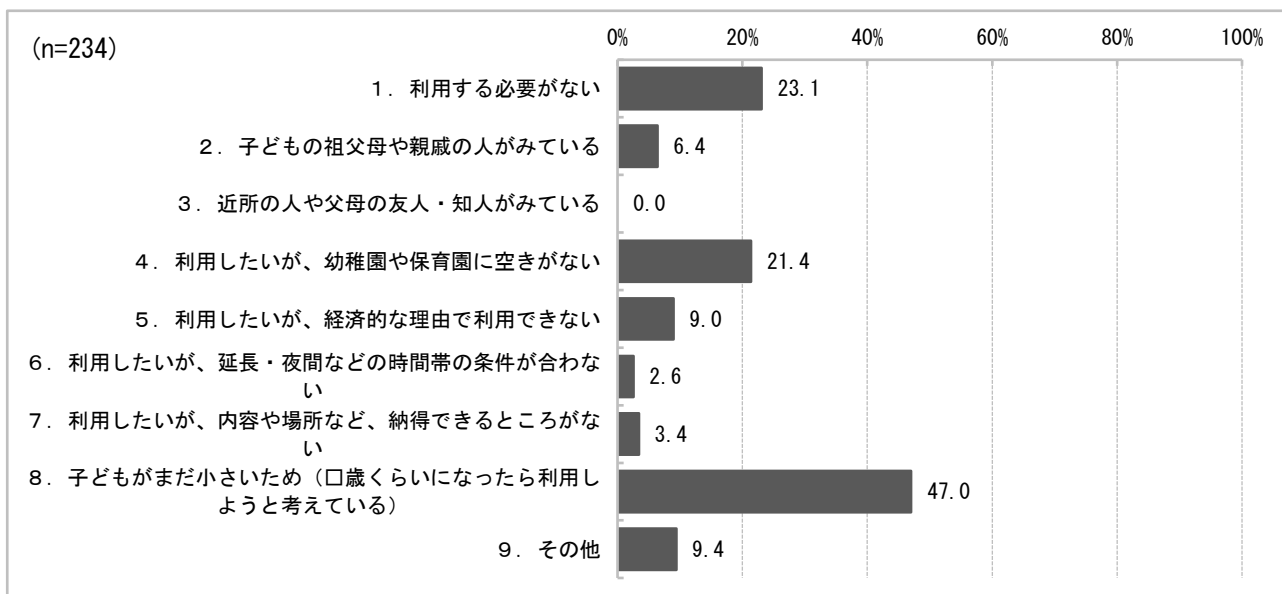
（５）教育・保育施設を利用していない理由〈複数回答〉

問 16 で「２．利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

問 20 教育・保育施設を利用していない理由は何ですか。

①利用していない理由〈複数回答〉

- 「子どもがまだ小さいため」が 47.0%と最も多く、次いで「利用する必要がある」が 23.1%、「利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない」が 21.4%となっています。

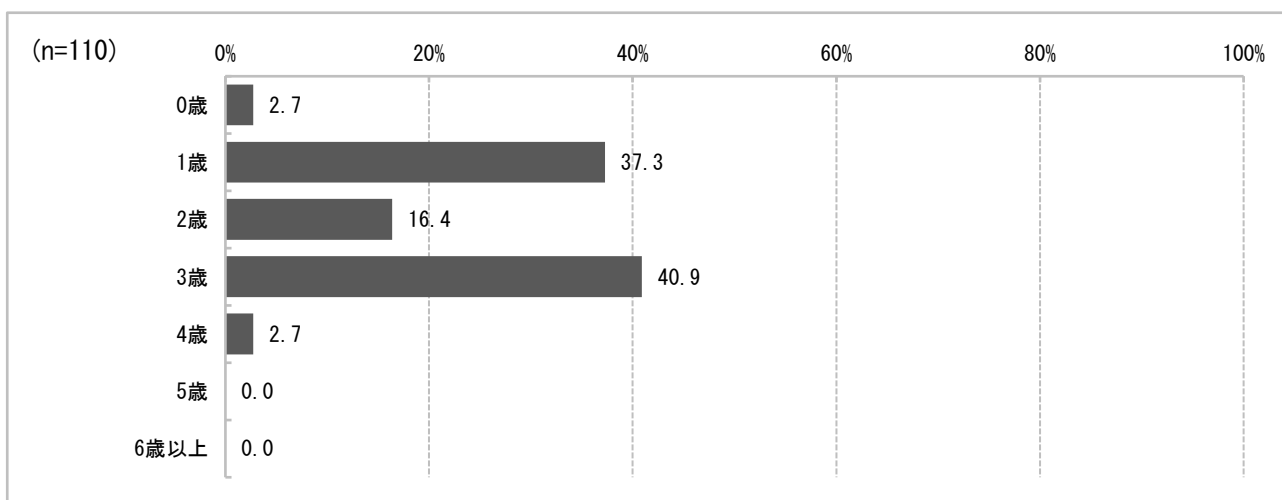


【その他の主な内容】

- ・現在申請中であるため
- ・教育・保育施設に預けることに不安であるため
- ・申請できる条件を満たしていないため
- ・医療ケア児であるため

②利用したいと考えるタイミング〈「子どもがまだ小さいため」を選んだ方／数量回答〉

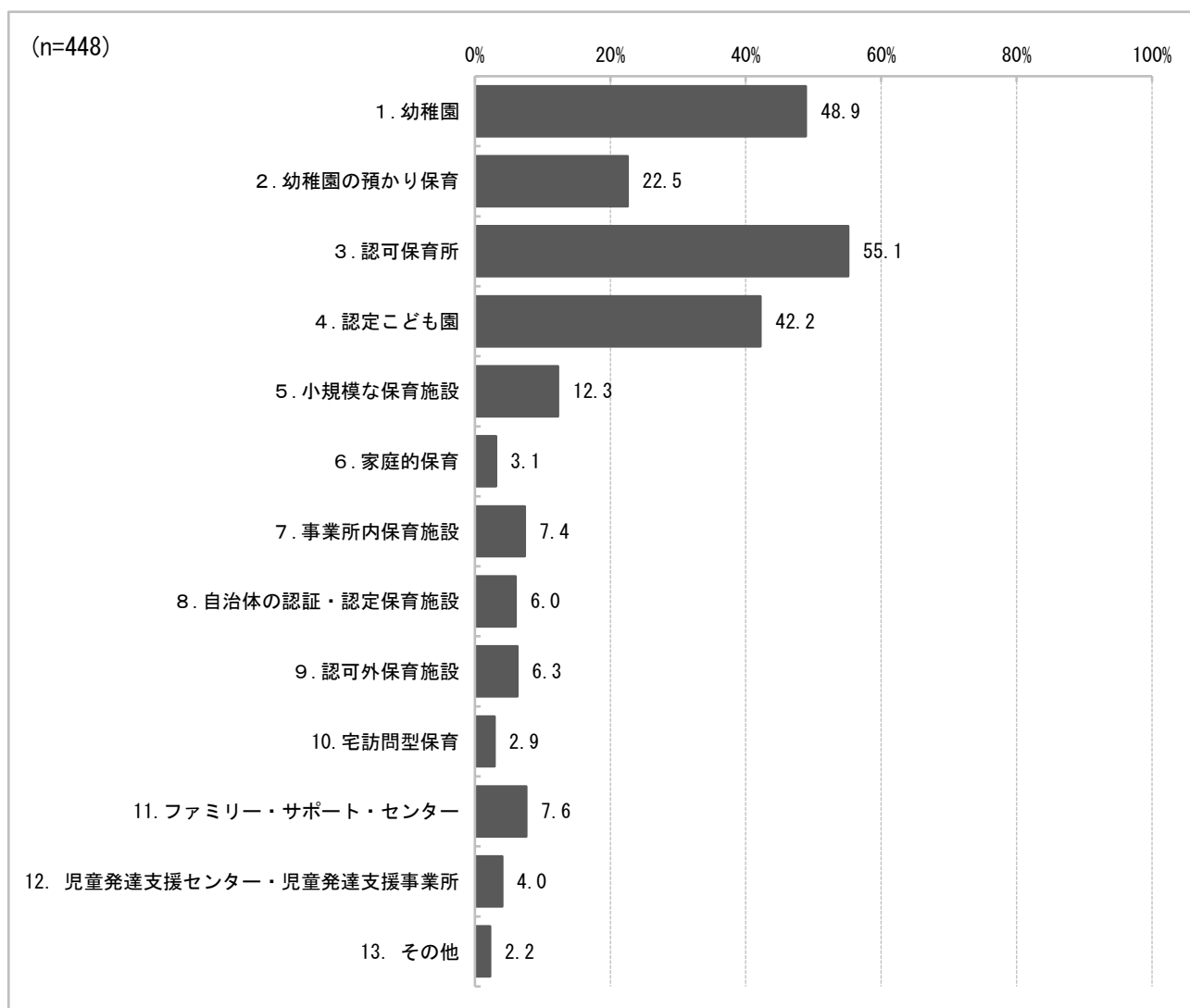
- 「３歳」が 40.9%と最も多く、次いで「１歳」が 37.3%、「２歳」が 16.4%となっています。



（６）教育・保育施設の利用希望〈複数回答〉

問 21 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが通う施設として、「定期的に（月単位）」利用したいと考える施設をお答えください。

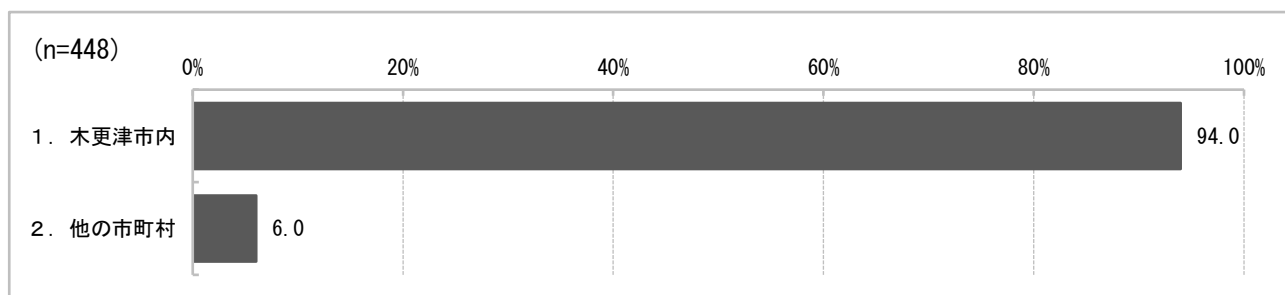
- 「認可保育所」が 55.1%と最も多く、次いで「幼稚園」が 48.9%、「認定こども園」が 42.2%となっています。



（７）施設を利用したい場所〈単数回答〉

問 22 問 21 で答えた施設を利用したい場所はどちらですか。

- 「木更津市内」が 94.0%、「他の市町村」が 6.0%となっています。

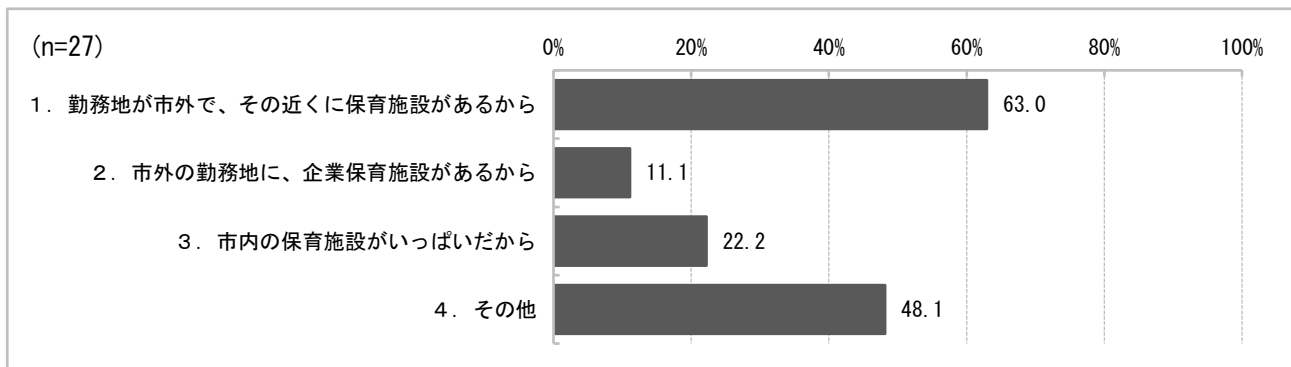


（８）他市町村の施設を利用したい理由〈複数回答〉

問 22 で「２．他の市町村」に○を付けた方にうかがいます。

問 23 他市町村を利用したい理由は何ですか。

- 「勤務地が市外で、その近くに保育園があるから」が 63.0%と最も多く、次いで「その他」が 48.1%、「市内の保育園がいっぱいだから」が 22.2%、「市外の勤務地に、企業保育があるから」が 11.1%となっています。



【その他の主な内容】

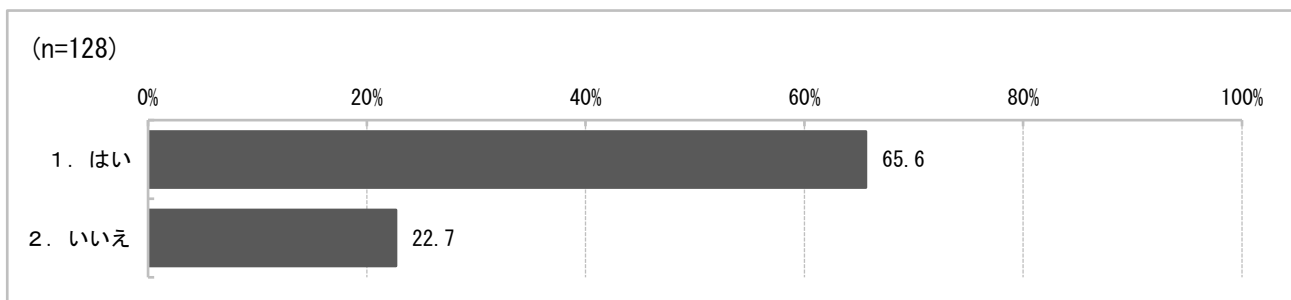
- ・ 保育内容が魅力的だから
- ・ 引っ越しの予定があるため
- ・ 自宅近辺に保育園がないため
- ・ 実家（祖父母の家）から近いため

（９）幼稚園への強い利用意向〈単数回答〉

問 21 で「１．幼稚園」または「２．幼稚園の預かり保育」に○を付け、かつ「３～12」にも○を付けた方にうかがいます。

問 24 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

- 「はい」が 65.6%、「いいえ」が 22.7%となっています。



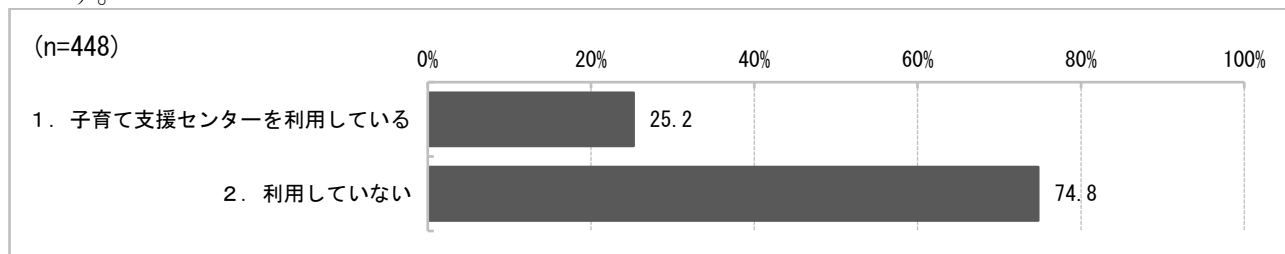
6. 地域の子育て支援センターについて【問 25～問 30】

（１）子育て支援センターの利用状況〈単数回答〉

問 25 あて名のお子さんは、現在子育て支援センターを利用していますか。

①子育て支援センターの利用有無

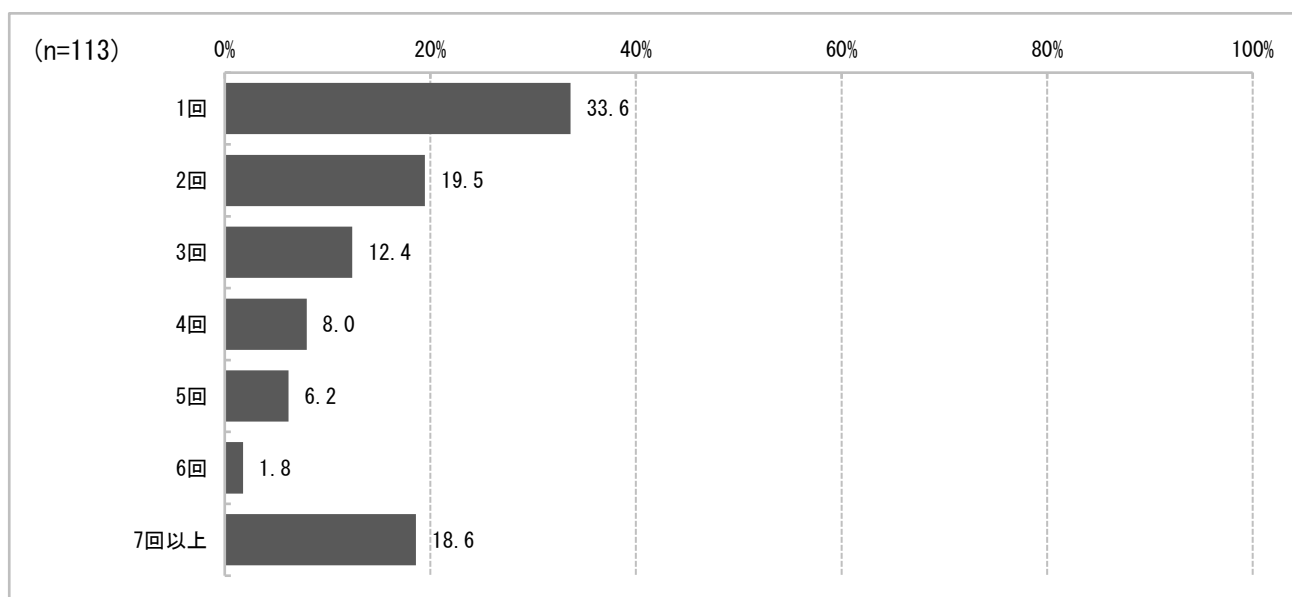
- 子育て支援センターを「利用している」が 25.2%、「利用していない」が 74.8%となっています。



②子育て支援センターの１ヶ月あたりの利用回数

〈「子育て支援センターを利用している」を選んだ方／数量回答〉

- 「１回」が 33.6%と最も多く、次いで「２回」が 19.5%、「７回以上」が 18.6%となっています。

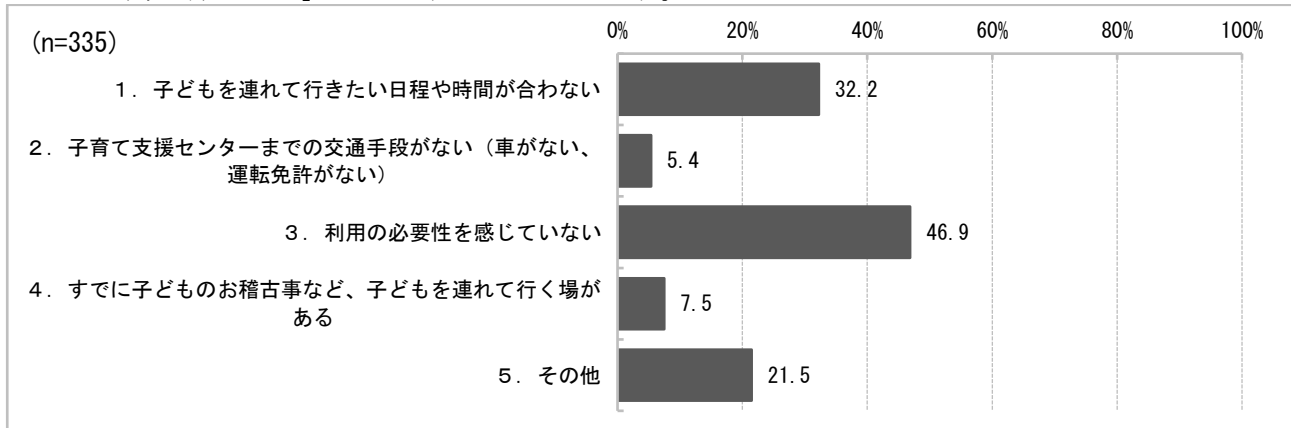


（２）子育て支援センターを利用しない理由〈複数回答〉

問 25 で「２．利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

問 26 子育て支援センターを利用しない理由は何ですか。

- 「利用の必要性を感じていない」が 46.9%と最も多く、次いで「子どもを連れて行きたい日程や時間が合わない」が 32.2%となっています。



【その他の主な内容】

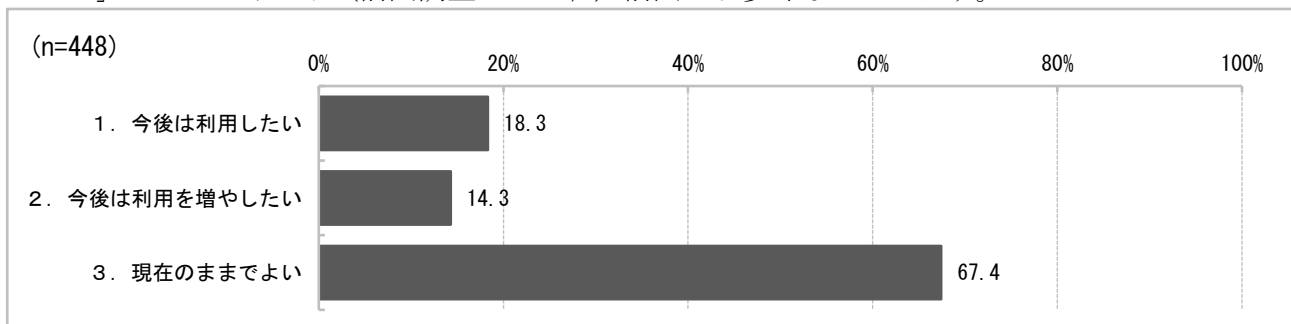
- ・場所が遠いため
- ・勇気が出ないため
- ・まだ子どもが小さいため
- ・センターの情報がわからないため
- ・感染症等のリスクがあるため
- ・年齢制限があり上の兄弟と一緒にいけないため
- ・登録や予約が面倒であるため
- ・そもそも存在を知らない

（３）子育て支援センターの今後の利用意向〈単数回答〉

問 27 子育て支援センターについて、今後の利用希望をうかがいます。

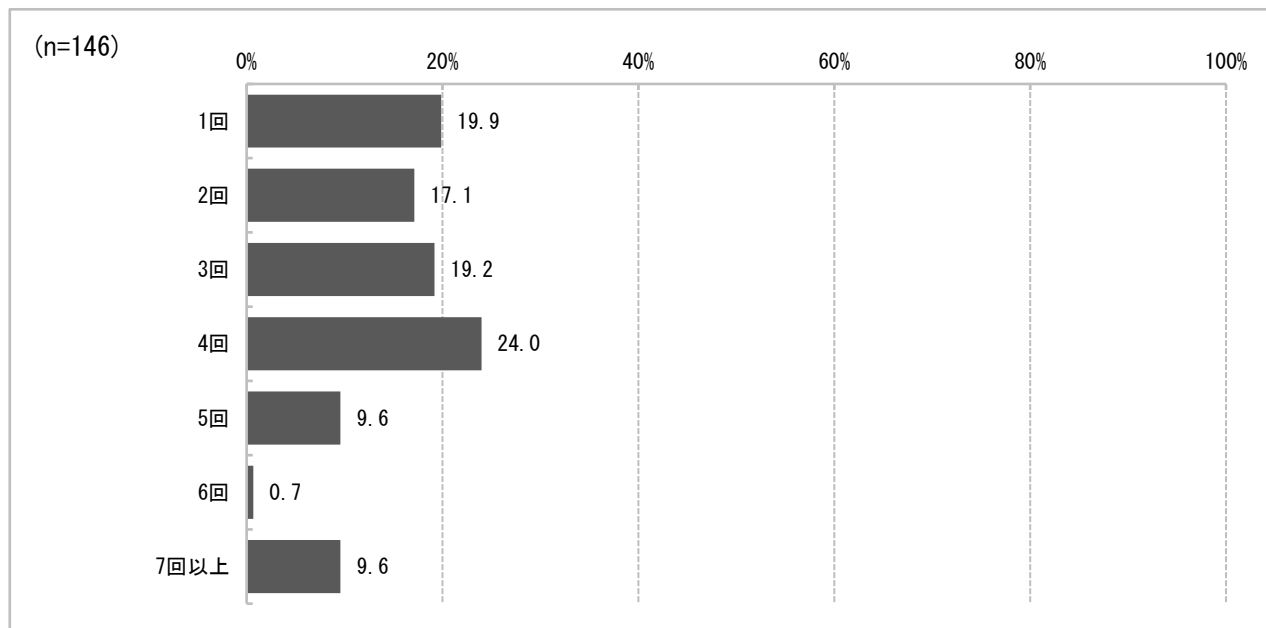
①今後の利用意向

- 「現在のままでよい」が 67.4%と最も多くなっています。一方、「今後は利用したい」が 18.3%、「今後は利用を増やしたい」が 14.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「現在のままでよい」が 2.8 ポイント（前回調査：70.2%）前回より少なく、反対に「今後は利用を増やしたい」6.9 ポイント（前回調査：7.4%）、「今後は利用したい」が 3.0 ポイント（前回調査：15.3%）前回より多くなっています。



② 1ヶ月あたりの利用希望回数

- 「4回」が24.0%と最も多く、次いで「1回」が19.9%、「3回」が19.2%、「2回」が17.1%となっています。

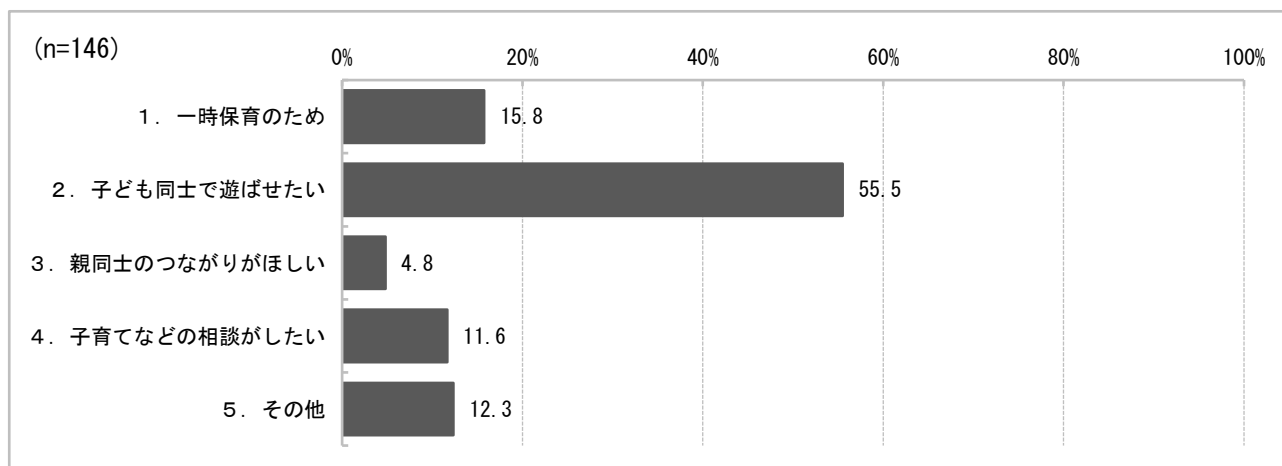


(4) 子育て支援センターを利用する目的〈複数回答〉

問 27 で「1. 今後は利用したい」または「2. 今後は利用を増やしたい」に○を付けた方にうかがいます。

問 28 子育て支援センターを利用する目的は何ですか。

- 「子ども同士で遊ばせたい」が55.5%と最も多く、次いで「一時保育のため」が15.8%、「その他」が12.3%となっています。



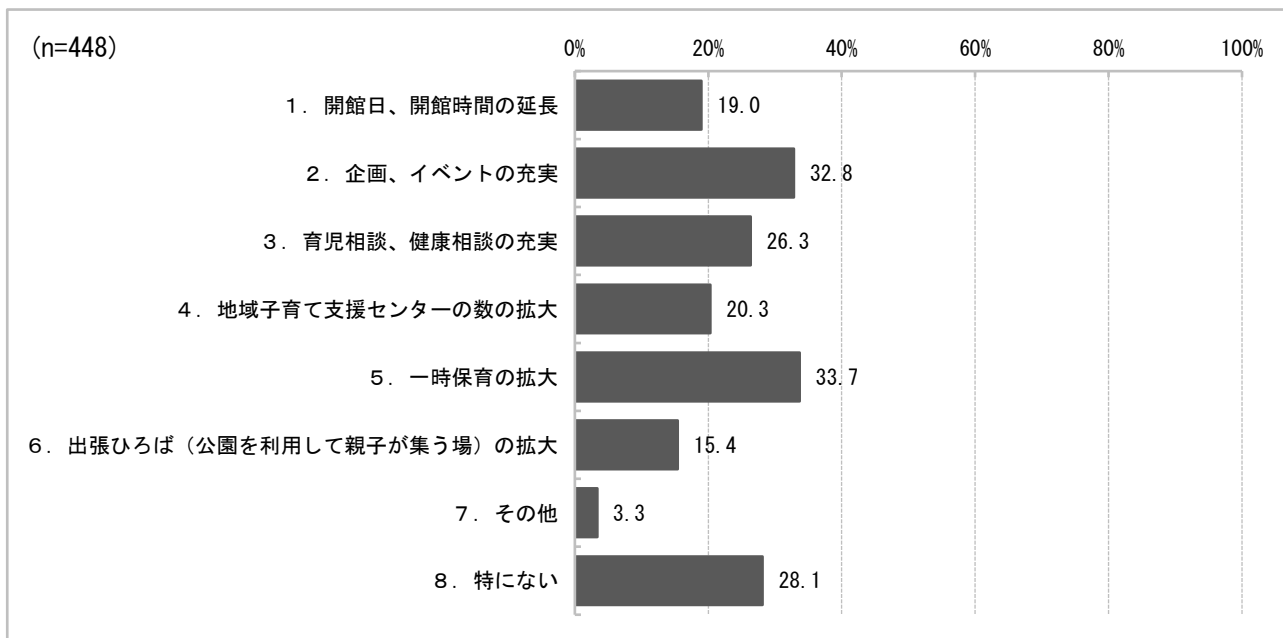
【その他の主な内容】

- ・ 普段できない遊びをさせたいため
- ・ 親の息抜きのため

（５）子育て支援センターに期待すること〈複数回答〉

問 29 子育て支援センターに期待することは何ですか。

- 「一時保育の拡大」が 33.7%と最も多くなっています。次いで、「企画、イベントの充実」が 32.8%、「特にない」が 28.1%、「育児相談、健康相談の充実」が 26.3%となっています。



【その他の主な内容】

- ・駐車場の設置拡大
- ・預かり保育、0歳児保育、病児保育
- ・利用方法の簡素化、周知
- ・イベントの実施

（６）子育て関連事業の認知・利用状況と今後の利用意向

問 30 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

①認知状況〈単数回答〉

- “知っている”に「はい」と回答された方をみると、「④木更津妊娠・子育て応援ブック」が 79.5%と最も多く、次いで「②保育園の園庭開放」が 68.1%、「①子育ての総合窓口（子育て世代包括支援センターきさらづネウボラ）」が 61.2%となっています。
- 反対に、認知が低い事業をみると、「⑥家庭教育学級（公民館）」が 76.6%、次いで「⑨産後ケアサービス」が 52.0%となっています。

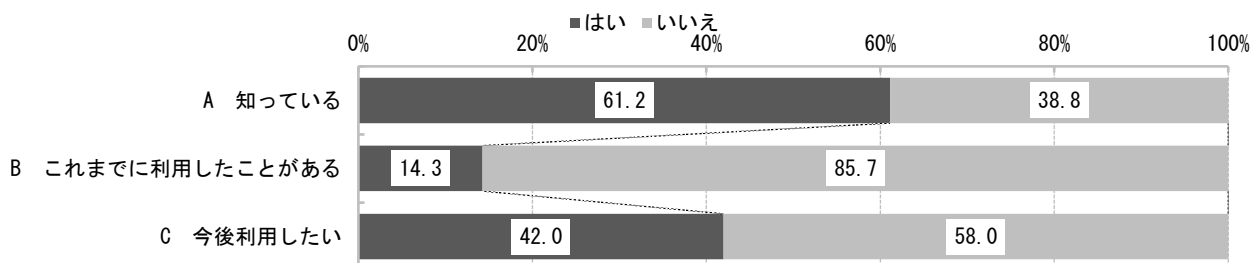
②現在の利用状況〈単数回答〉

- “これまでに利用したことがある”に「はい」と回答された方をみると、「④木更津妊娠・子育て応援ブック」が 46.9%と最も多く、次いで「⑦子育て応援サイト」が 22.1%、「②保育園の園庭開放」が 20.5%となっています。
- 反対に、利用が少ない事業をみると、「⑨産後ケアサービス」が 91.1%、次いで「⑥家庭教育学級（公民館）」が 90.4%、「①子育ての総合窓口（子育て世代包括支援センターきさらづネウボラ）」が 85.7%となっています。

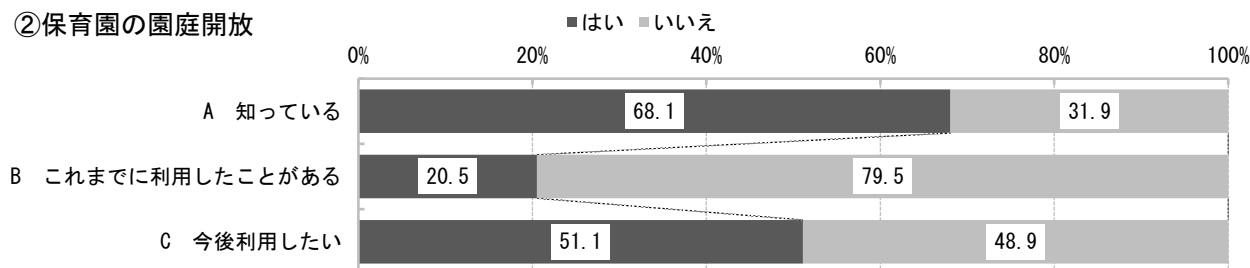
③今後の利用意向〈単数回答〉

- “今後利用したい”に「はい」と回答された方をみると、「②保育園の園庭開放」が51.1%と最も多く、次いで「⑦子育て応援サイト」が50.9%、「④木更津妊娠・子育て応援ブック」が48.0%となっています。
- 反対に、利用意向が少ない事業をみると、「③子育て講座」が68.5%、「⑥家庭教育学級（公民館）」が64.7%、「⑨産後ケアサービス」が64.3%となっています。

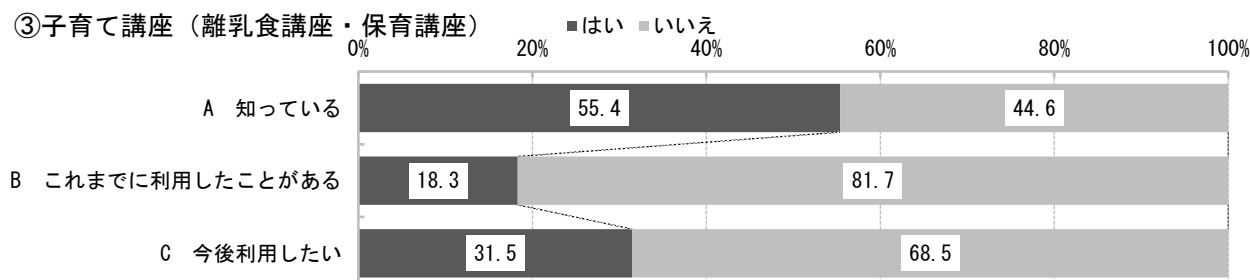
①子育ての総合相談窓口（子育て世代包括支援センターきさらづネウボラ）



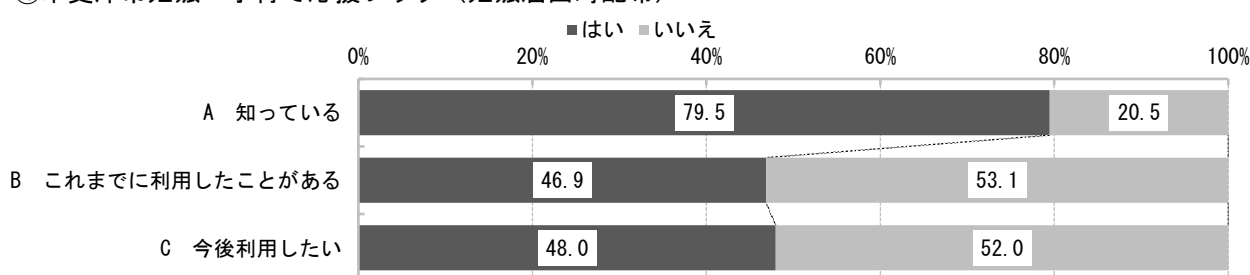
②保育園の園庭開放



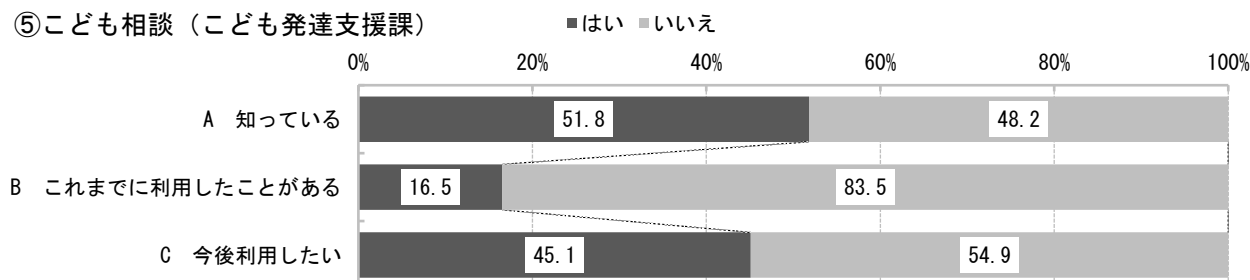
③子育て講座（離乳食講座・保育講座）



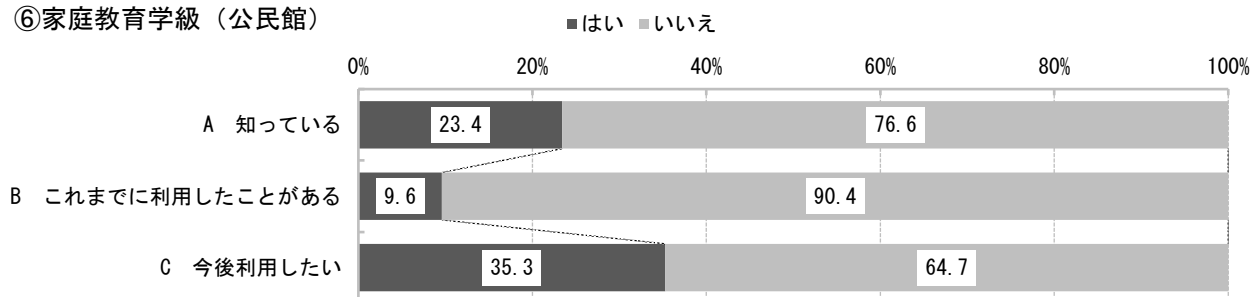
④木更津市妊娠・子育て応援ブック（妊娠届出時配布）



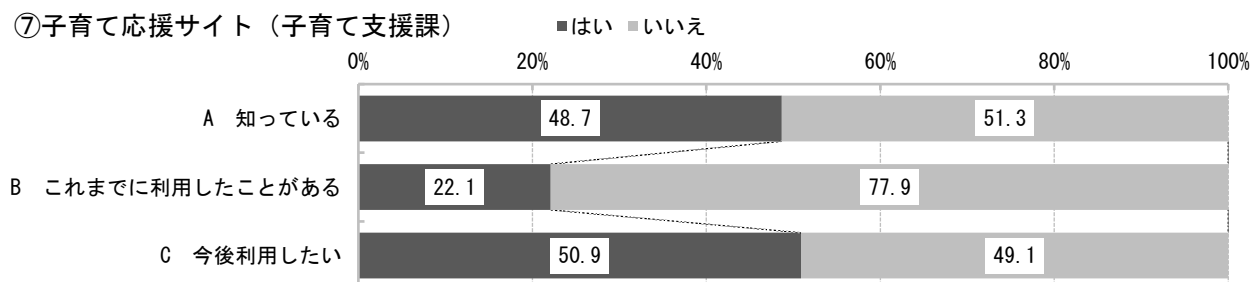
⑤こども相談（こども発達支援課）



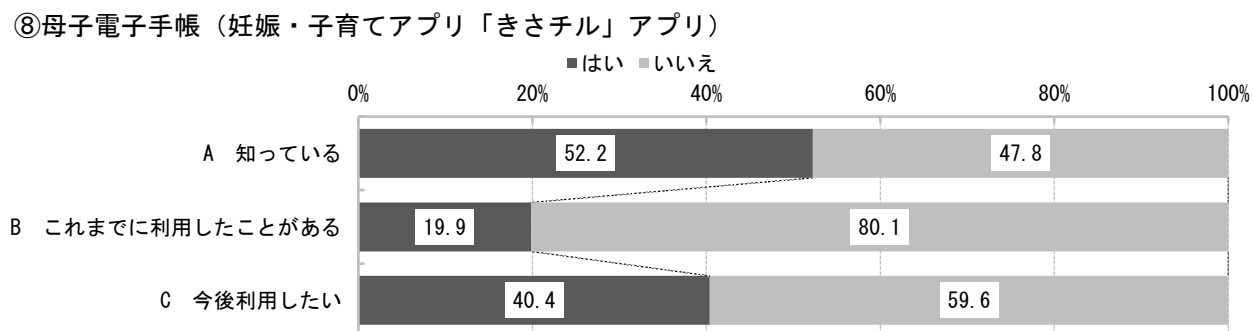
⑥家庭教育学級（公民館）



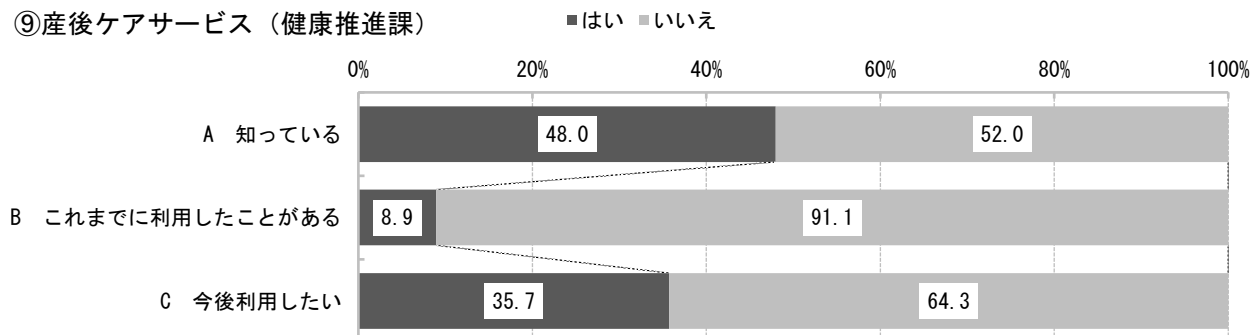
⑦子育て応援サイト（子育て支援課）



⑧母子電子手帳（妊娠・子育てアプリ「きさチル」アプリ）



⑨産後ケアサービス（健康推進課）



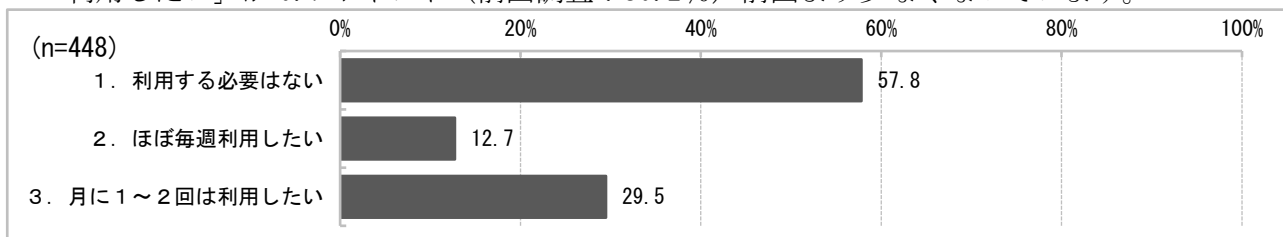
7. 休日や長期休暇中の保育園・幼稚園などの利用希望について【問 31～問 33】

(1) 土日などの保育園や幼稚園などの利用希望

問 31 土曜日・日曜日・祝日に保育園や幼稚園などの利用希望はありますか。

①土曜日の利用希望〈単数回答〉

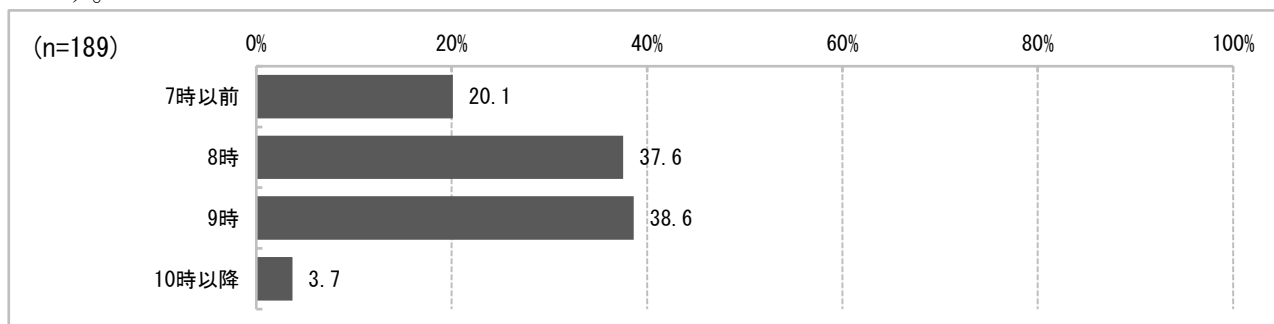
- 「利用する必要はない」が 57.8%と最も多く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 29.5%、「ほぼ毎週利用したい」が 12.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 0.1 ポイント（前回調査：57.7%）、「ほぼ毎週利用したい」が 1.4 ポイント（前回調査：11.3%）前回より多く、反対に「月に 1～2 回は利用したい」が 0.7 ポイント（前回調査：30.2%）前回より少なくなっています。



②（土曜日）利用希望開始時刻

〈「ほぼ毎週利用したい」または「月に 1～2 回は利用したい」を選んだ方／数量回答〉

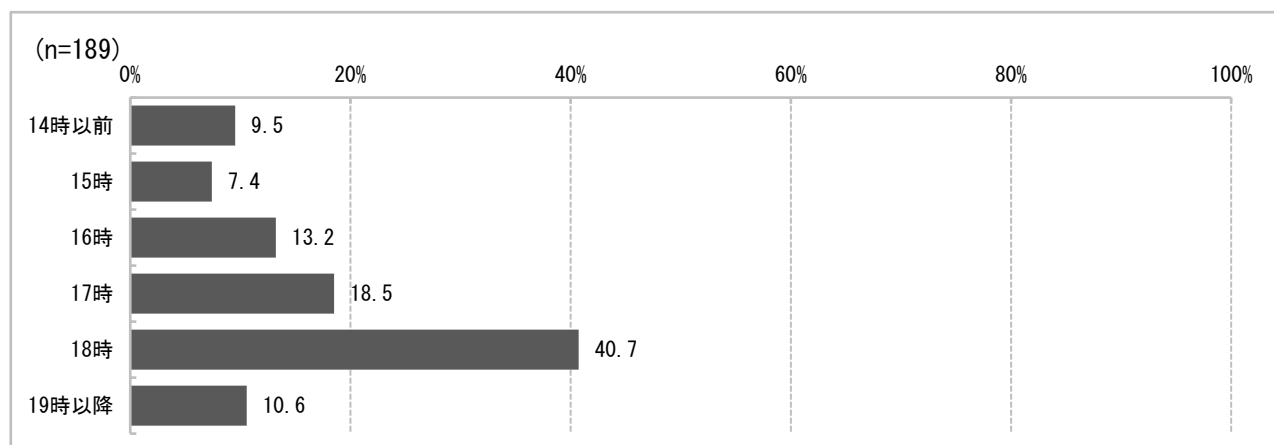
- 「9 時」が 38.6%と最も多く、次いで「8 時」が 37.6%、「7 時以前」が 20.1%となっています。



③（土曜日）利用希望終了時刻

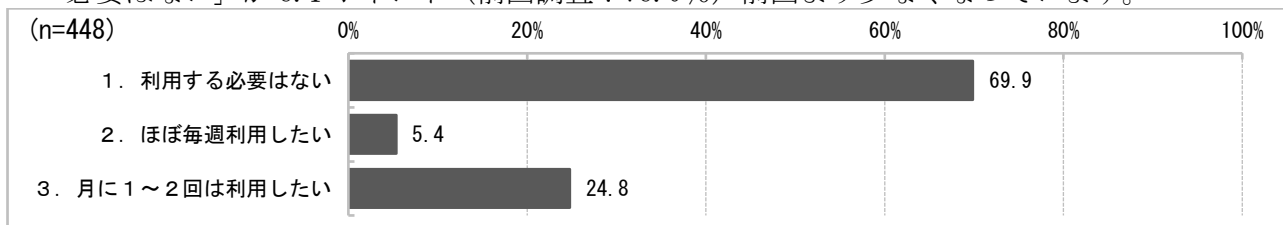
〈「ほぼ毎週利用したい」または「月に 1～2 回は利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「18 時」が 40.7%と最も多く、次いで「17 時」が 18.5%、「16 時」が 13.2%となっています。



④日曜日・祝日の利用希望〈単数回答〉

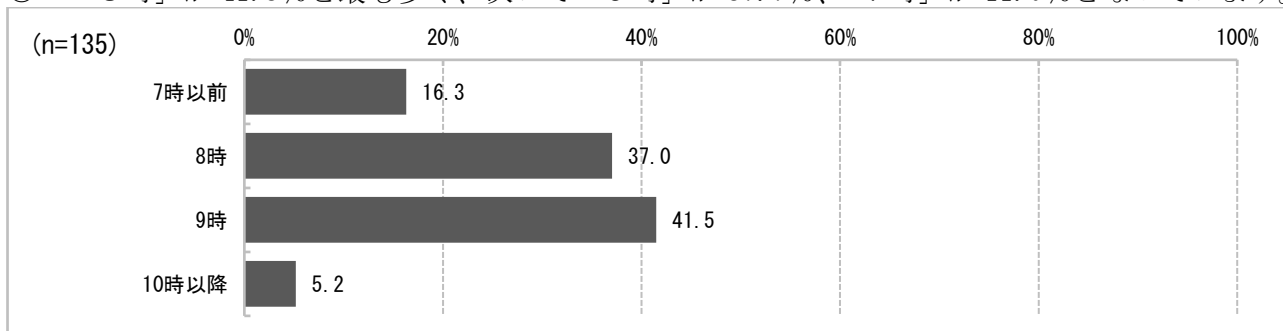
- 「利用する必要はない」が 69.9%と最も多く、次いで「月に 1 ～ 2 回は利用したい」が 24.8%、「ほぼ毎週利用したい」が 5.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「月に 1 ～ 2 回は利用したい」が 4.6 ポイント（前回調査：20.2%）、「ほぼ毎週利用したい」が 2.9 ポイント（前回調査：2.5%）前回より多く、反対に「利用する必要はない」が 6.1 ポイント（前回調査：76.0%）前回より少なくなっています。



⑤（日曜日・祝日）利用希望の開始時刻

〈「ほぼ毎週利用したい」または「月に 1 ～ 2 回は利用したい」を選んだ方／数量回答〉

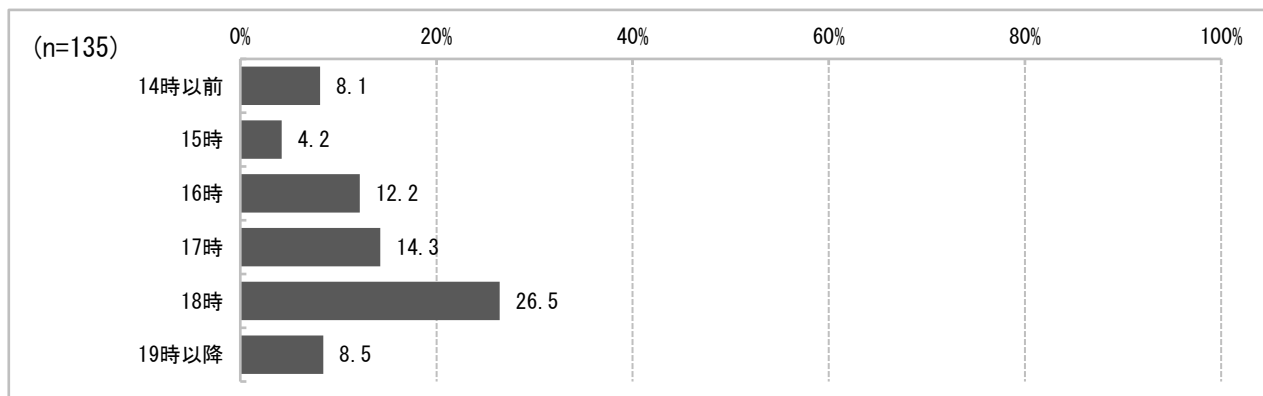
- 「8 時」が 41.8%と最も多く、次いで「9 時」が 37.7%、「7 時」が 11.0%となっています。



⑥（日曜日・祝日）利用希望の終了時刻

〈「ほぼ毎週利用したい」または「月に 1 ～ 2 回は利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「18 時」が 26.5%と最も多く、次いで「17 時」が 14.3%、「16 時」が 12.2%となっています。

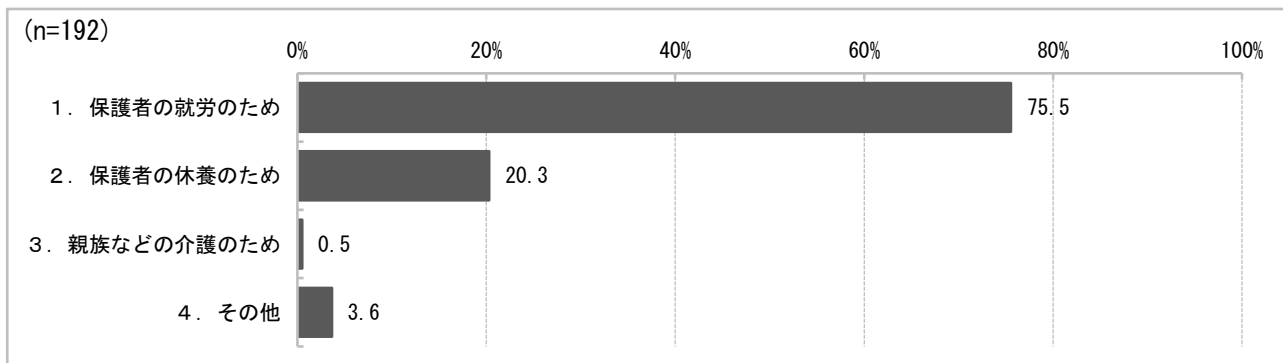


(2) 土日などに利用したい理由〈複数回答〉

問 31 で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○を付けた方にうかがいます。

問 32 利用したい理由は何ですか。

- 「保護者の就労のため」が 75.5%と最も多く、次いで「保護者の休養のため」が 20.3%となっています。



【その他の主な内容】

- ・保護者の用事のため
- ・兄弟の学校行事への参加のため

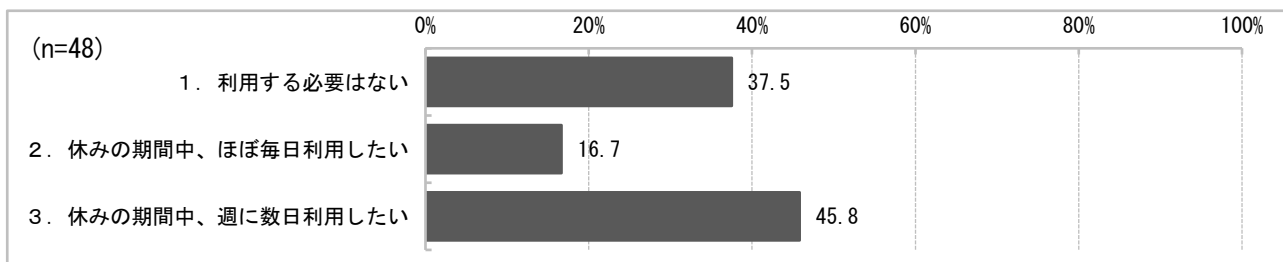
(3) 長期休暇中の保育園・幼稚園の利用希望

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 33 夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の保育園・幼稚園などの利用を希望しますか。

①長期休暇中の保育園・幼稚園の利用希望〈単数回答〉

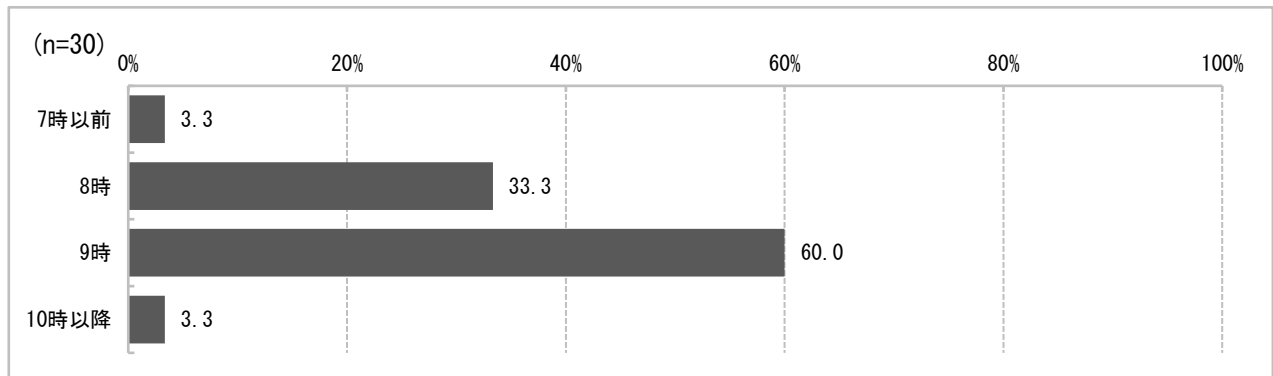
- 利用したいをみると、「週に数日は利用したい」が 45.8%、「ほぼ毎日利用したい」が 16.7%となっています。一方、「利用する必要はない」は 37.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「ほぼ毎日利用したい」が 2.1 ポイント（前回調査：14.6%）、「利用する必要はない」が 12.5 ポイント（前回調査：25.0%）前回より多く、反対に「週に数日は利用したい」が 13.1 ポイント（前回調査：58.9%）前回より少なくなっています。



②（長期休暇中）利用希望の開始時刻

〈「ほぼ毎日利用したい」または「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答〉

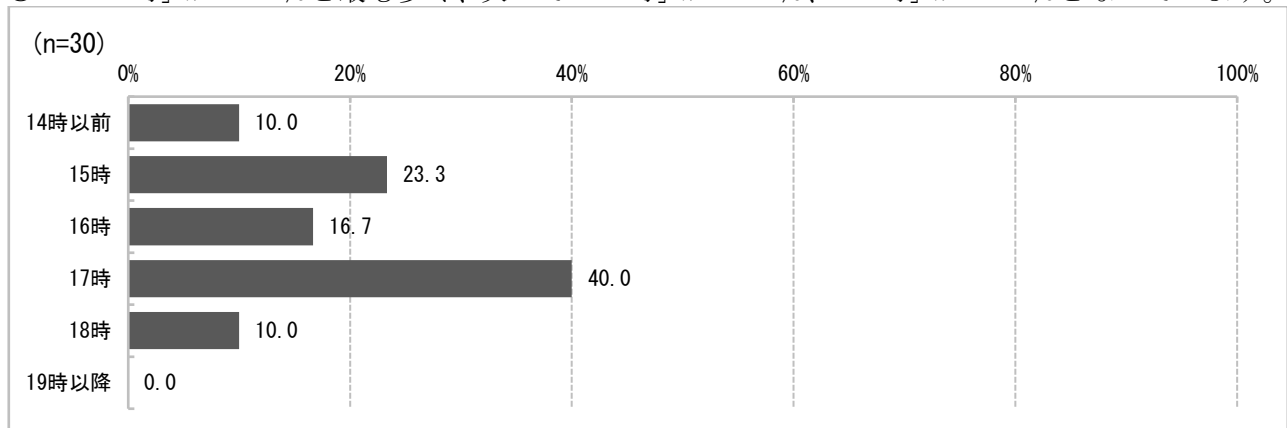
○ 「9時」が60.0%と最も多く、次いで「8時」が33.3%となっています。



③（長期休暇中）利用希望の終了時刻

〈「ほぼ毎日利用したい」または「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答〉

○ 「17時」が40.0%と最も多く、次いで「15時」が23.3%、「16時」が16.7%となっています。



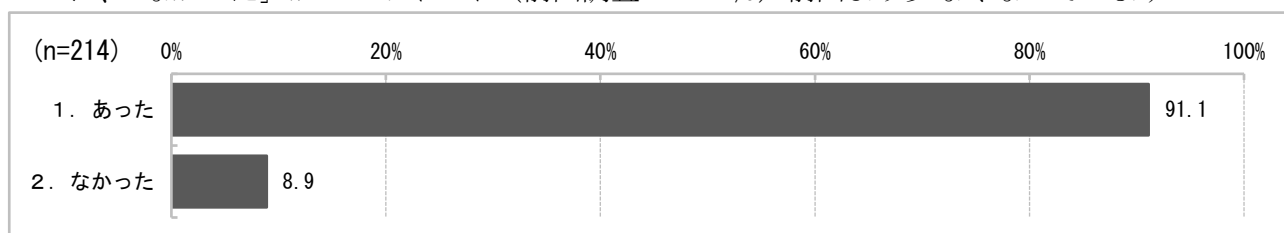
8. 病気の際の対応について【問 34～問 39】

※「病気の際の対応」は教育・保育施設を利用する方のみ回答

(1) 子どもが病気やケガで保育園や幼稚園などを休んだことの有無〈単数回答〉

問 34 この１年間でお子さんが病気やケガで保育園や幼稚園などを休んだことがありますか。

- 「あった」が 91.1%、「なかった」が 8.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「あった」が 7.8 ポイント（前回調査：83.3%）前回より多く、反対に、「なかった」が 5.6 ポイント（前回調査：14.5%）前回より少なくなっています



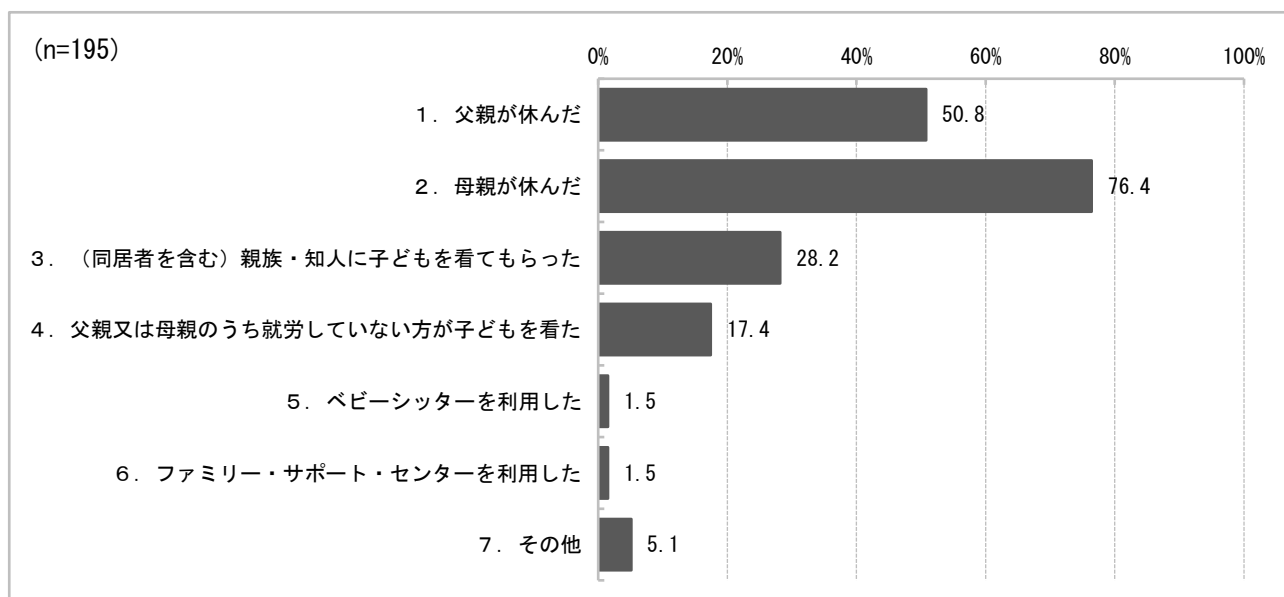
(2) 施設を利用できなかった場合の対処方法

問 34 で「1. あった」に○を付けた方にうかがいます。

問 35 お子さんが病気やケガで普段利用している施設が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○を付け、それぞれの日数も記入してください。

①施設を利用できなかった場合の対処方法〈複数回答〉

- 「母親が休んだ」が 76.4%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が 50.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が 28.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」が 17.4%となっています。



②子どもが病気やケガの際の対処日数〈数量回答〉

- 父親が休んだでは「1～2日」が41.5%、母親が休んだでは「15日以上」が49.7%と最も多く、その他の項目では5日以内が最も多くなっています。

	父親が休んだ n=94	母親が休んだ n=187	（同居者を含む）親族・ 知人に子どもを看ても らった n=53	父親又は母親のうち就 労していない方が子ども を看た n=34	ベビーシッターを利用 した n=3	ファミリー・ サポート・センターを 利用した n=3
1～2日	27.7	3.7	17.0	14.7	100.0	100.0
3～5日	41.5	13.4	28.3	41.2	0.0	0.0
6～9日	6.4	7.5	9.4	5.9	0.0	0.0
10～14日	13.8	25.7	20.8	17.6	0.0	0.0
15日以上	10.6	49.7	24.5	20.6	0.0	0.0

※グレー部分は最多項目

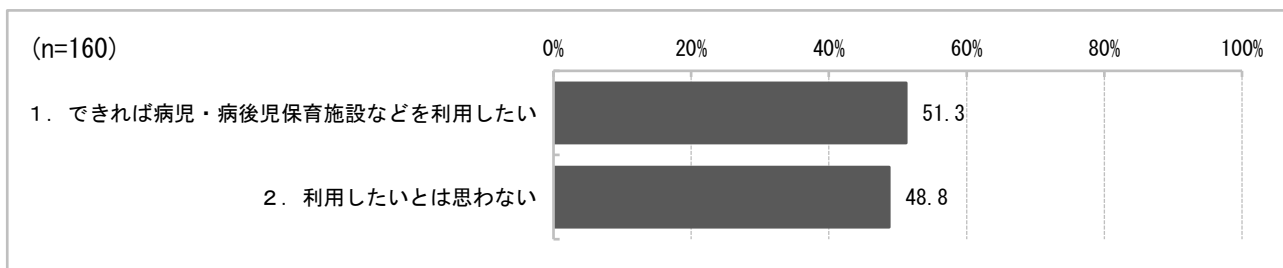
（3）病児・病後児のための保育施設などの利用意向

問 35 で「1 父親が休んだ」または「2 母親が休んだ」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問 36 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

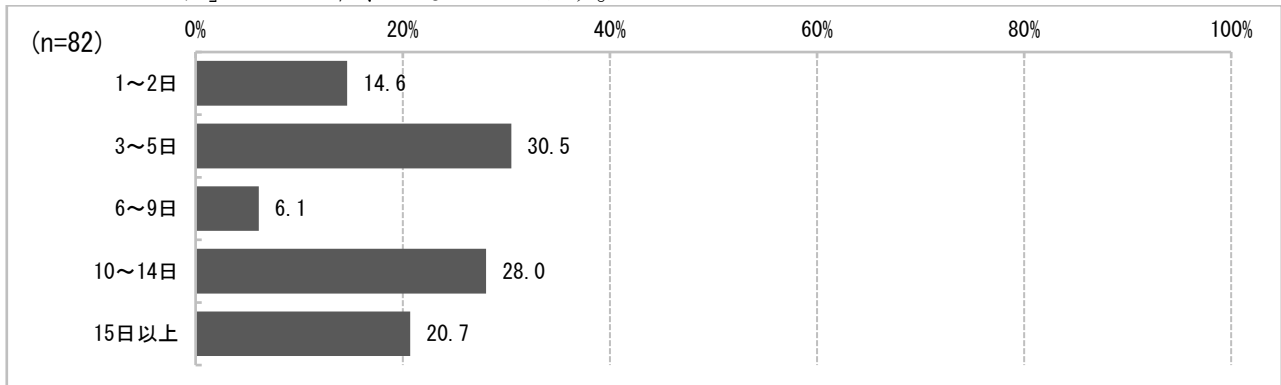
①病児・病後児のための保育施設などの利用意向〈単数回答〉

- 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が51.3%、「利用したいとは思わない」が48.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が17.4ポイント（前回調査：33.9%）前回より多く、反対に「利用したいとは思わない」が16.7ポイント（前回調査：65.5%）前回より少なくなっています。



②利用希望日数〈「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「3～5日」が30.5%と最も多く、次いで「10～14日」が28.0%、「15日以上」が20.7%、「1～2日」が14.6%、となっています。

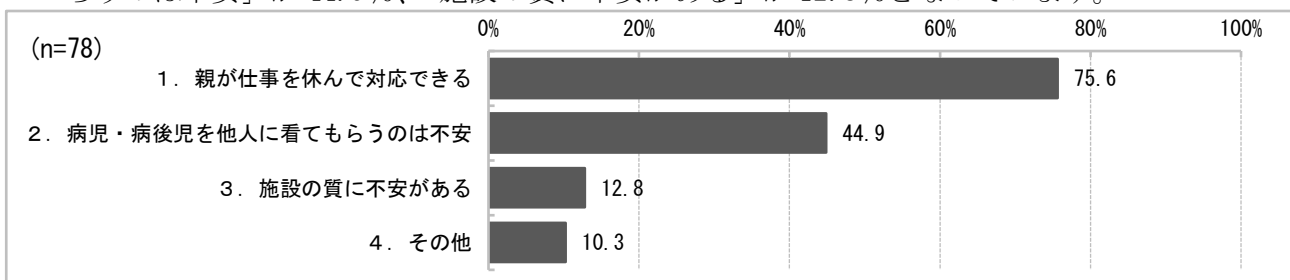


(4) 病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由〈複数回答〉

問 36 で「2. 利用したいと思わない」に○を付けた方にうかがいます。

問 37 そう思われる理由は何ですか。

- 「親が仕事を休んで対応できる」が75.6%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が44.9%、「施設の質に不安がある」が12.8%となっています。



【その他の主な内容】

- ・お金がかかるから
- ・手続きが面倒だから
- ・子どものそばにいてあげたいから
- ・親族に看てもらえるから

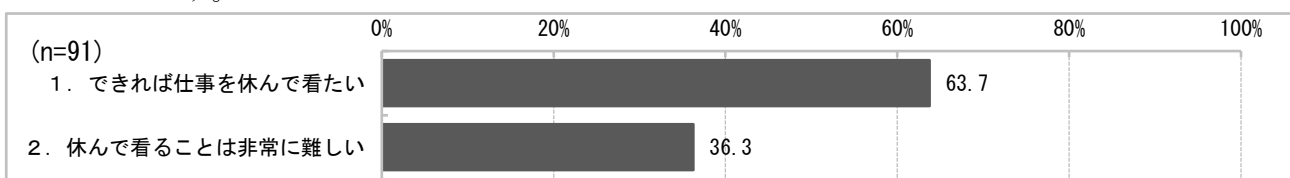
(5) 仕事を休まなかった方の仕事を休んで子どもを看たい意向〈単数回答〉

問 35 で「3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「8 その他」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問 38 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

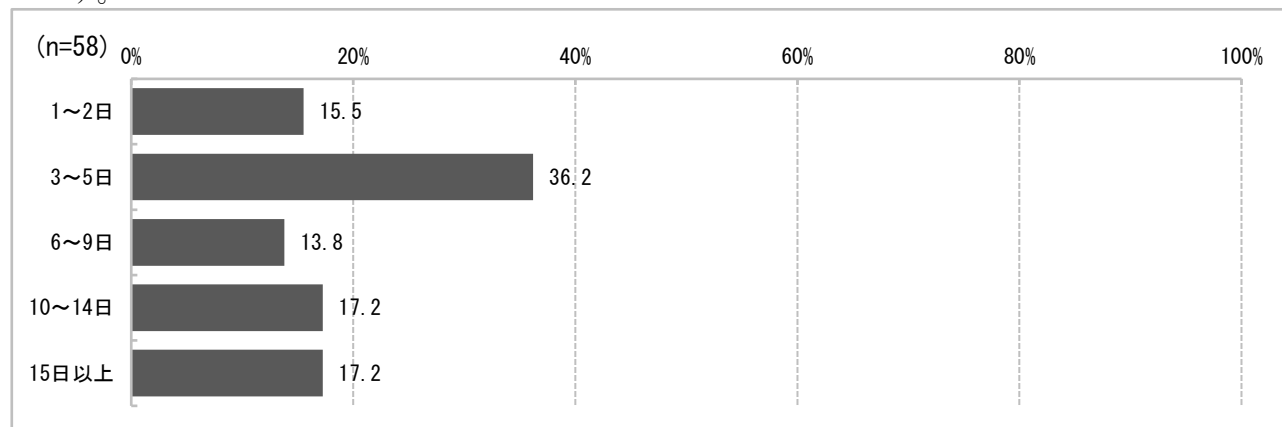
①仕事を休まなかった方の仕事を休んで子どもを看たい意向〈単数回答〉

- 「できれば仕事を休んで看たい」が63.7%、「休んで看することは非常に難しい」が36.3%となっています。



②仕事を休んで看たい日数〈「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方／単数回答〉

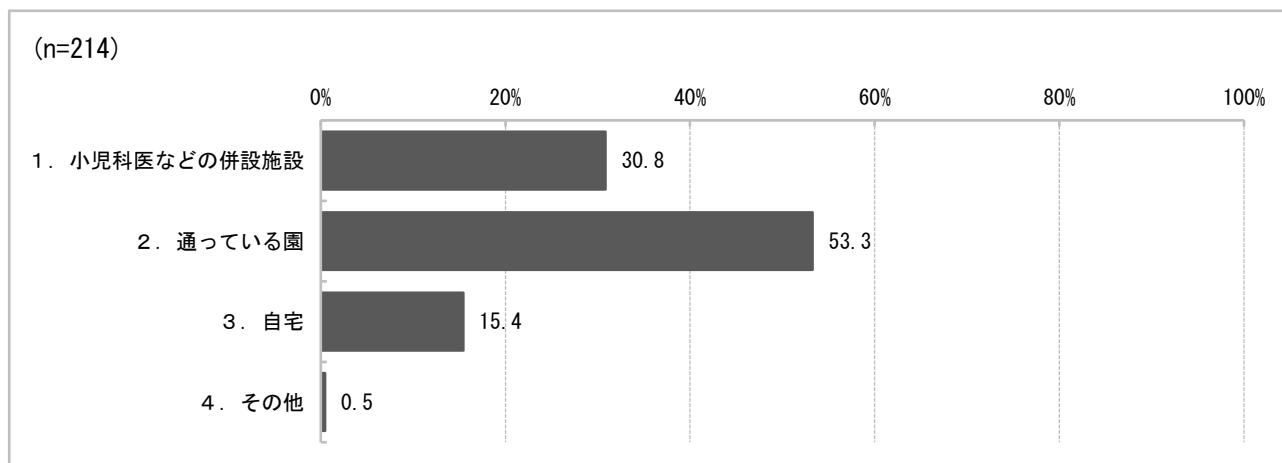
- 「3～5日」が36.2%と最も多く、次いで「10～14日」と「15日以上」が17.2%となっています。



(6) 病気や病気後に保育を利用する場合の希望施設〈単数回答〉

問 39 お子さんが病気や病気後に保育を利用する場合、どのような場所がいいですか。

- 「通っている園」が53.3%と最も多く、次いで「小児科医などの併設施設」が30.8%、「自宅」が15.4%となっています。



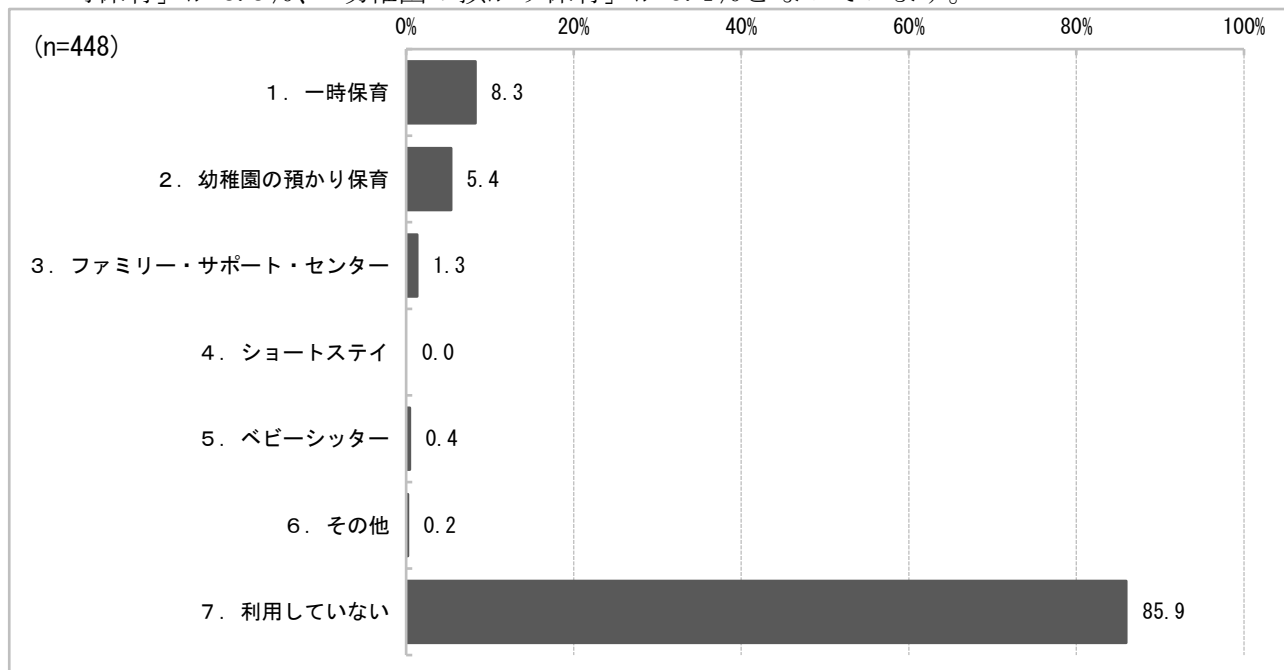
9. 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について【問 40～問 42】

(1) 突発的な保育を利用している事業の有無〈複数回答〉

問 40 日中の定期的な保育園や幼稚園の利用以外に、私用、親の通院、不定期な就労などの目的で利用している事業がありますか。あてはまる番号すべてに○を付け、利用している事業がある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も記入してください。

①突発的な保育（事業）の利用有無〈複数回答〉

- 「利用していない」が85.9%と最も多くなっています。また、利用している事業をみると、「一時保育」が8.3%、「幼稚園の預かり保育」が5.4%となっています。



②突発的な保育（事業）の利用日数〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 一時保育では「1～2日」が32.4%、幼稚園の預かり保育では「3～5日以上」が37.5%と最も多くなっています。

	一時保育	幼稚園の 預かり保育	ファミリー・ サポート・ センター	ベビーシッター
	n=37	n=24	n=6	n=2
1～2日	32.4	25.0	33.3	0.0
3～5日	27.0	37.5	0.0	100.0
6～9日	2.7	0.0	16.7	0.0
10～14日	18.9	20.8	16.7	0.0
15日以上	18.9	16.7	33.3	0.0

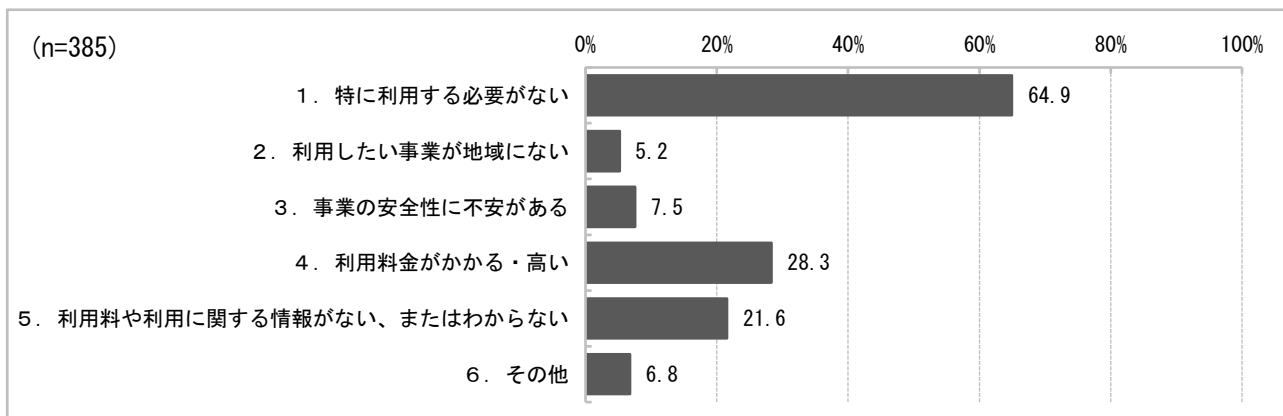
※グレー部分は最多項目

(2) 突発的な保育を利用していない理由〈複数回答〉

問 40 で「7. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

問 41 現在利用していない理由は何ですか。

- 「特に利用する必要がない」が64.9%と最も多く、次いで「利用料金がかかる・高い」が28.3%、「利用料や利用に関する情報がない、またはわからない」が21.6%となっています。



【その他の主な内容】

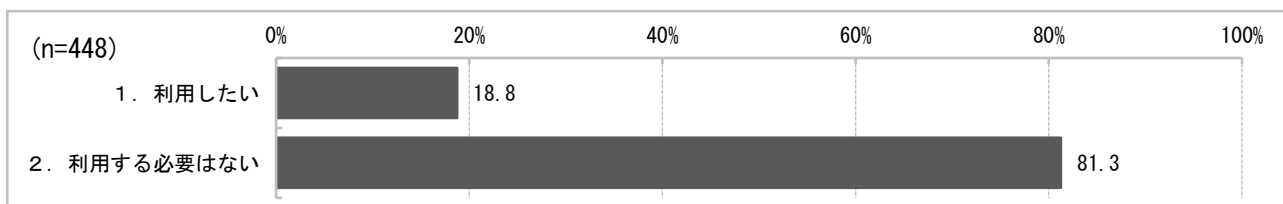
- ・予約が取れないため
- ・子どもが人見知りであるため
- ・年齢が低いと預けられない
- ・使いたいときにすぐに使えないため（事前面談が必要など）

(3) 突発的な保育の利用希望

問 42 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○を付け、必要な日数をご記入ください。

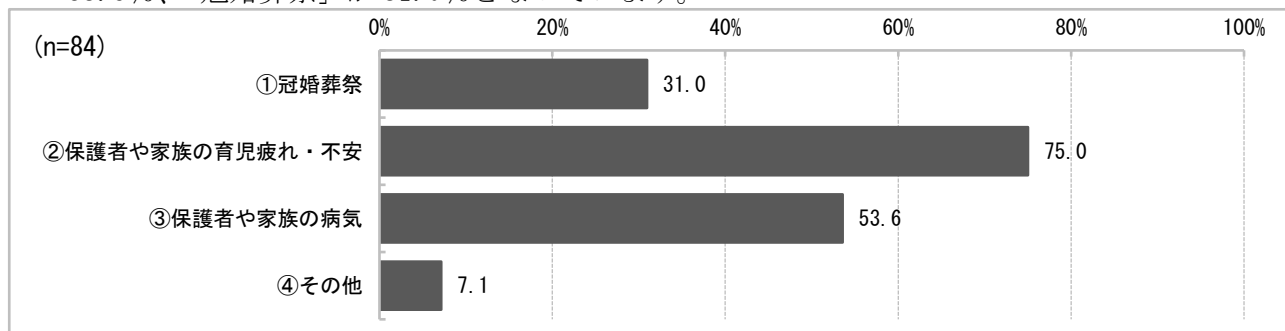
①突発的な保育の利用希望〈単数回答〉

- 「利用したい」が18.8%、「利用する必要はない」が81.3%となっています。



②利用したい目的の内訳〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「保護者や家族の育児疲れ・不安」が75.0%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が53.6%、「冠婚葬祭」が31.0%となっています。



③利用希望の年間日数〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「冠婚葬祭」では「1～2日」が53.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」では「3～5日」が41.3%、「保護者や家族の病気」では「3～5日」が46.7%と最も多くなっています。

	冠 婚 葬 祭	保 護 者 や 家 族 の 育 児 疲 れ ・ 不 安	保 護 者 や 家 族 の 病 気	そ の 他
	n=26	n=63	n=45	n=6
1～2日	53.8	28.6	31.1	33.3
3～5日	42.3	41.3	46.7	33.3
6～9日	0.0	6.3	2.2	16.7
10～14日	3.8	17.5	8.9	16.7
15日以上	0.0	6.3	11.1	0.0

※グレー部分は最多項目

【その他の主な内容】

- ・リフレッシュのため
- ・突発的な仕事の発生

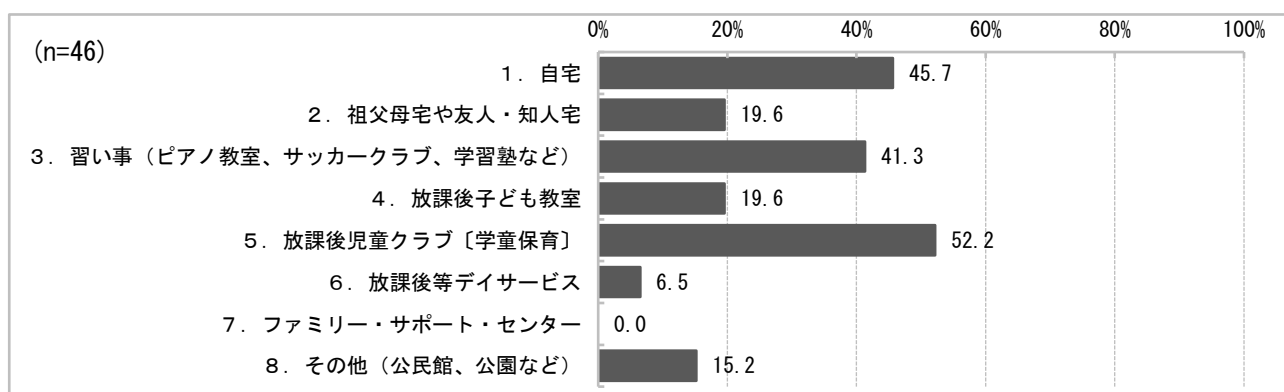
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について【問 43～問 49】

(1) (低学年時) 放課後の過ごし方の意向〈複数回答〉

問 43 お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。また、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の場合には、利用希望の週あたりの日数、下校時からの利用希望時刻と利用希望の最終学年も記入してください。

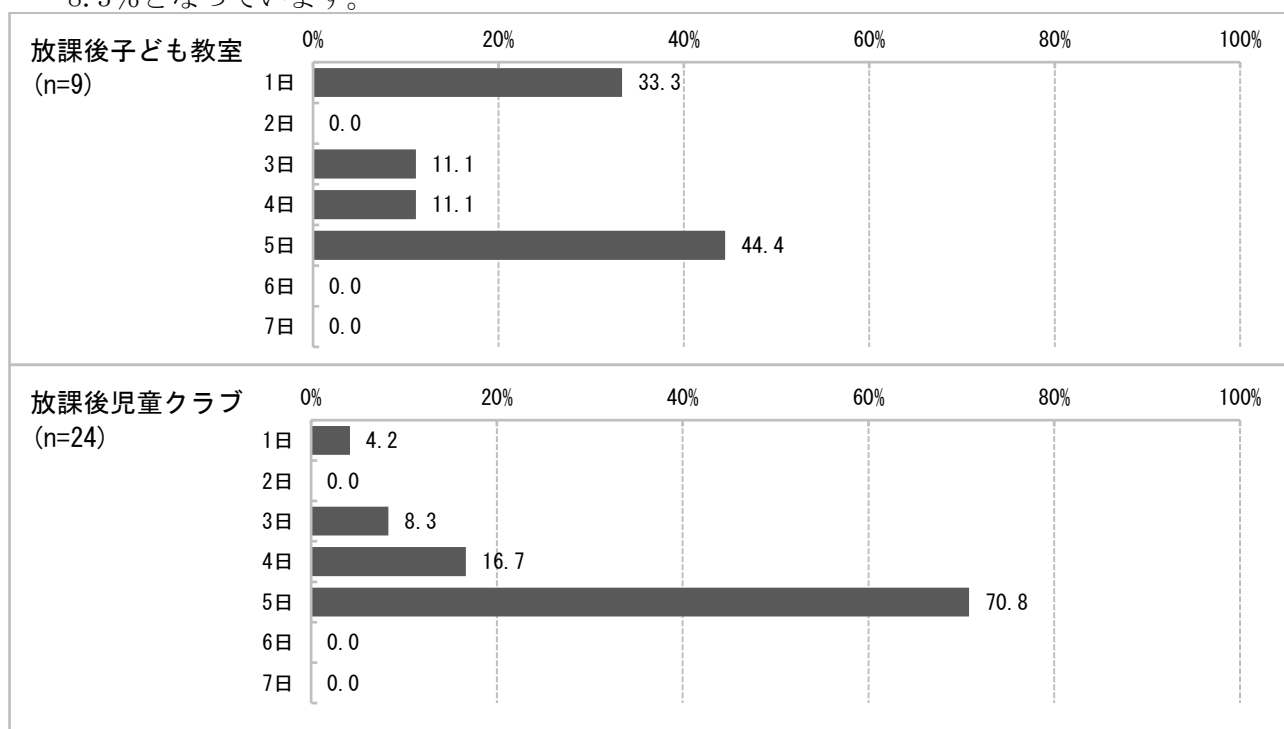
① (低学年時) 放課後の過ごし方の意向〈複数回答〉

- 「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 52.2%と最も多く、次いで「自宅」が 45.7%、「習い事」が 41.3%となっています。



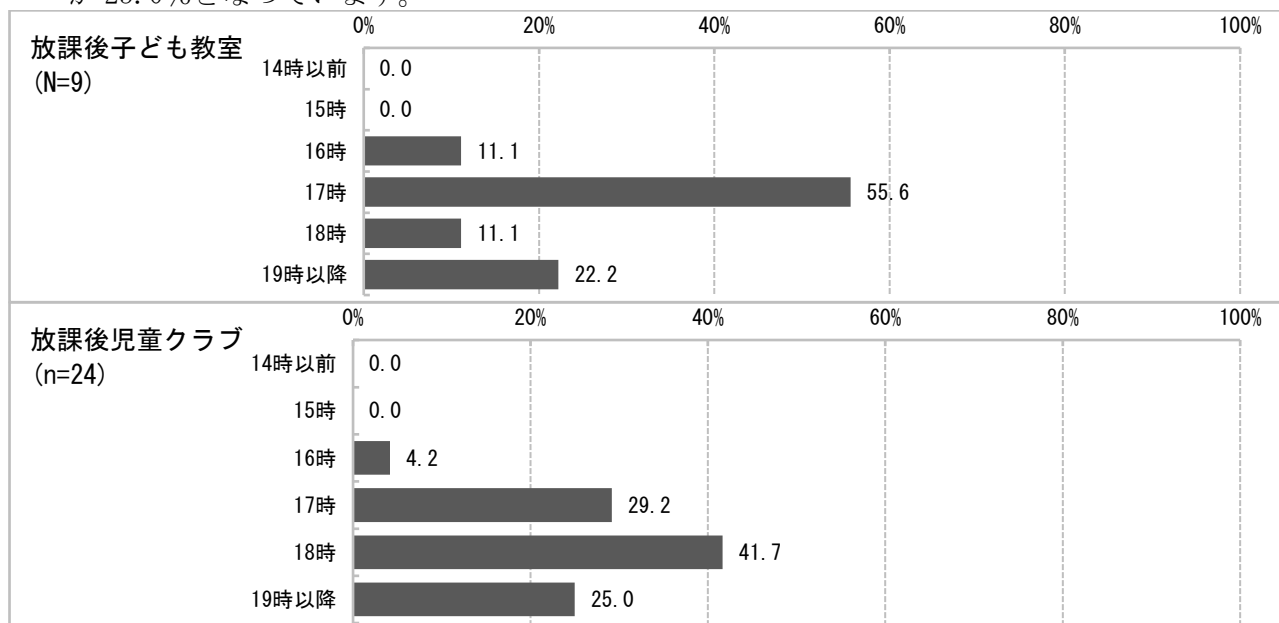
② (低学年時) 放課後子ども教室と放課後児童クラブの１週あたり利用希望日数〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「５日」が 44.4%と最も多く、次いで「１日」が 33.3%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「５日」が 70.8%と最も多く、次いで「４日」が 16.7%、「３日」が 8.3%となっています。



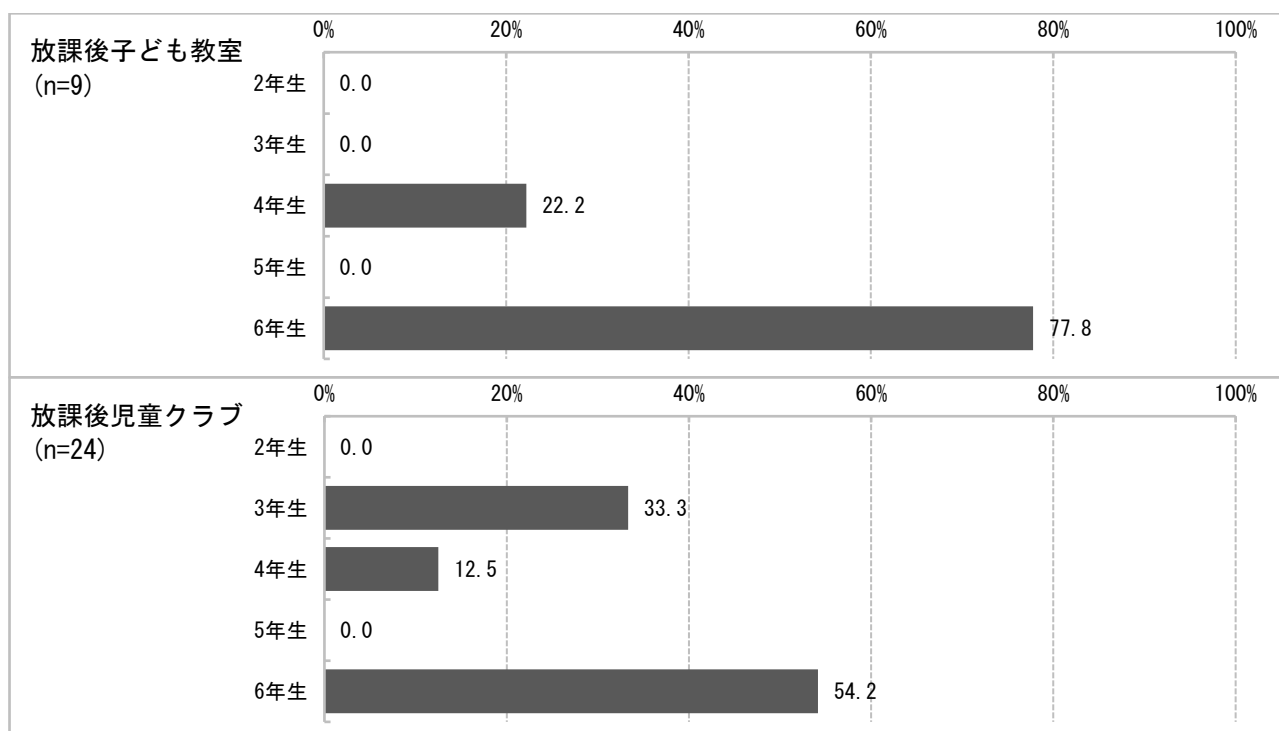
③放課後子ども教室と放課後児童クラブの下校時からの利用希望時刻〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「17 時」が 55.6%と最も多く、次いで「19 時以降」が 22.2%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「18 時」が 41.7%と最も多く、次いで「17 時」が 29.2%、「19 時以降」が 25.0%となっています。



④放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用希望の最終学年〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「6 年生」が 77.8%と最も多く、次いで「4 年生」が 22.2%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「6 年生」が 54.2%と最も多く、次いで「3 年生」が 33.3%、「4 年生」が 12.5%となっています。

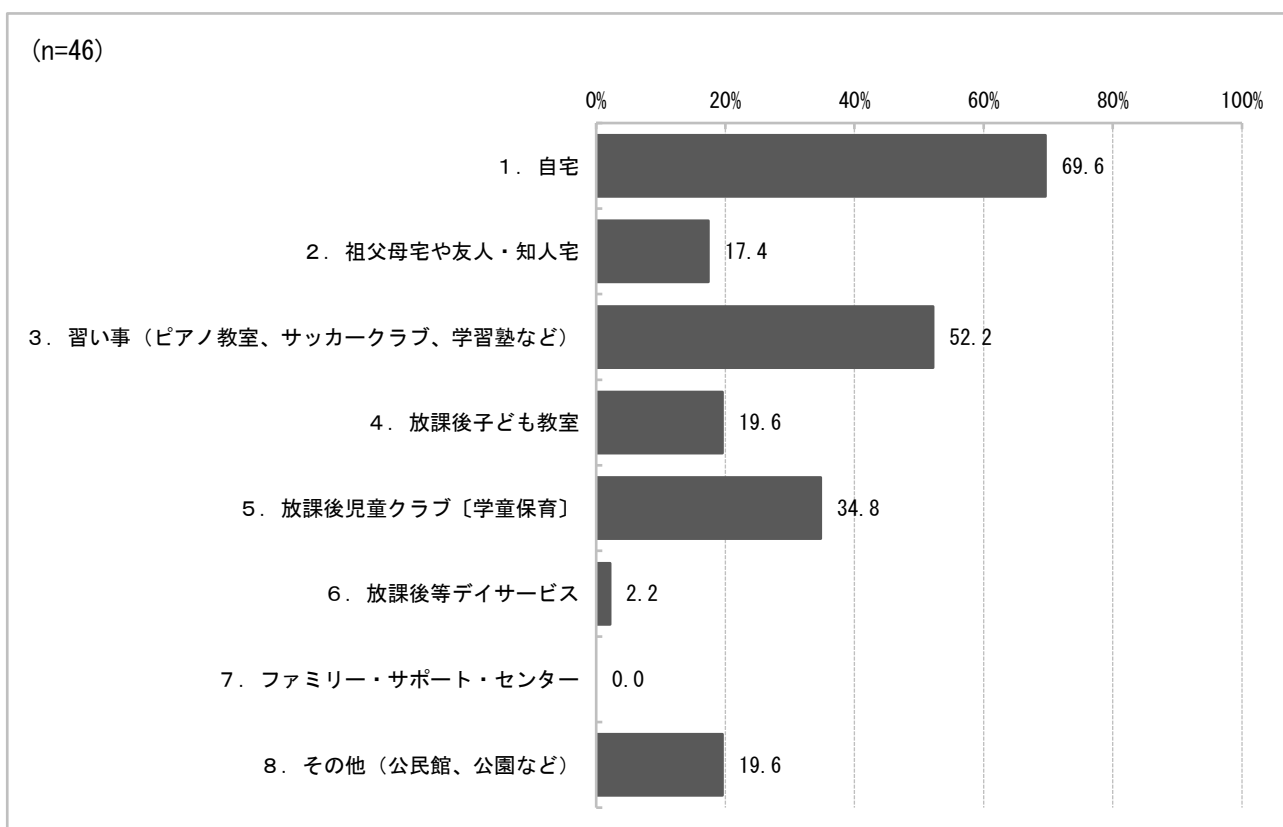


(2) (高学年時) 放課後の過ごし方の意向〈複数回答〉

問 44 お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。また、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の場合には、利用希望の週あたりの日数、下校時からの利用希望時刻と利用希望の最終学年も記入してください。

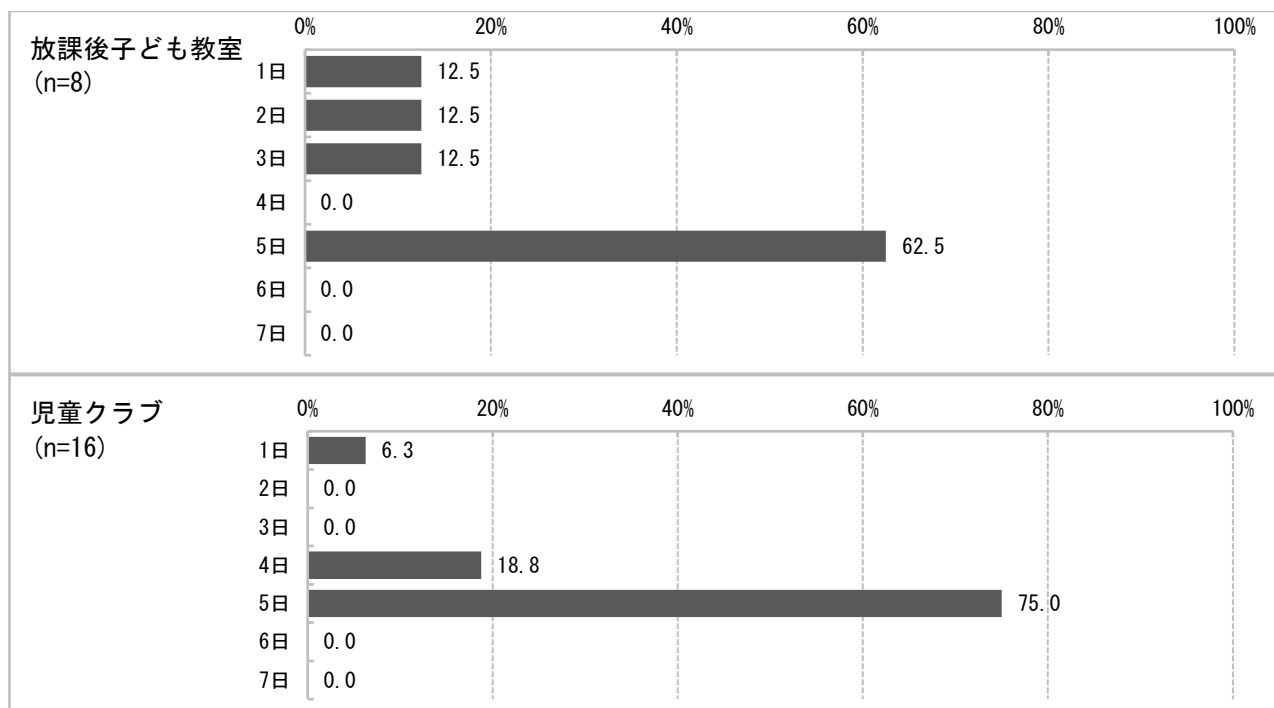
① (高学年時) 放課後の過ごし方の意向〈複数回答〉

○ 「自宅」が 69.6%と最も多く、次いで「習い事」が 52.2%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 34.8%、「放課後子ども教室」は 19.6%となっています。



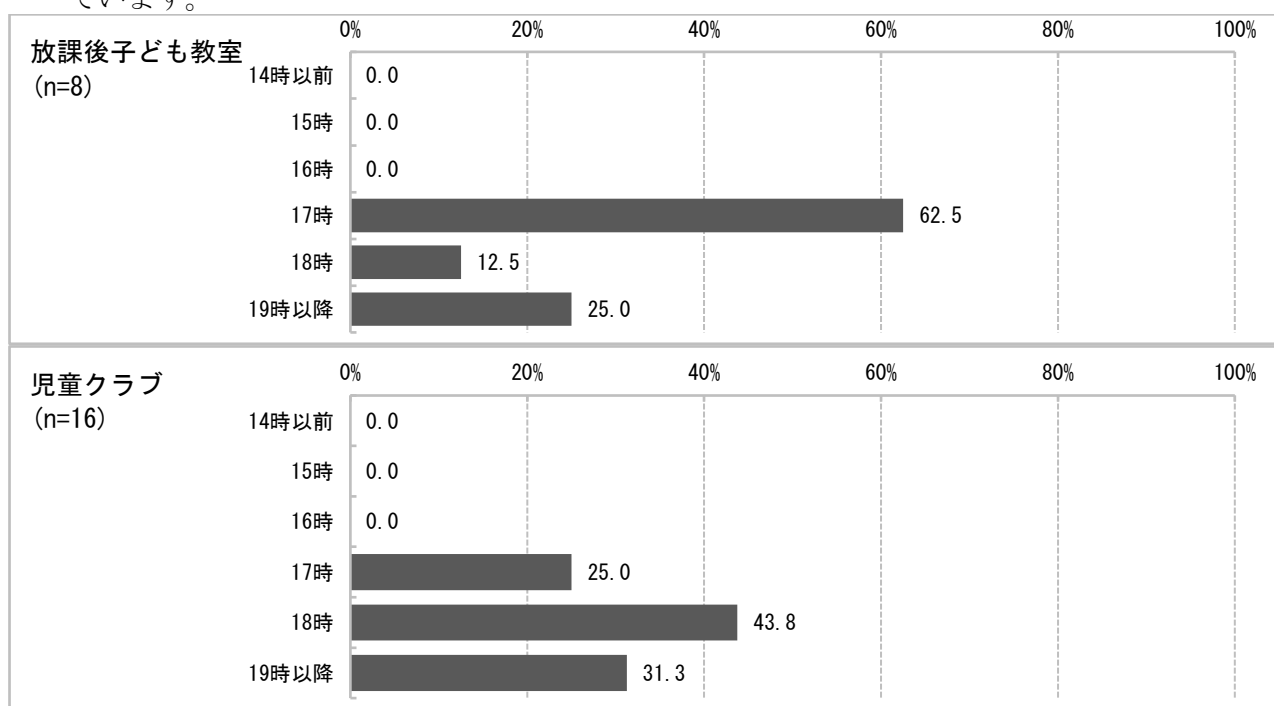
②（高学年時）放課後子ども教室と放課後児童クラブの1週あたり利用希望日数〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「5日」が62.5%と最も多く、次いで「1日」、「2日」、「3日」が12.5%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「5日」が75.0%と最も多く、次いで「4日」が18.8%、「1日」が6.3%となっています。



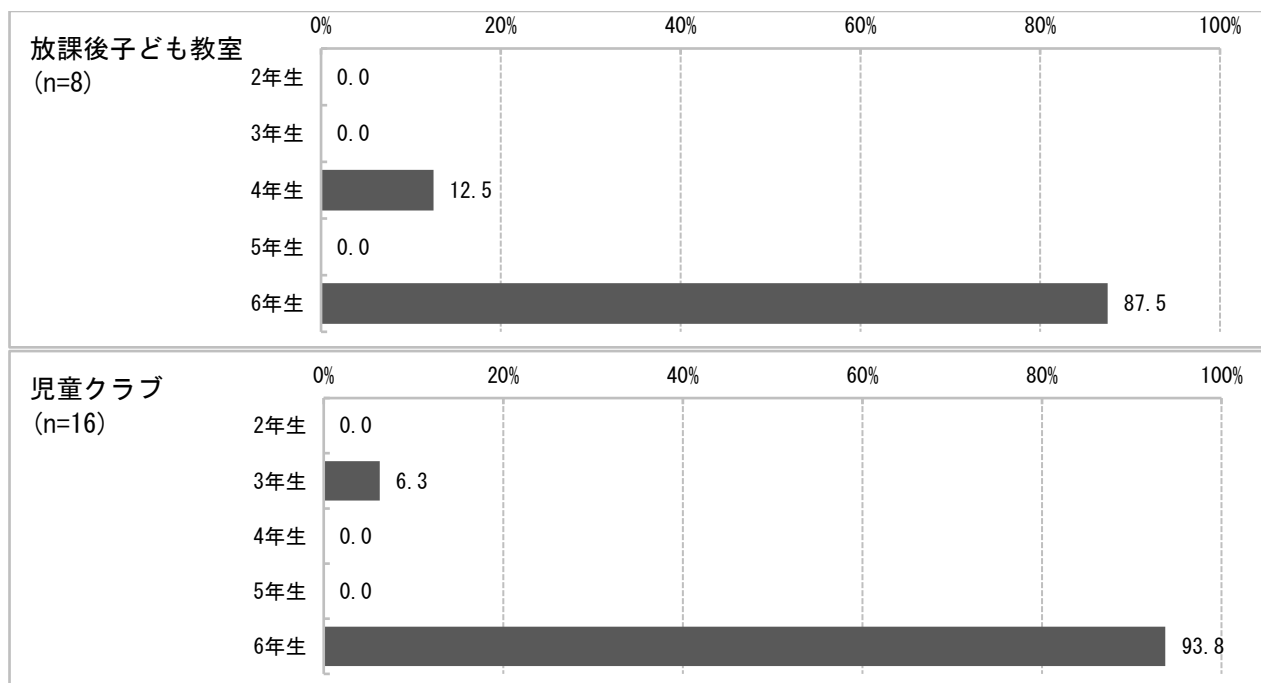
③放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用希望時刻〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「17時」が62.5%と最も多く、次いで「19時以降」が25.0%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「18時」が43.8%と最も多く、次いで「19時以降」が31.3%となっています。



④放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用希望の最終学年〈数量回答〉

- 放課後子ども教室では、「6年生」が87.5%と最も多く、次いで「4年生」が12.5%となっています。
- 放課後児童クラブでは、「6年生」が93.8%と最も多く、次いで「3年生」が6.3%となっています。



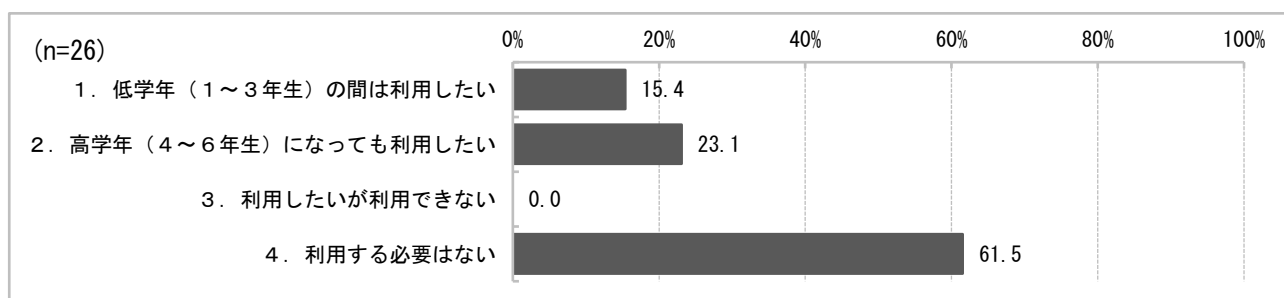
(3) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈複数回答〉

問 43 または問 44 で「5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○を付けた方にうかがいます。

問 45 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日の利用希望〈単数回答〉

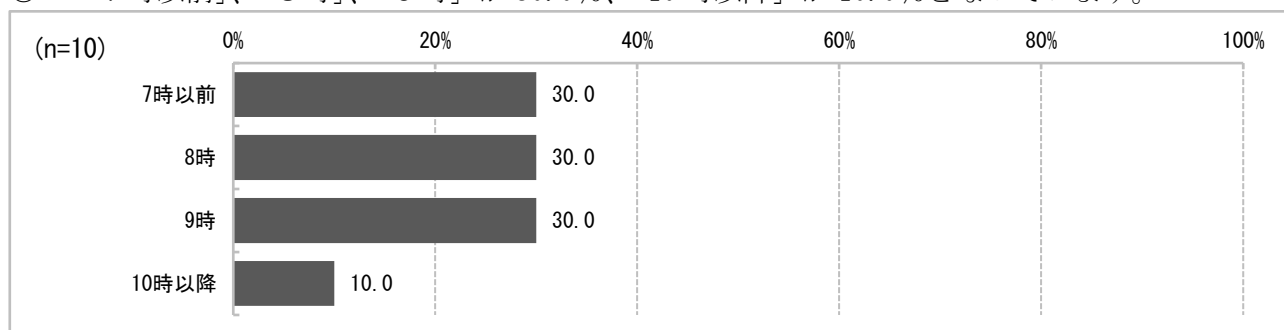
- 「利用する必要はない」が61.5%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が23.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.4%となっています。



②土曜日の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

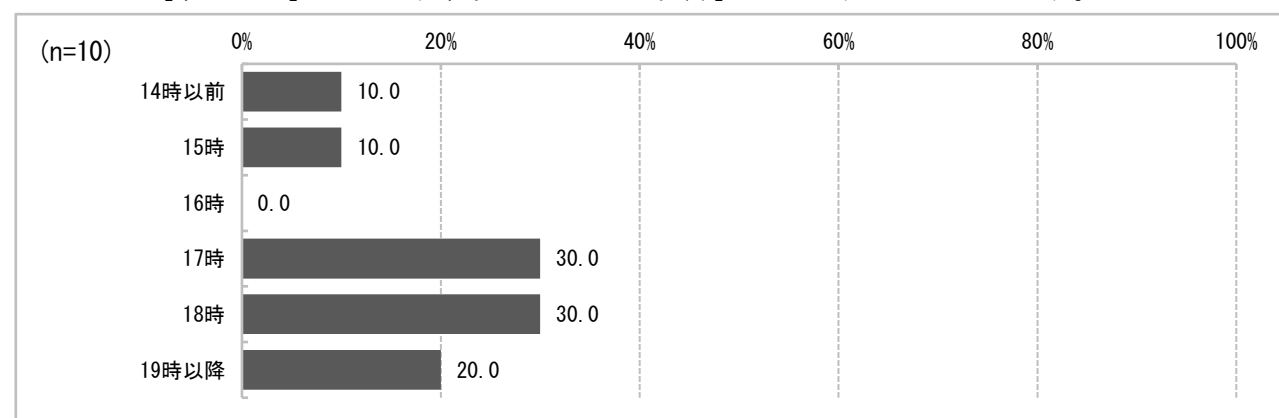
○ 「７時以前」、「８時」、「９時」が 30.0%、「10 時以降」が 10.0%となっています。



③土曜日の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

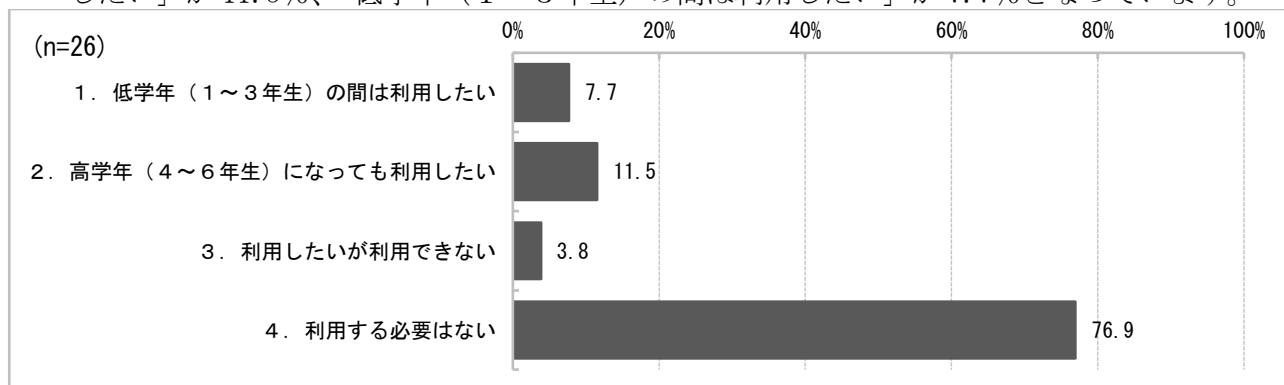
○ 「18 時」、「17 時」が 30.0%、次いで「19 時以降」が 20.0%となっています。



④日曜日・祝日の利用希望〈単数回答〉

〈「高学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

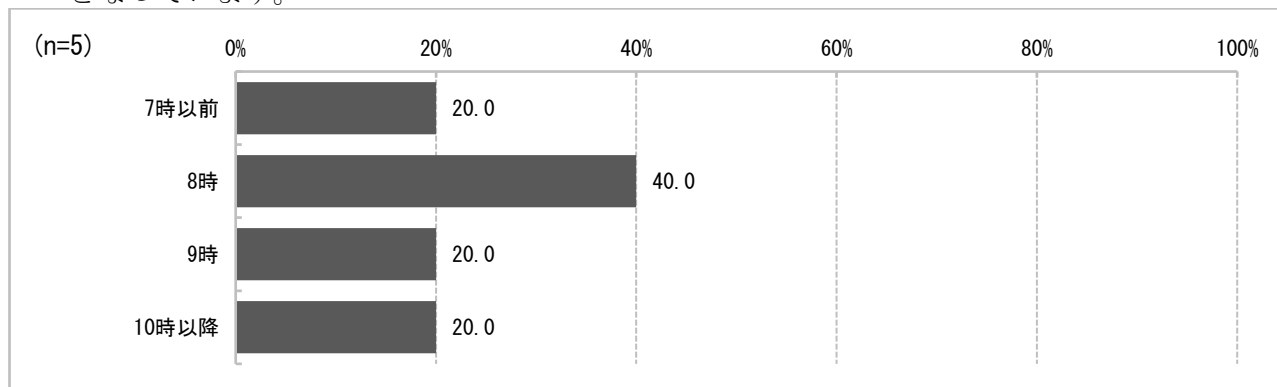
○ 「利用する必要はない」が 76.9%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 11.5%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 7.7%となっています。



⑤日曜日・祝日の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

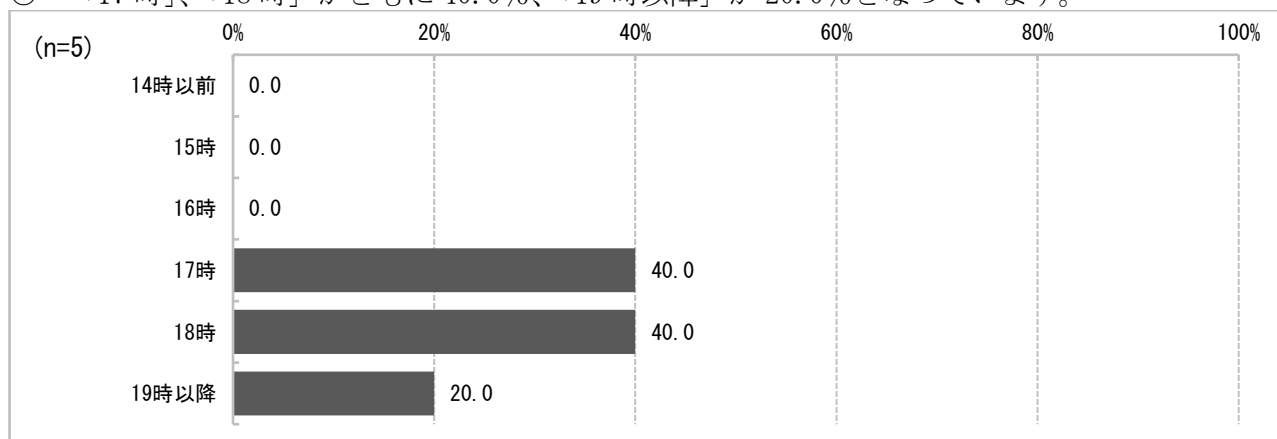
- 「８時」が 40.0%と最も多く、次いで「７時以前」、「９時」、「１０時以降」が 20.0%となっています。



⑥日曜日・祝日の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「１７時」、「１８時」がともに 40.0%、「１９時以降」が 20.0%となっています。



（４）放課後児童クラブを利用したいが利用できない理由〈自由記述〉

問 45 で「３．利用したいが利用できない」に○を付けた方にうかがいます。

問 46 利用できない理由は何ですか。

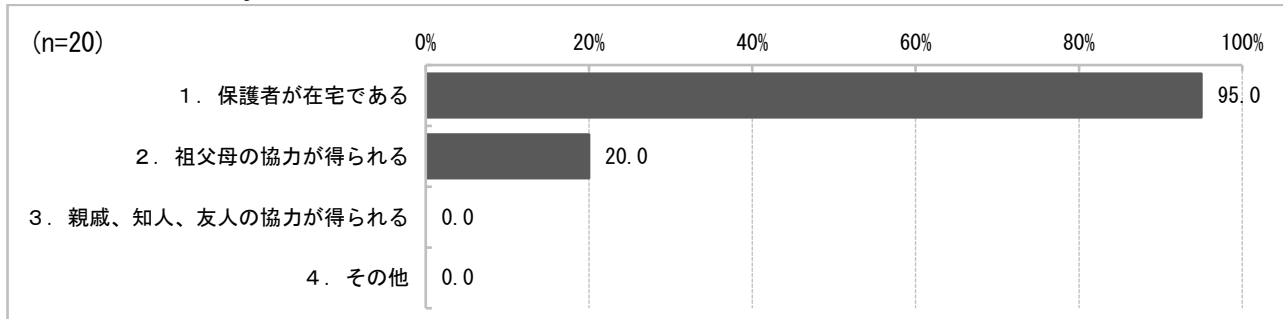
- 「日曜日に利用できる場所がない」などの回答が挙げられました。

（５）放課後児童クラブを利用する必要がない理由〈複数回答〉

問 45 で「４．利用する必要はない」に○を付けた方にうかがいます。

問 47 利用する必要がない理由は何ですか。

- 「保護者が在宅である」が 95.0%と最も多く、次いで「祖父母の協力が得られる」が 20.0%となっている。

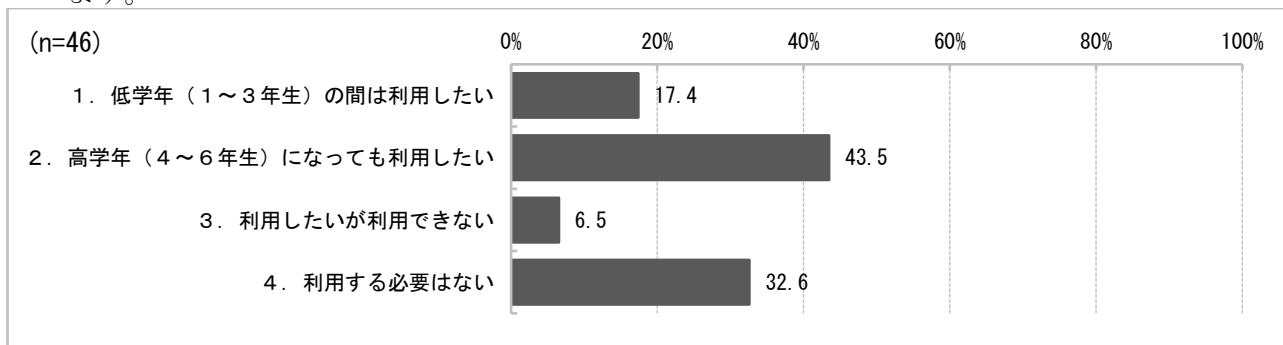


（６）長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 48 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

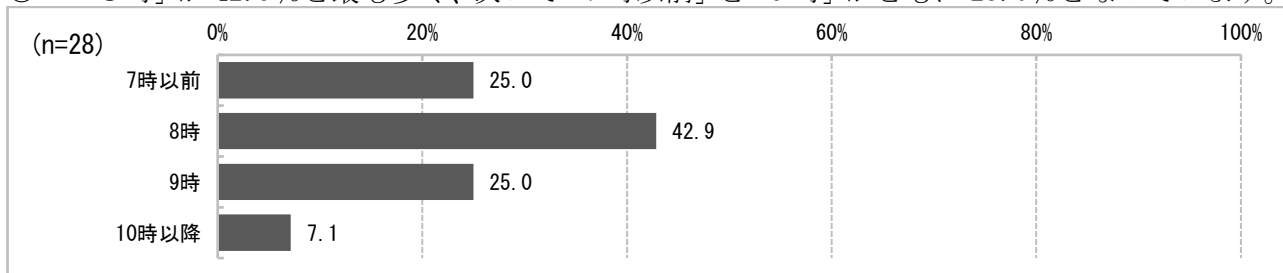
- 利用意向では、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 17.4%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は、43.5%となっています。
- 一方で、「利用する必要はない」が 32.6%、「利用したいが利用できない」が 6.5%となっています。



②長期休暇中の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

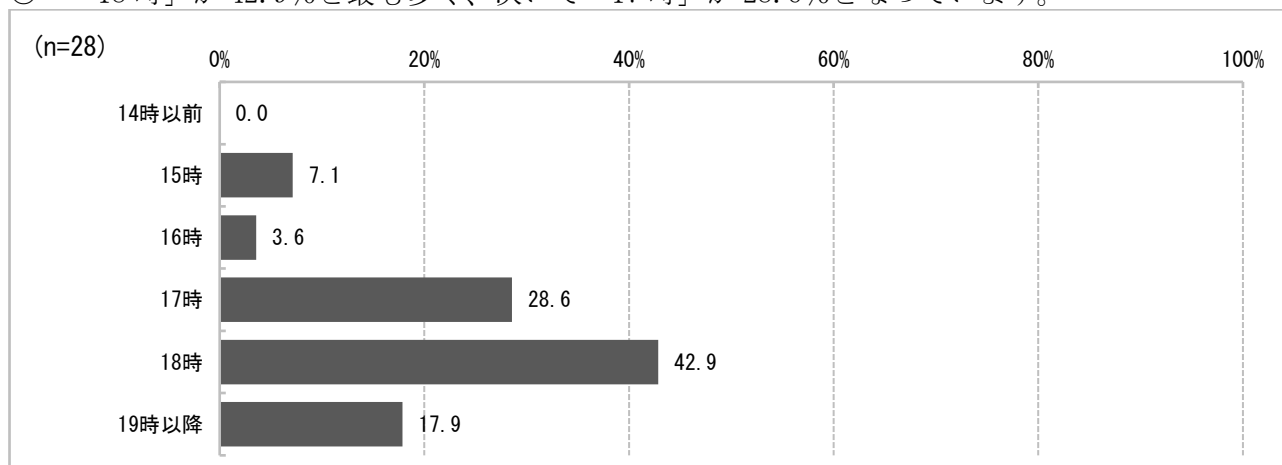
- 「８時」が 42.9%と最も多く、次いで「７時以前」と「９時」がともに 25.0%となっています。



③長期休暇中の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

○ 「１８時」が４２．９％と最も多く、次いで「１７時」が２８．６％となっています。



（７）放課後児童クラブを利用したいが利用できない理由〈自由記述〉

問 48 で「３．利用したいが利用できない」に○を付けた方にうかがいます。

問 49 利用できない理由は何ですか。

○ 主な回答として、「長期休みの募集がないため」、「就労していないため」、「空きがないため」などが挙げられました。

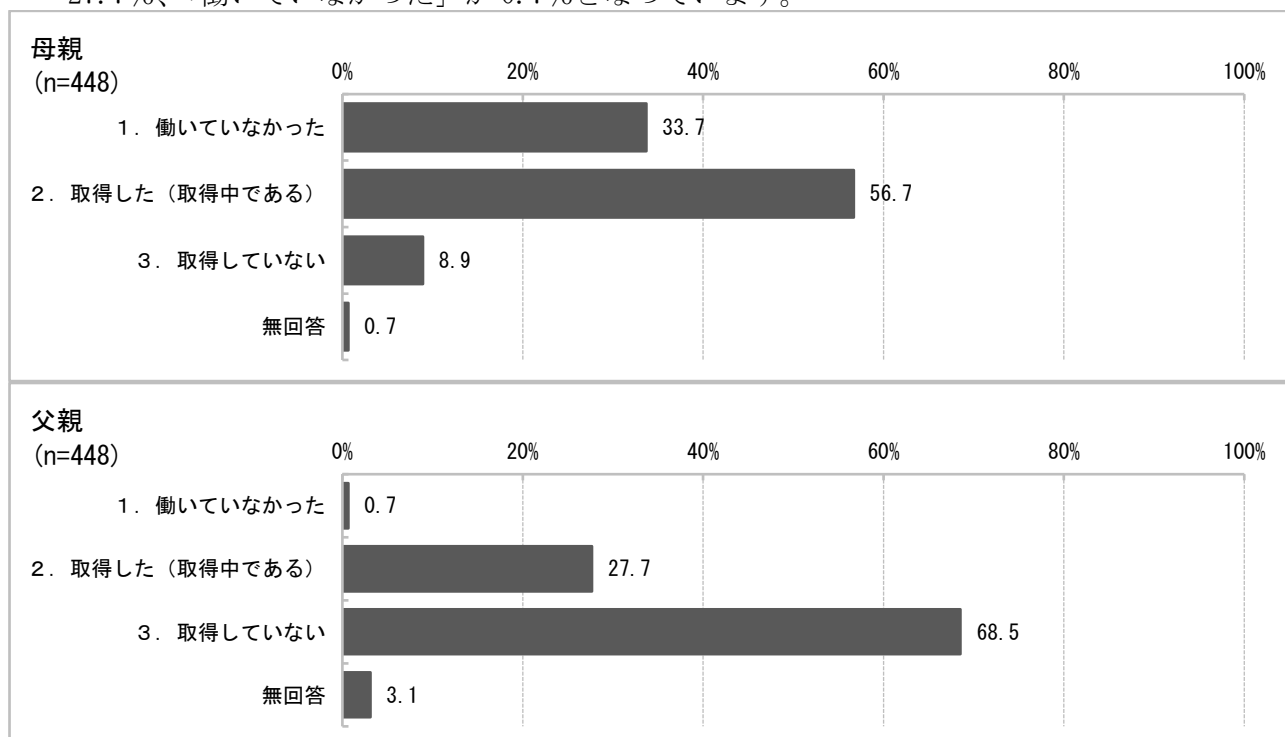
11. 育児休業など職場の両立支援制度について【問 50～問 54】

（１）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況

問 50 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由を選択してください。

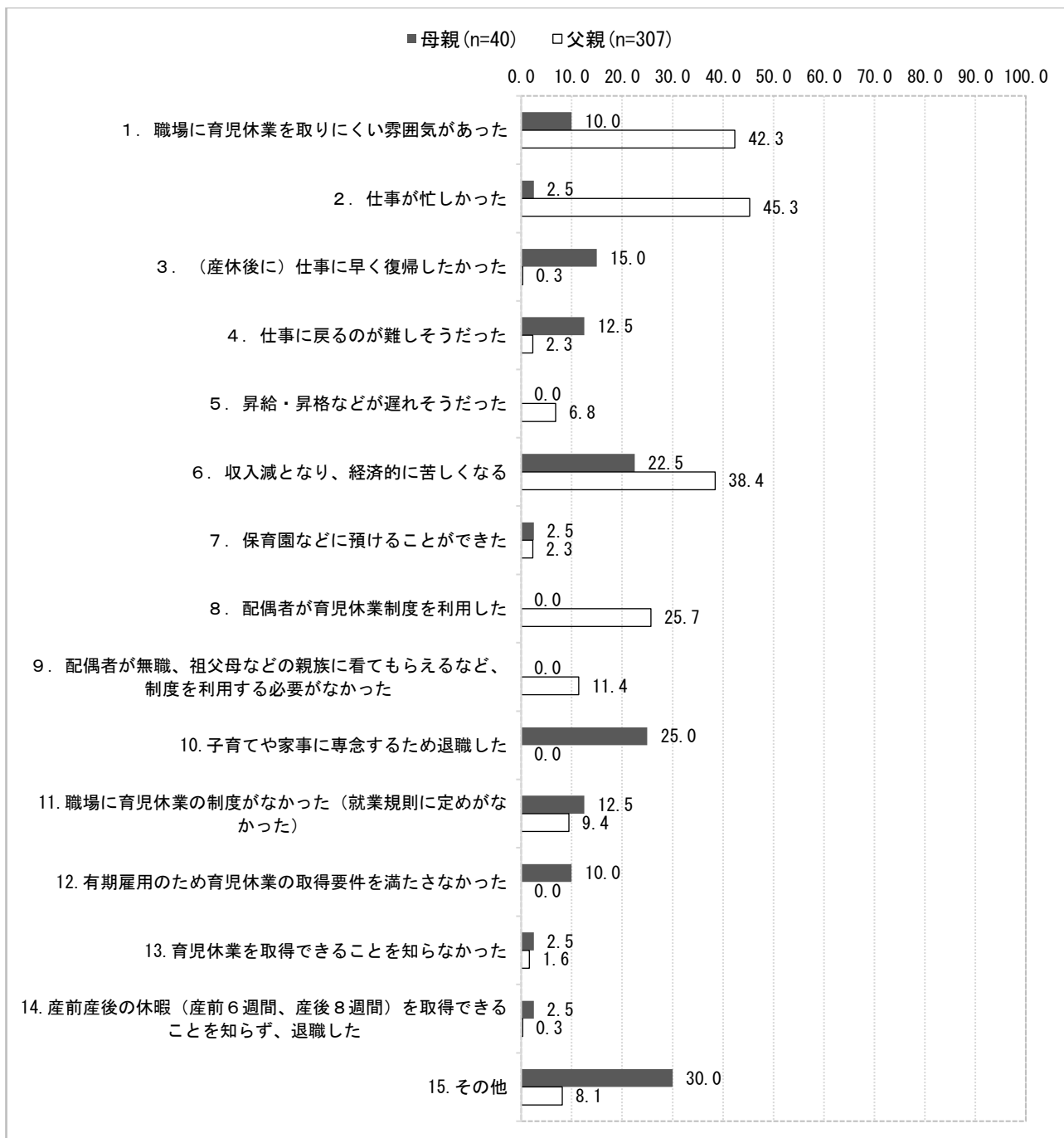
①保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉

- 母親では、「取得した（取得中である）」が 56.7%と最も多く、次いで、「働いていなかった」が 33.7%「取得していない」が 8.9%となっています。
- 父親では、「取得していない」が 68.5%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 27.7%、「働いていなかった」が 0.7%となっています。



②育児休業を取得していない理由〈「取得していない」を選んだ方／複数回答〉

- 母親では、「その他」が30.0%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するために退職した」が25.0%、「収入源となり経済的に苦しくなる」が22.5%となっています。
- 父親では、「仕事が忙しかった」が45.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が42.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が25.7%となっています。



【その他の主な内容】

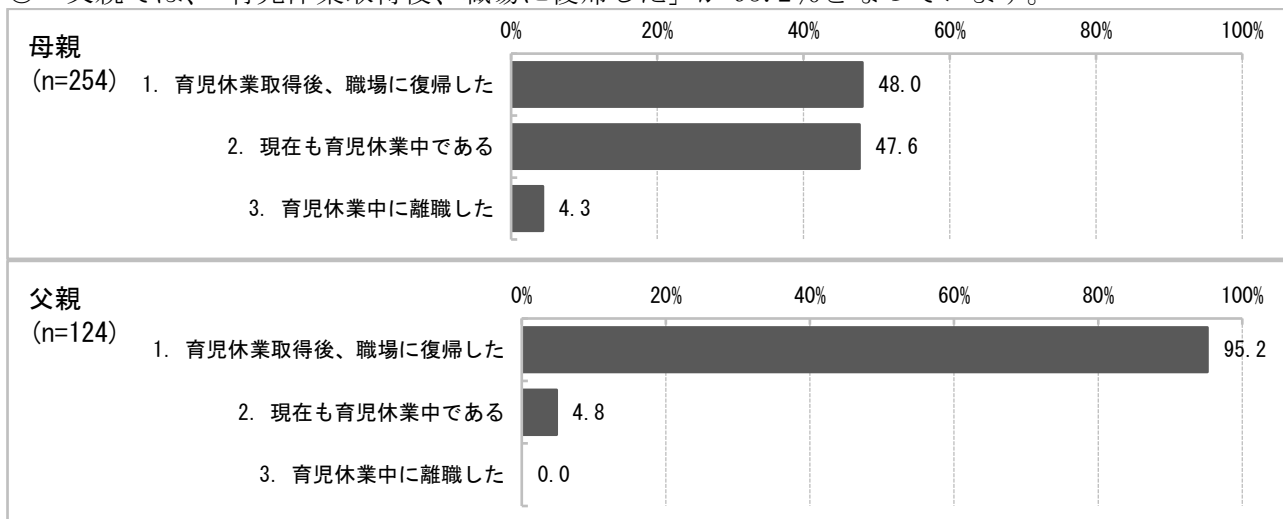
- ・自営業、フリーランス、在宅勤務のため
- ・会社に育休制度がないため
- ・退職したため
- ・有給にて対応可能であったため
- ・パートタイム勤務であり、育児休業を取得する意味がないため

(2) 育児休業取得後の職場への復帰状況

問 50 で「2 取得した（取得中である）」に○を付けた方にうかがいます。

問 51 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

- 母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 48.0%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 47.6%、「育児休業中に離職した」が 4.3%となっています。
- 父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 95.2%となっています。

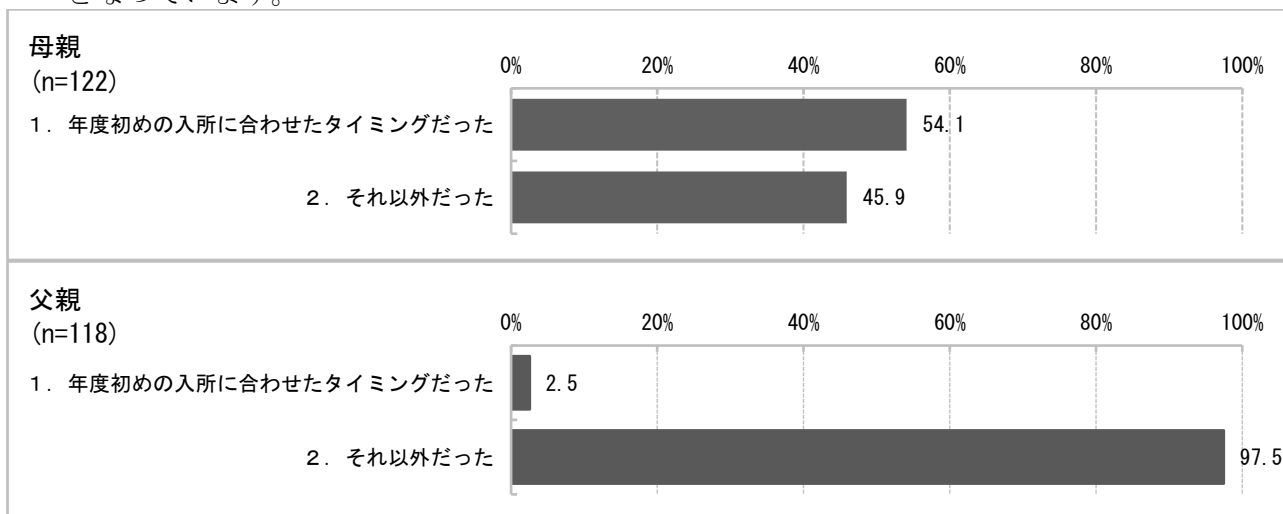


(3) 職場復帰のタイミング〈単数回答〉

問 51 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○を付けた方にうかがいます。

問 52 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

- 母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 54.1%、「それ以外だった」が 45.9%となっています。
- 父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 2.5%、「それ以外だった」が 97.5%となっています。



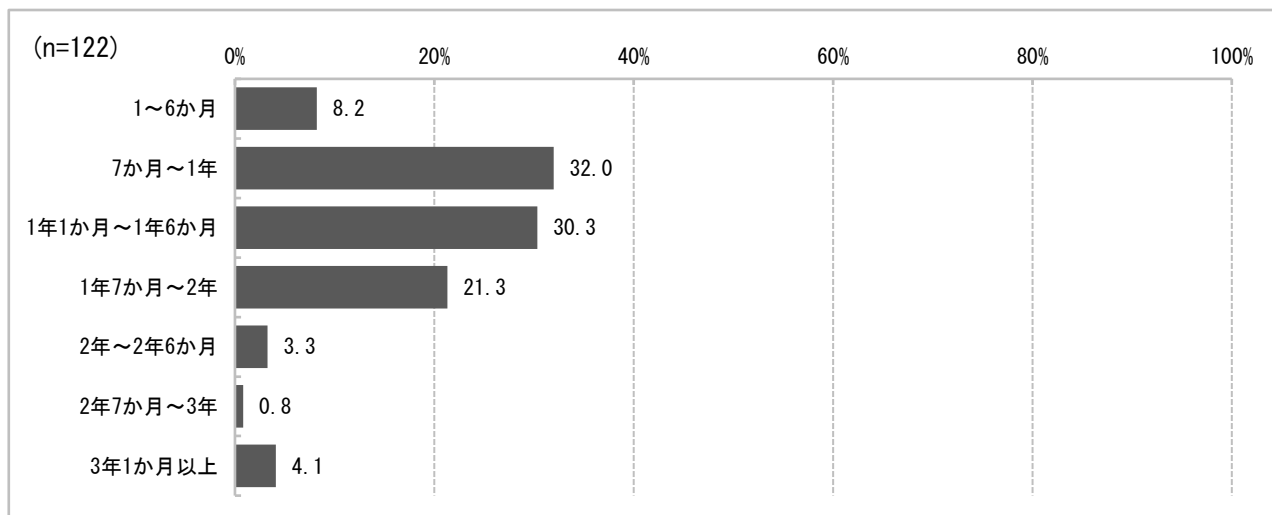
(4) 育児休業からの職場復帰時期

問 51 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○を付けた方にうかがいます。

問 53 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

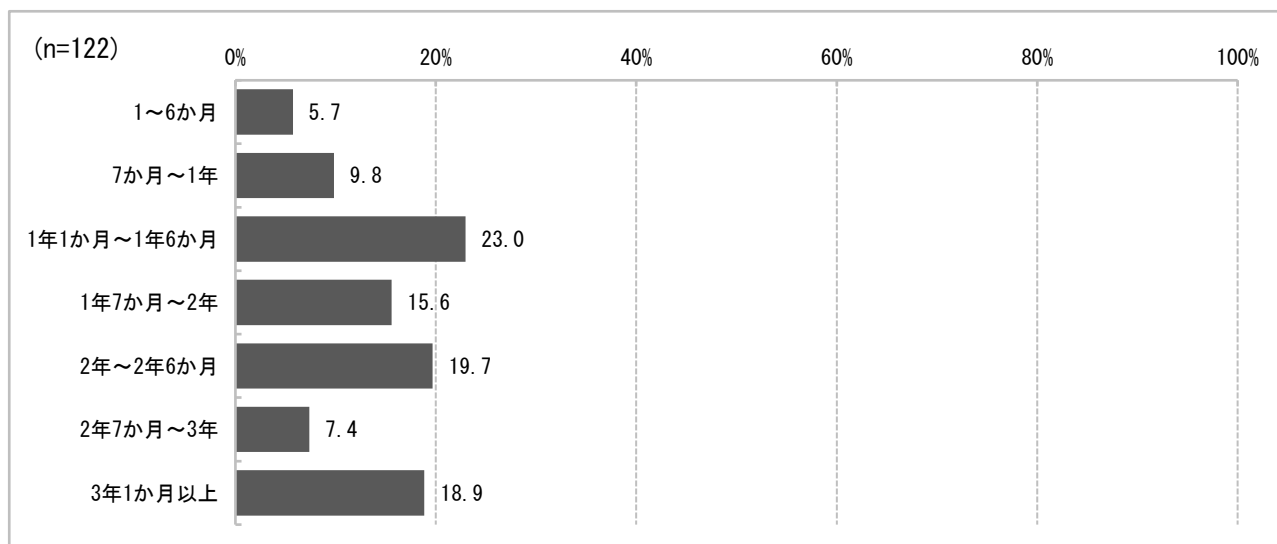
①母親の実際の職場復帰時期〈数量回答〉

- 子どもが「7 か月～1 年」が 32.0%と最も多く、次いで「1 年 1 か月～1 年 6 か月」が 30.3%、「1 年 7 か月～2 年」が 21.3%となっています。



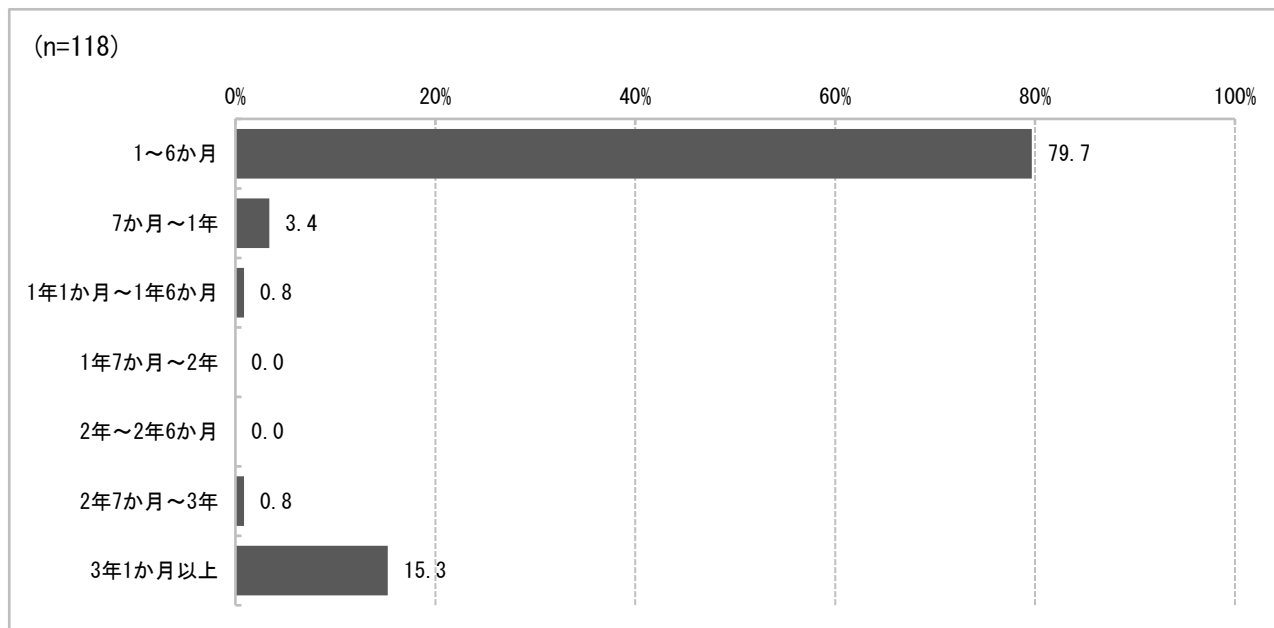
②母親の希望の職場復帰時期〈数量回答〉

- 子どもが「1 年 1 か月～1 年 6 か月」が 23.0%と最も多く、次いで、「2 年～2 年 6 か月」が 19.7%、「3 年 1 か月以上」が 18.9%となっています。



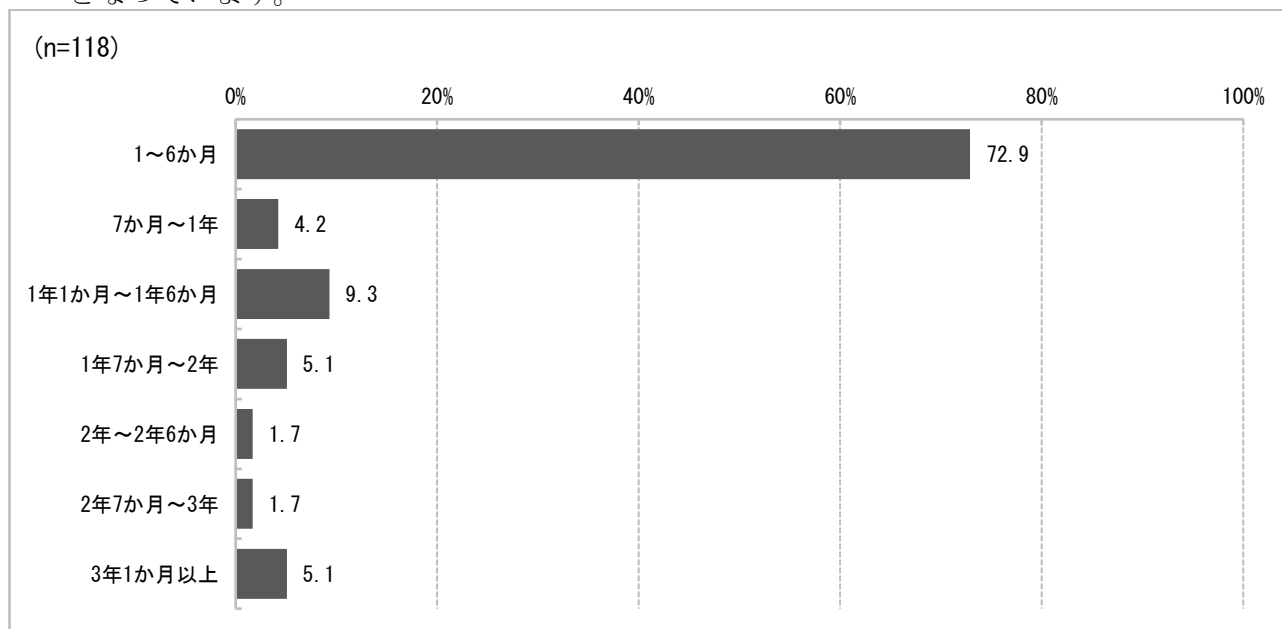
③父親の実際の職場復帰時期〈数量回答〉

- 子どもが「1 か月～6 か月」が 79.7%と最も多く、次いで「3 年 1 か月以上」が 15.3%、「7 か月～1 年」が 3.4%となっています。



④父親の希望の職場復帰時期〈数量回答〉

- 子どもが「1 か月～6 か月」が 72.9%と最も多く、次いで「1 年 1 か月～1 年 6 か月」が 9.3%、となっています。



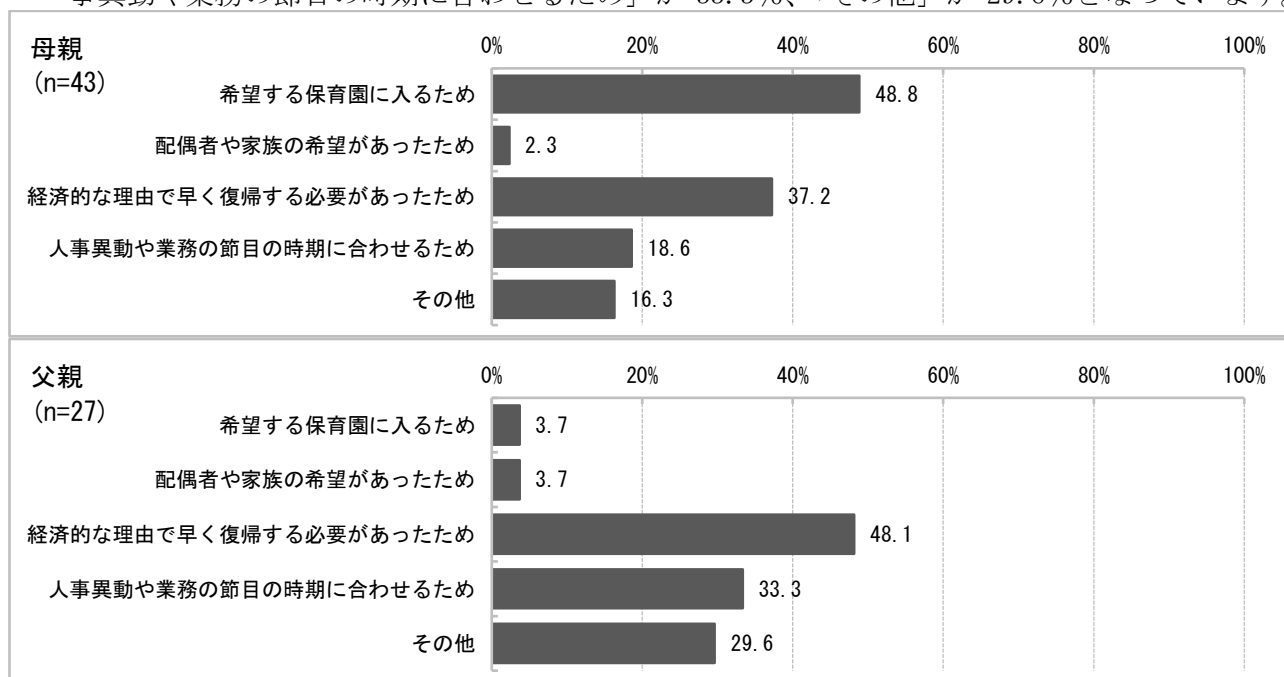
（５）希望の時期に職場復帰しなかった理由

問 53 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 54 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

①希望より早く復帰した理由〈複数回答〉

- 母親では、「希望する保育園に入るため」が 48.8%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 37.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 18.6%となっています。
- 父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 48.1%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 33.3%、「その他」が 29.6%となっています。

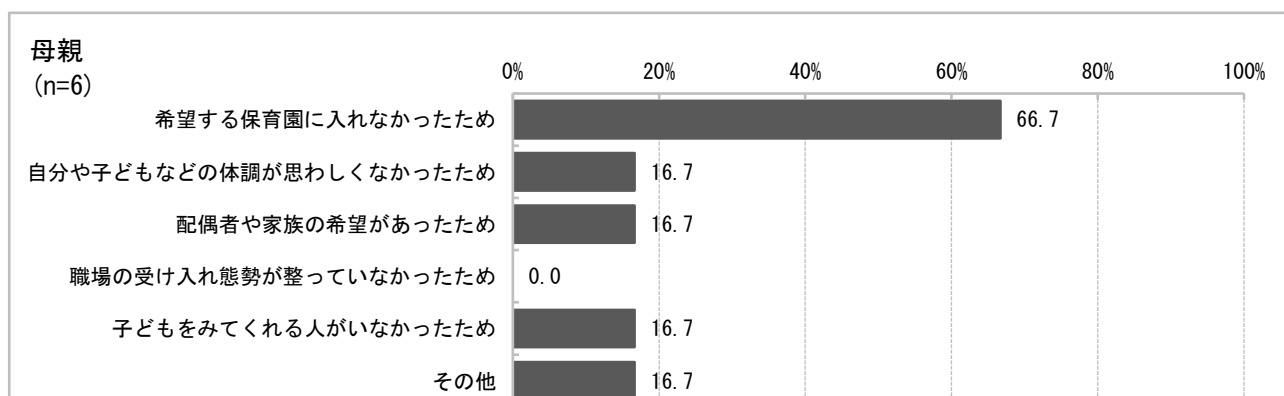


【その他の主な内容】

- ・職場から復帰要請があったため
- ・キャリア面で不安があったため

②希望より遅く復帰した理由〈複数回答〉

- 母親では、「希望する保育園に入るため」が 66.7%と最も多く、その他「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「配偶者や家族の希望があったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」がいずれも 16.7%となっています。
- （※父親については回答なし）

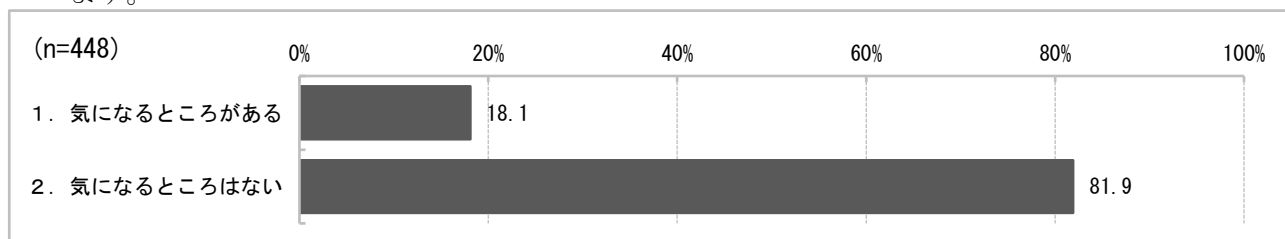


12. 子どもの気になるところについて【問 55～問 57】

（１）子どもの気になるところの有無〈単数回答・自由記述〉

問 55 お子さんについて、「気になるところ」がありますか。

- 「気になるところがある」が 18.1%、「気になるところはない」が 81.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「気になるところがある」が 5.5 ポイント（前回調査：23.6%）前回より少なく、反対に、「気になるところはない」が 9.8 ポイント（前回調査：72.1%）多くなっています。

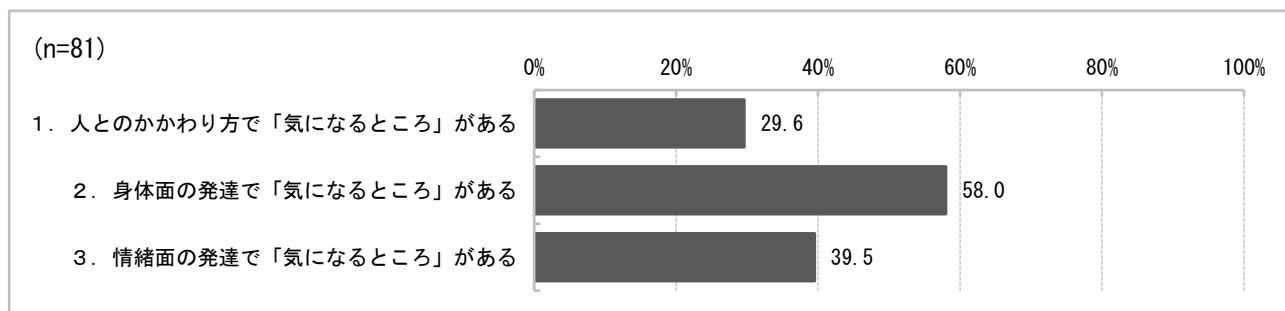


（２）子どもの気になるところ〈複数回答・自由記述〉

問 55 で「1. 気になるところがある」に○を付けた方にうかがいます。

問 56 お子さんについて、下記のようなところが気になりますか。

- 「身体面の発達で『気になるところ』がある」が 58.0%と最も多く、次いで「情緒面の発達で『気になるところ』がある」が 39.5%、「人とのかかわり方で『気になるところ』がある」が 29.6%となっています。



(3) 施設・機関などの認知・利用状況と今後の利用意向

問 55 で「1. 気になるところがある」に○を付けた方にうかがいます。

問 57 ①から⑤について相談・利用できることを知っているものや、これまでに相談・利用したことがあるもの、今後相談・利用したいと思うものをお答えください。

①認知状況〈単数回答〉

- “知っている”に「はい」と回答された方をみると、「③行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 77.8%と最も多く、次いで「①医療機関」が 72.8%、「②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が 55.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が 6.4 ポイント(前回調査: 66.4%)、「②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が 4.8 ポイント(前回調査: 73.0%)、「③行政機関(子育て支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 9.4 ポイント(前回調査: 68.4%)、「④民間の療育施設など」が 27.0 ポイント(前回調査: 22.4%) 前回調査より多くなっています。

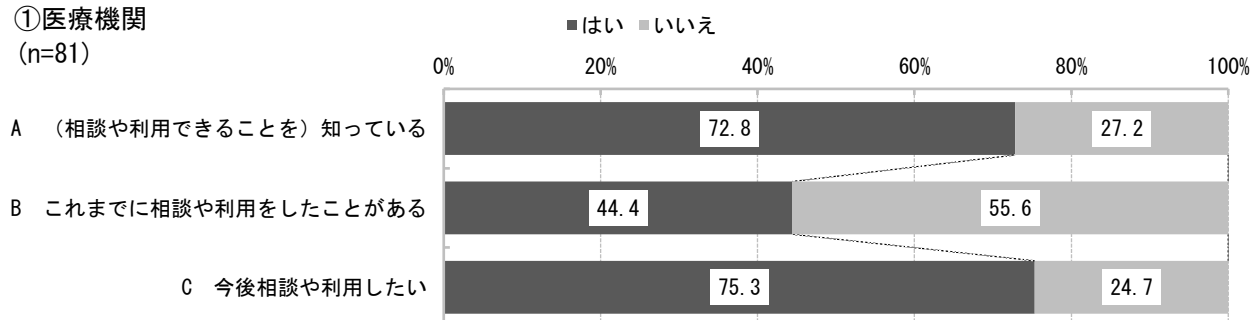
②現在の相談・利用状況〈単数回答〉

- “これまでに相談や利用をしたことがある”に「はい」と回答された方をみると、「⑤その他」が 72.7%と最も多く、次いで「①医療機関」が 44.4%と最も多く、次いで「③行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 38.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が 7.6 ポイント(前回調査: 36.8%)、「③行政機関(子育て支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 3.4 ポイント(前回調査: 34.9%)、「④民間の療育施設など」が 8.9 ポイント(前回調査: 5.9%) 多く、反対に「②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が 21.1 ポイント(前回調査: 52.0%) 前回調査より少なくなっています。

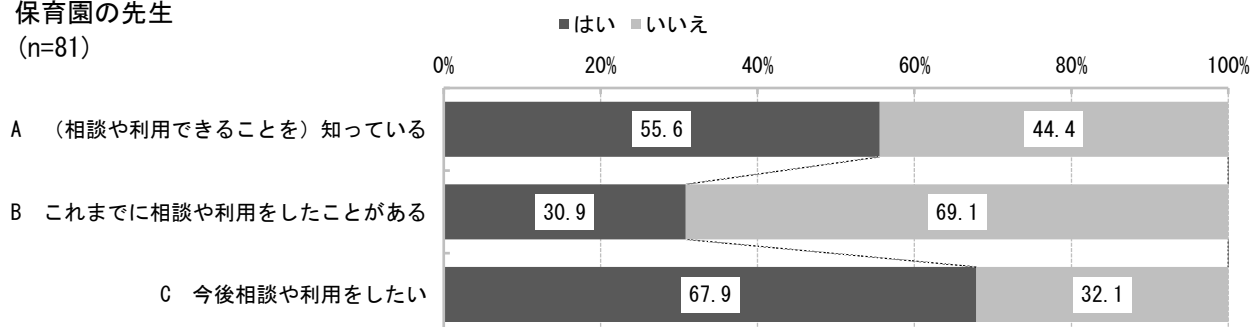
③今後の相談・利用意向〈単数回答〉

- “今後相談や利用をしたい”に「はい」と回答された方をみると、「⑤その他」が 93.9%と最も多く、次いで「①医療機関」が 75.3%、「②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」と「③行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」がともに 67.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が 24.6 ポイント(前回調査: 50.7%)、「②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が 10.7 ポイント(前回調査: 57.2%)、「③行政機関(子育て支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 19.9 ポイント(前回調査: 48.0%)、「④民間の療育施設など」が 29.8 ポイント(前回調査: 17.1%) 多くなっています。

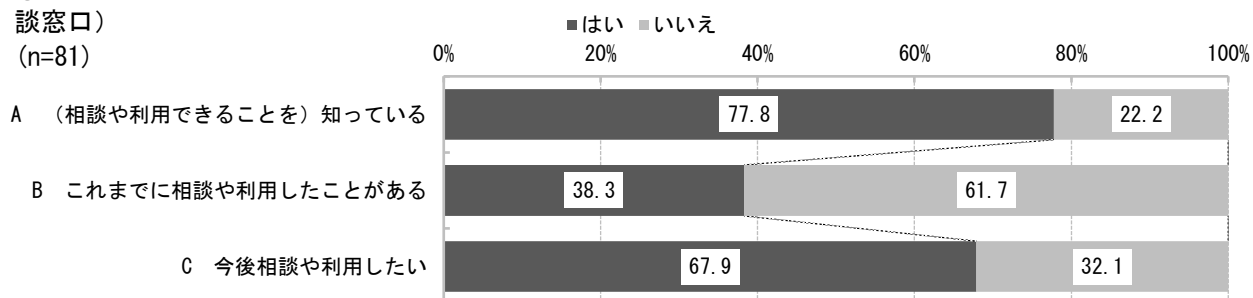
①医療機関
(n=81)



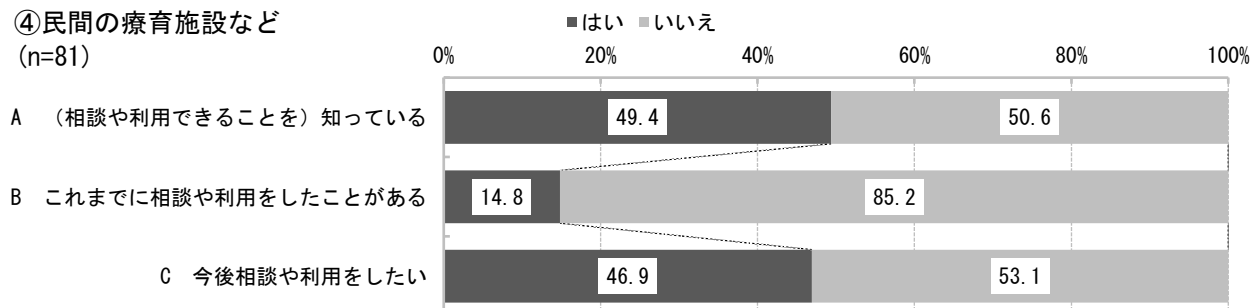
②保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外
保育園の先生
(n=81)



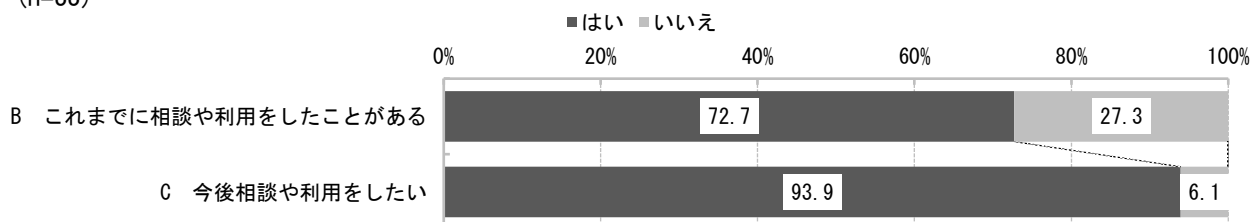
③行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相
談窓口)
(n=81)



④民間の療育施設など
(n=81)



⑤その他(※認知している前提の設問のため、「A 知っている」の項目は排除)
(n=33)

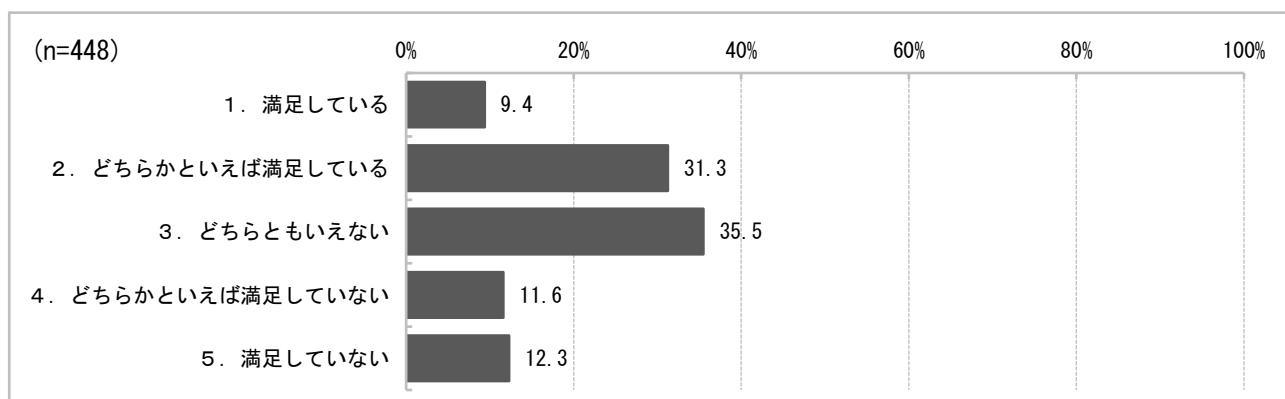


13. 子育て支援施策の全般について【問 58～問 60】

(1) 子育て環境や支援の満足度〈単数回答〉

問 58 あなたは、お住まいの地域における子育ての環境や支援について、満足していますか。

- 「どちらともいえない」が 35.5%と最も多くなっています。また、「満足している」(9.4%)と「どちらかといえば満足している」(31.3%)を合わせた“満足”が 40.7%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば満足していない」(11.6%)と「満足していない」(12.3%)を合わせた“不満”が 23.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”が 2.4 ポイント(前回調査：38.3%)、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせた“不満”が 0.9 ポイント(前回調査：23.0%) 前回より多くなっています。

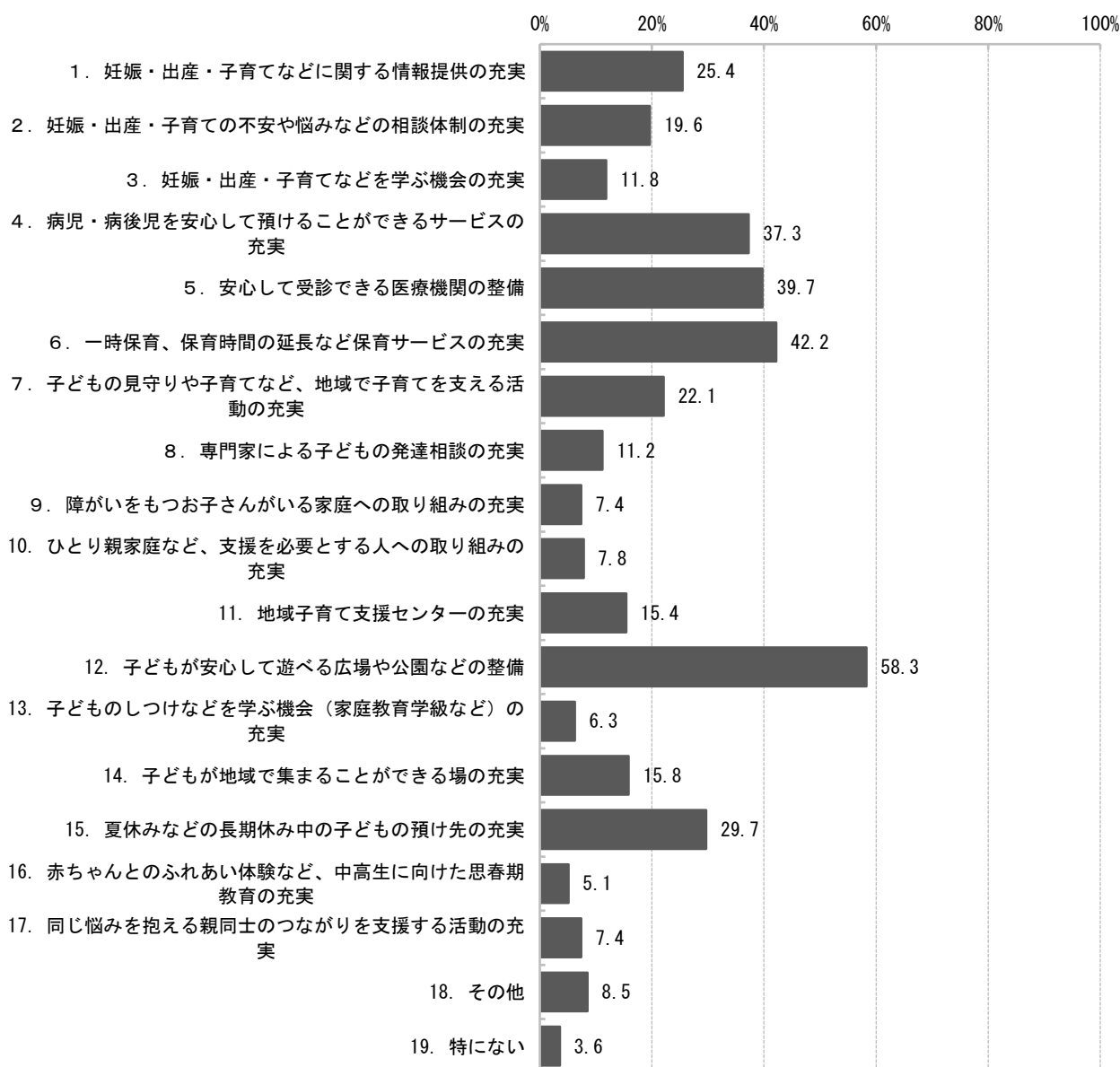


(2) 子育て支援施策に取り組んでいくために重要なこと〈複数回答／最大5つまで〉

問 59 今後、市として子育て支援施策に取り組んでいくために重要なことは何だと思いますか。

- 「子どもが安心して遊べる広場や公園などの整備」が 58.3%と最も多く、次いで「一時保育、保育時間の延長など保育サービスの充実」が 42.2%、「安心して受診できる医療機関の整備」が 39.7%、「病児・病後児を安心して預けることができるサービスの充実」が 37.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「1. 妊娠・出産・子育てなどに関する情報提供の充実」が 6.5 ポイント（前回調査：18.9%）、「5. 安心して受診できる医療機関の整備」が 9.2 ポイント（前回調査：30.5%）前回より多く、反対に、「12. 子どもが安心して遊べる広場や公園などの整備」が 8.7 ポイント（前回調査：67.0%）、「15. 夏休みなどの長期休み中の子どもの預け先の充実」が 12.6 ポイント（前回調査：42.3%）前回調査より少なくなっています。

(n=448)

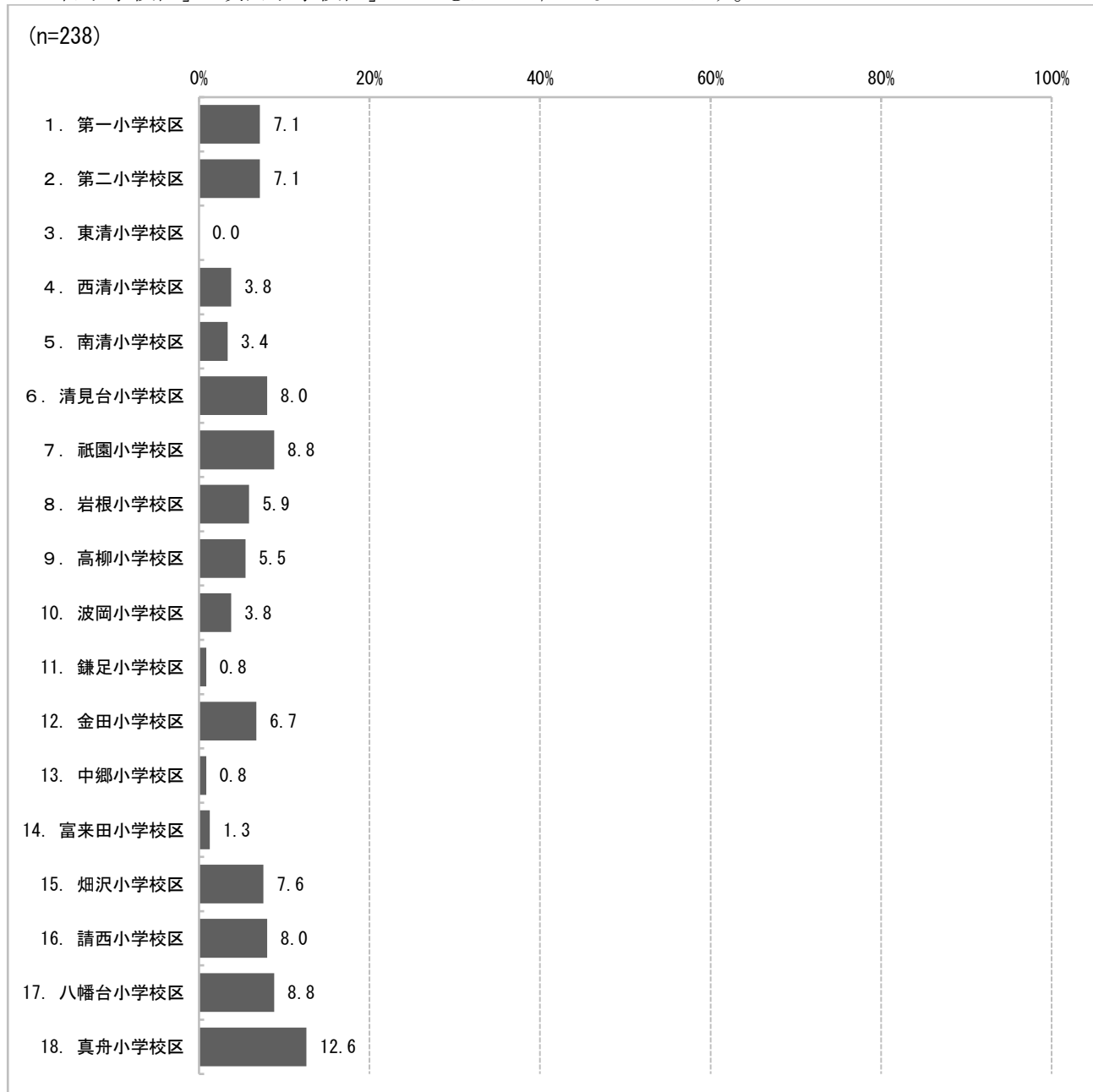


第Ⅳ章 小学生・保護者調査結果（詳細）

1. 住まいの地区について【問1】

問1 お子さんがお住まいの地区の番号に○を付けてください。（○は1つ）

- 「真舟小学校区」が12.6%、「祇園小学校区」と「八幡台小学校区」とがともに8.8%、「清見台小学校区」「鎮西小学校区」がともに8.0%となっています。

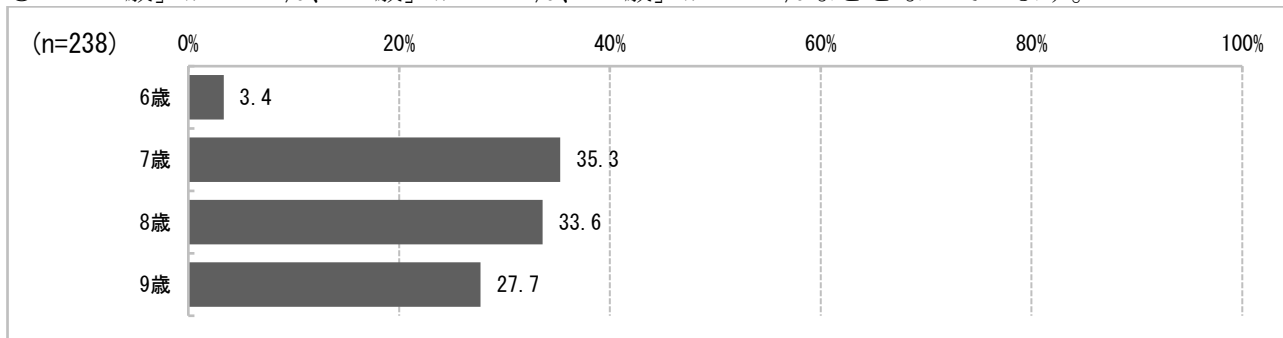


2. 子どもと家族の状況について【問2～問5】

(1) 対象の子どもの年齢〈単数回答〉

問2 回答時点のあて名のお子さんの年齢を選択してください。

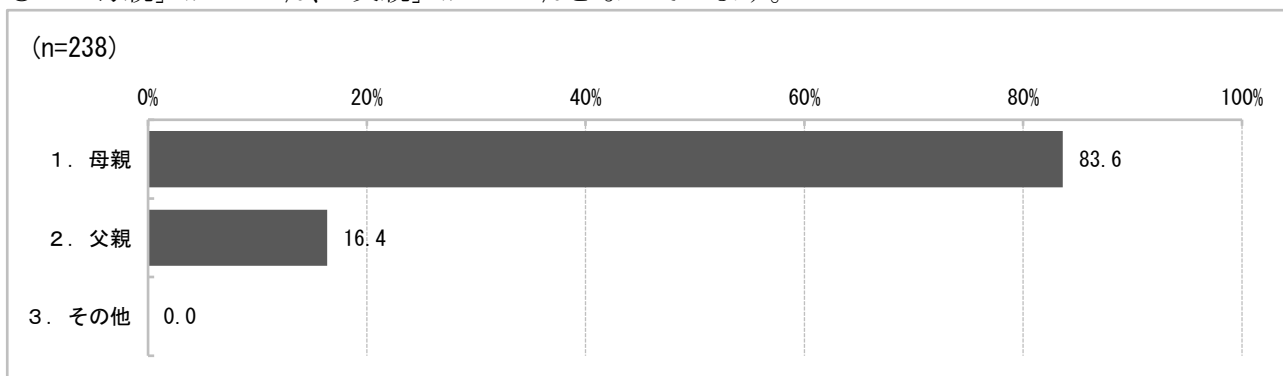
○ 「7歳」が35.3%、「8歳」が33.6%、「9歳」が27.7%などとなっています。



(2) 調査票の回答者〈単数回答〉

問3 この調査票にご回答をいただいている方はどなたですか。

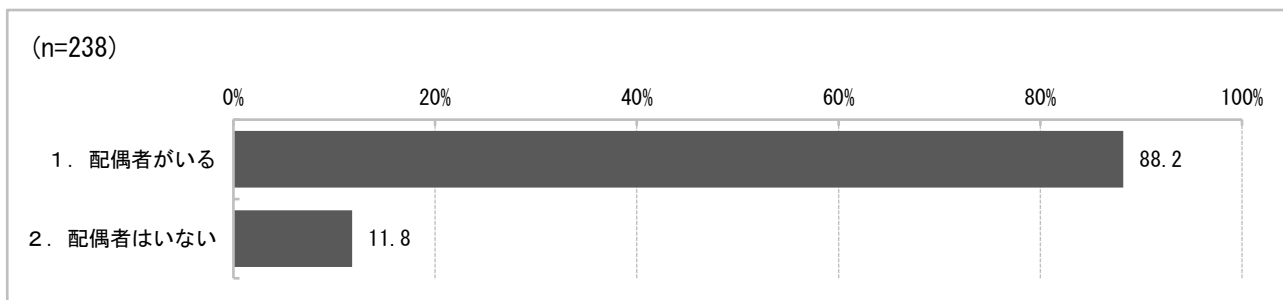
○ 「母親」が83.6%、「父親」が16.4%となっています。



(3) 配偶者の有無〈単数回答〉

問4 調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無について、あてはまる番号に○を付けてください。

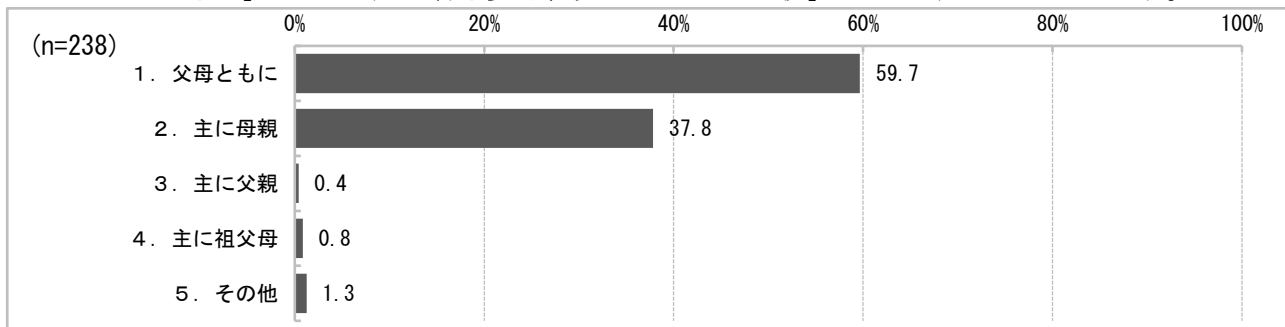
○ 「配偶者がいる」が88.2%、「配偶者はいない」が11.8%となっています。



(4) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉

問5 お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。

○ 「父母ともに」が59.7%と最も多く、次いで「主に母親」が37.8%となっています。

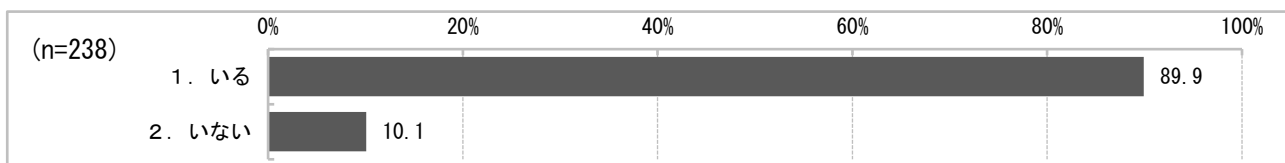


3. 子育てを支える環境について【問6～問9】

(1) 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無〈単数回答〉

問6 あなたがお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。

○ 「いる」が88.9%、「いない」が10.1%となっています。

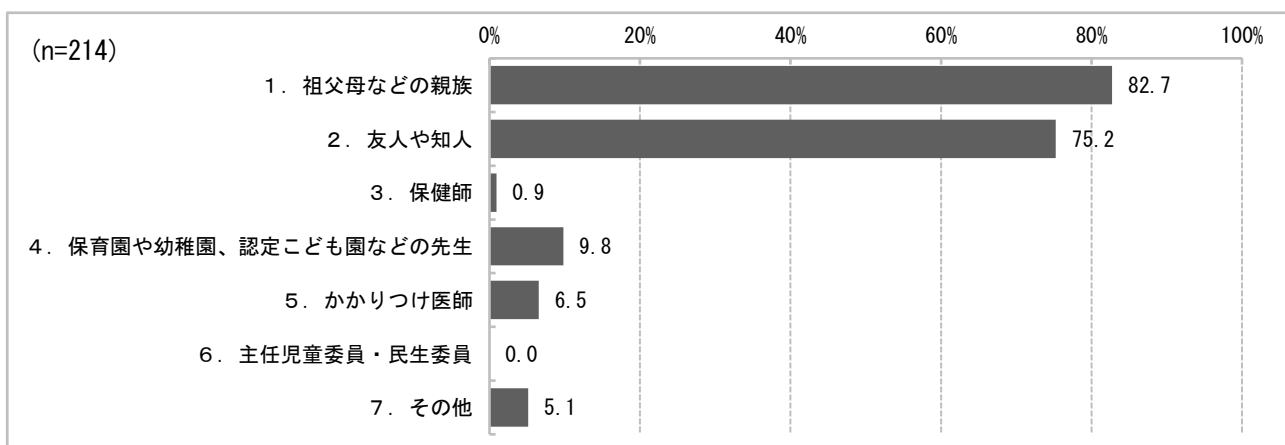


(2) 子育てに関する相談相手〈単数回答〉

問6で「1. いる」に○を付けた方にうかがいます。

問7 子育てに関して、気軽に相談できる人は、誰ですか。

○ 「祖父母などの親族」が82.7%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.2%となっています。



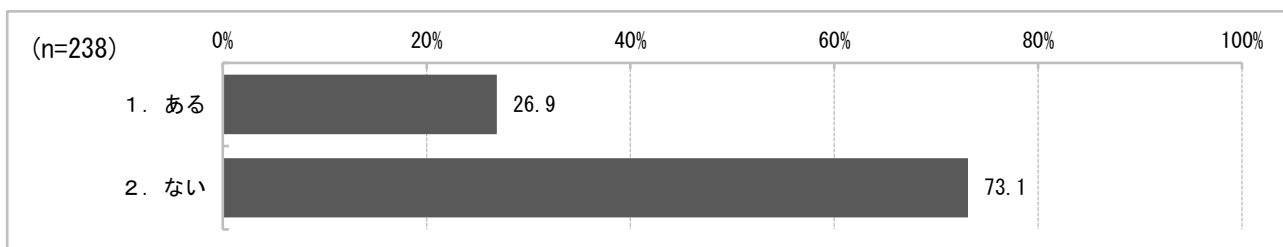
【その他の主な内容】

- ・夫、妻
- ・職場の同僚
- ・学校の先生
- ・相談員

(3) 子育てをする上での相談場所の有無〈単数回答〉

問8 あなたがお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる場所がありますか。

○ 「ある」が26.9%、「ない」が73.1%となっています。

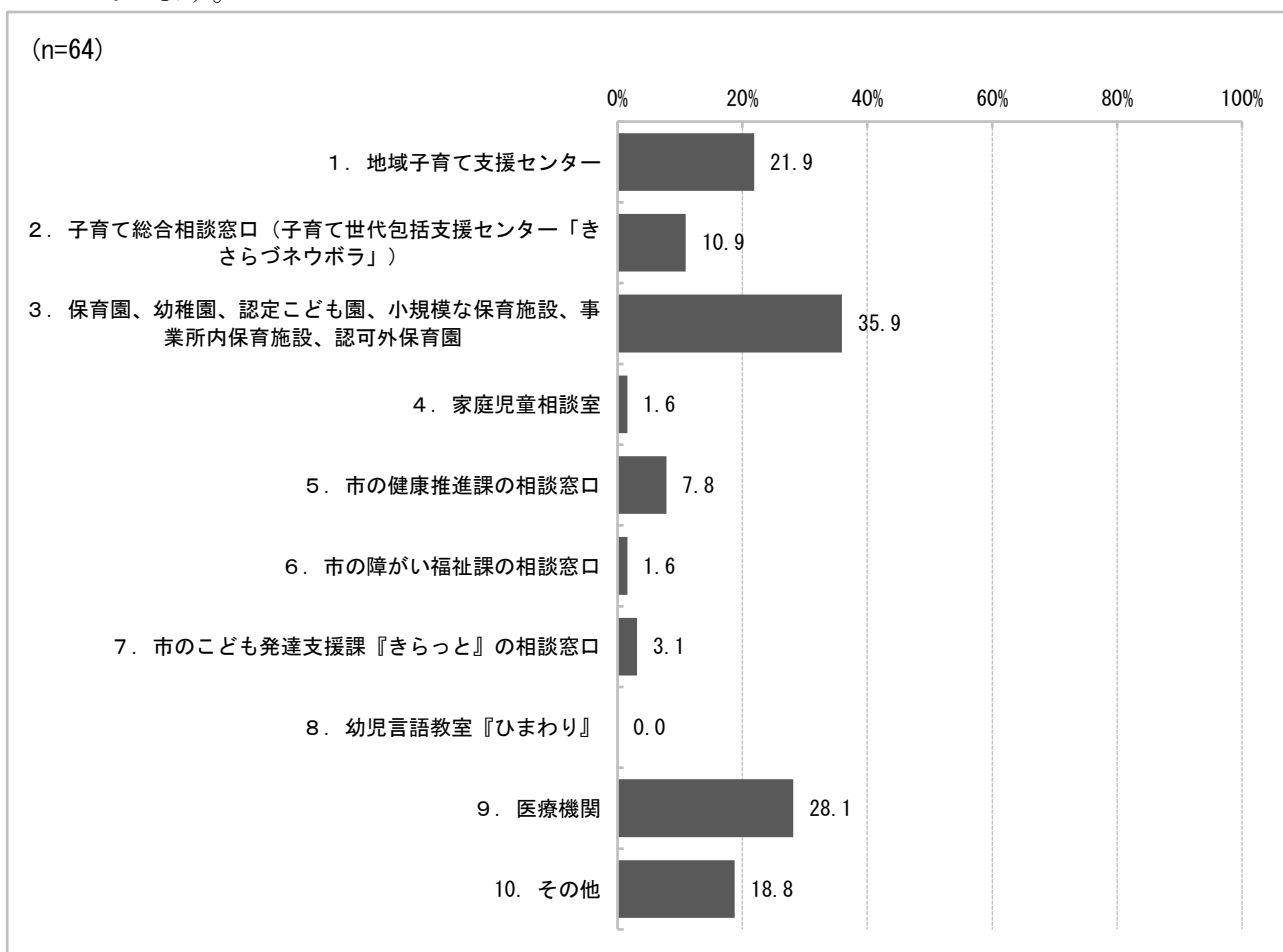


(4) 子育てに関する相談場所〈単数回答〉

問8で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます。

問9 子育てに関して、気軽に相談できる場所は、どこですか。

○ 「保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園」が35.9%と最も多く、次いで「医療機関」が28.1%、「地域子育て支援センター」が21.9%となっています。



【その他の主な内容】

- ・ 公民館のサークル
- ・ 会社
- ・ スクールカウンセラー
- ・ 放課後等デイサービス

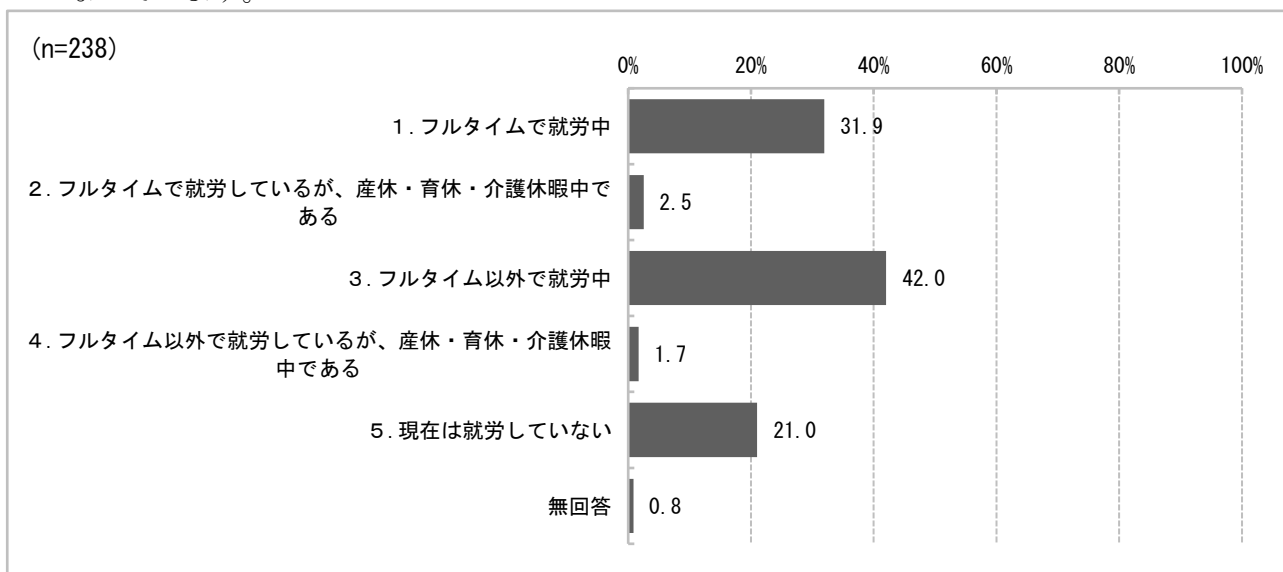
4. 保護者の就労状況について【問 10～問 14】

(1) 保護者の就労状況

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、あてはまる番号に○を付けてください。

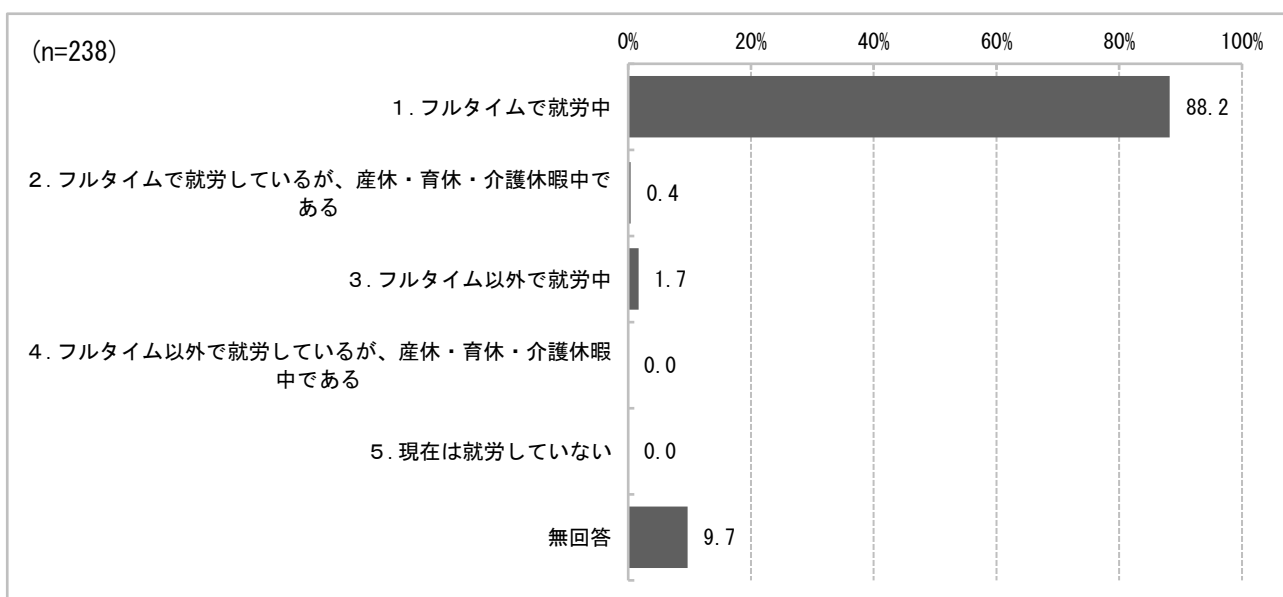
①母親の就労状況〈単数回答〉

- 「フルタイム以外で就労中」が 42.0%と最も多く、次いで「フルタイムで就労中」が 31.9%、「現在は就労していない」が 21.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「現在は就労していない」が 7.8 ポイント（前回調査：28.8%）前回より少なく、反対に「フルタイムで就労中」が 6.7 ポイント（前回調査：25.2%）前回より多くなっています。



②父親の就労状況〈単数回答〉

- 「フルタイムで就労中」が 88.2%と最も多く、次いで「フルタイム以外で就労中」が 1.7%となっています。



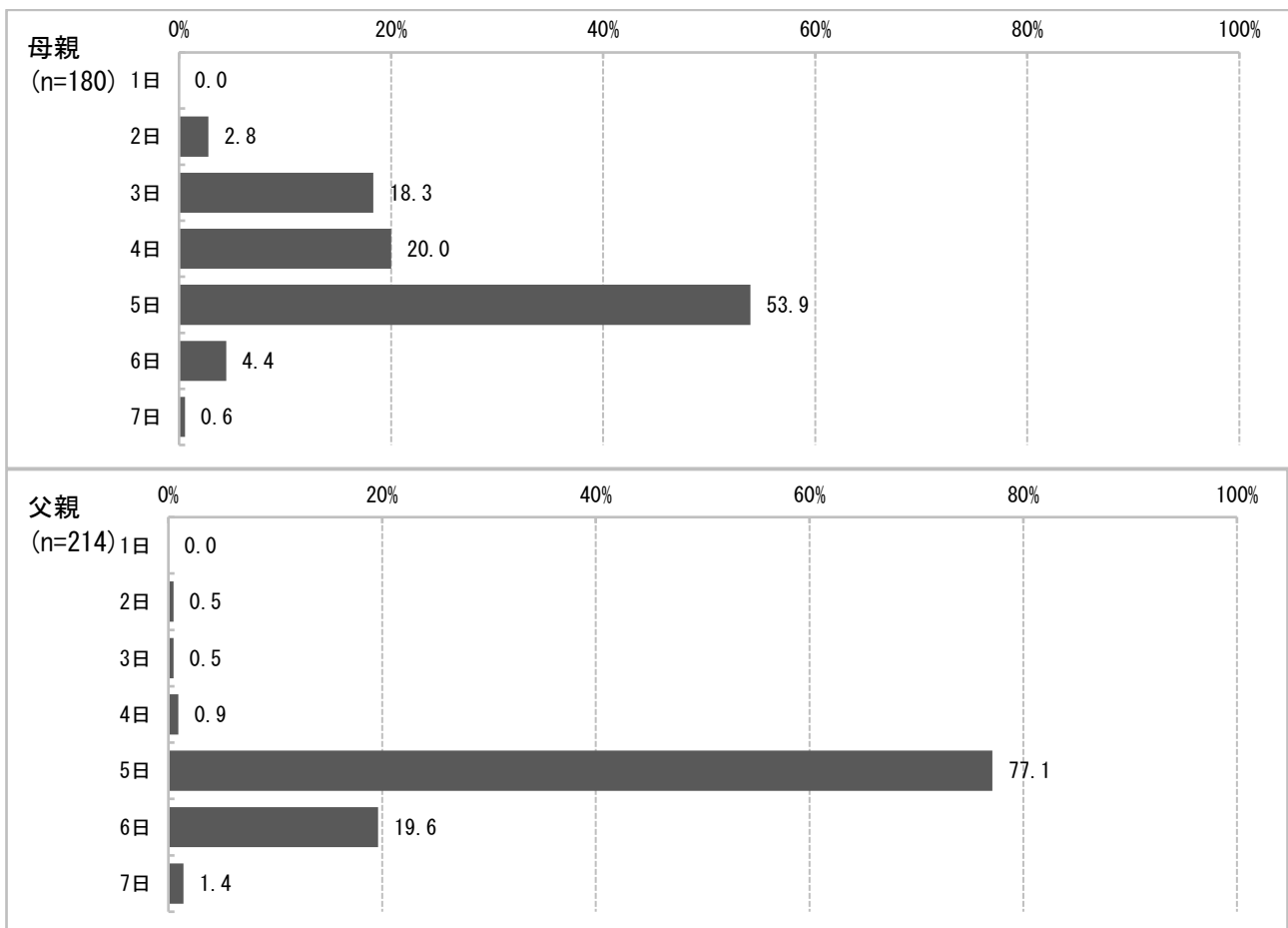
(2) 保護者の就労日数・就労時間

問 10 の母親・父親のどちらかで、「1」から「4」のいずれかに○を付けた方（就労している方）にうかがいます。

問 11 「就労日数」や「就労時間」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、もっとも多いパターンでお答えください。

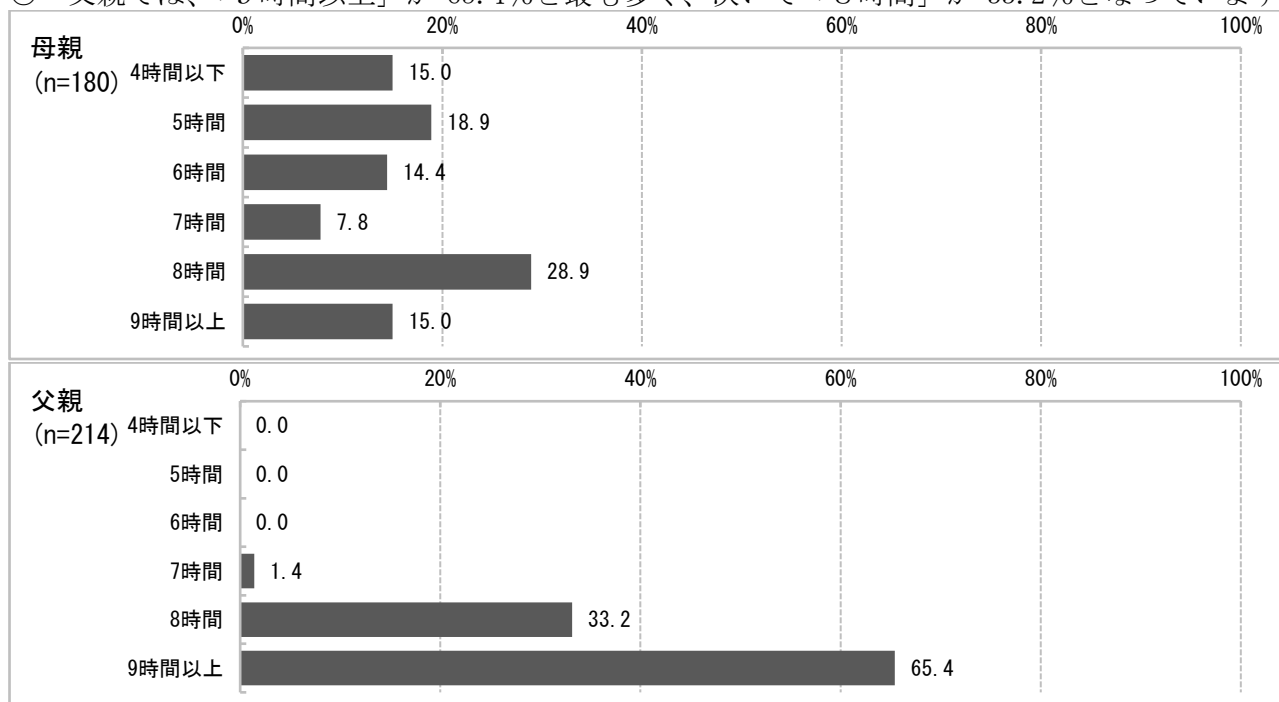
① 1 週あたりの就労日数〈数量回答〉

- 母親では、「5 日」が 53.9%と最も多く、次いで「4 日」が 20.0%、「3 日」が 18.3%となっています。
- 父親では、「5 日」が 77.1%と最も多く、次いで「6 日」が 19.6%となっています。



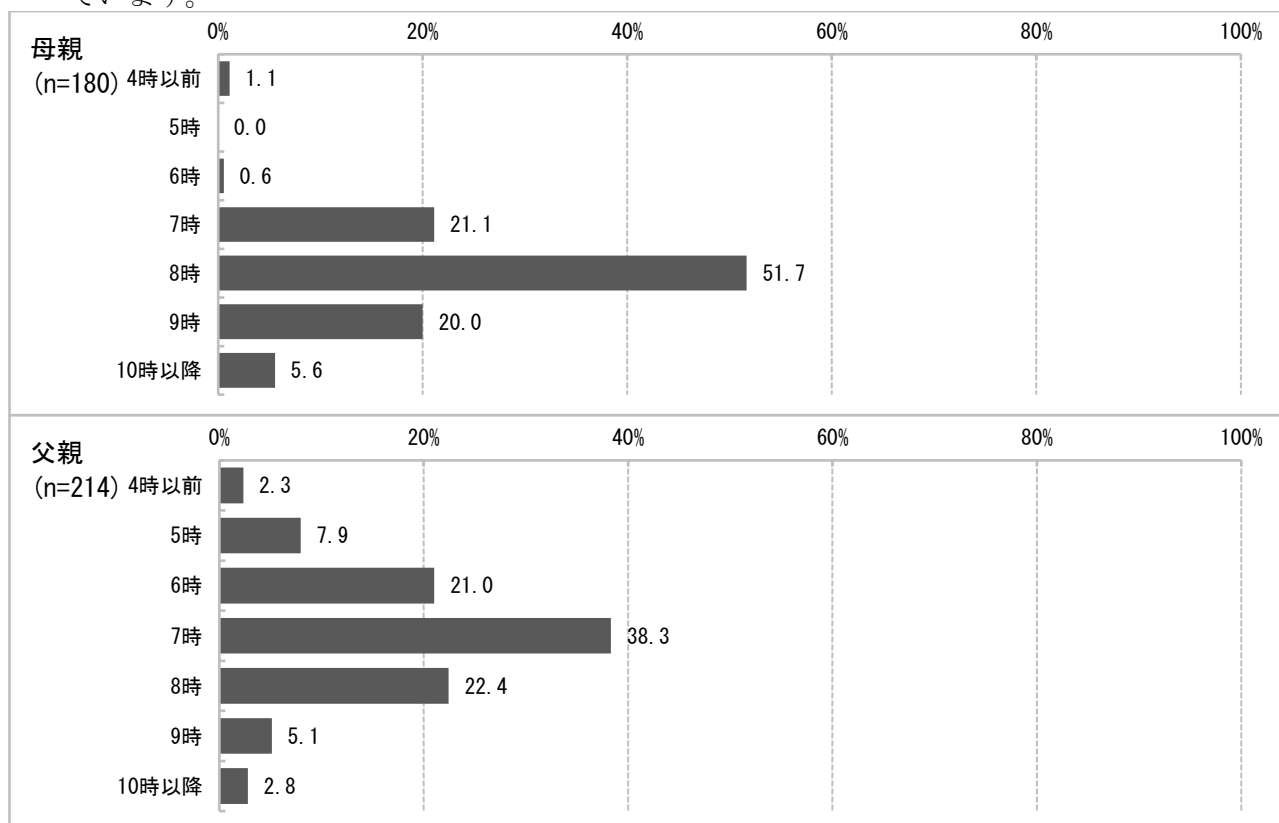
② 1日あたりの就労時間〈数量回答〉

- 母親では、「8時間」が28.9%と最も多く、次いで「5時間」が18.9%、「4時間以下」と「9時間以上」がともに15.0%となっています。
- 父親では、「9時間以上」が65.4%と最も多く、次いで「8時間」が33.2%となっています。



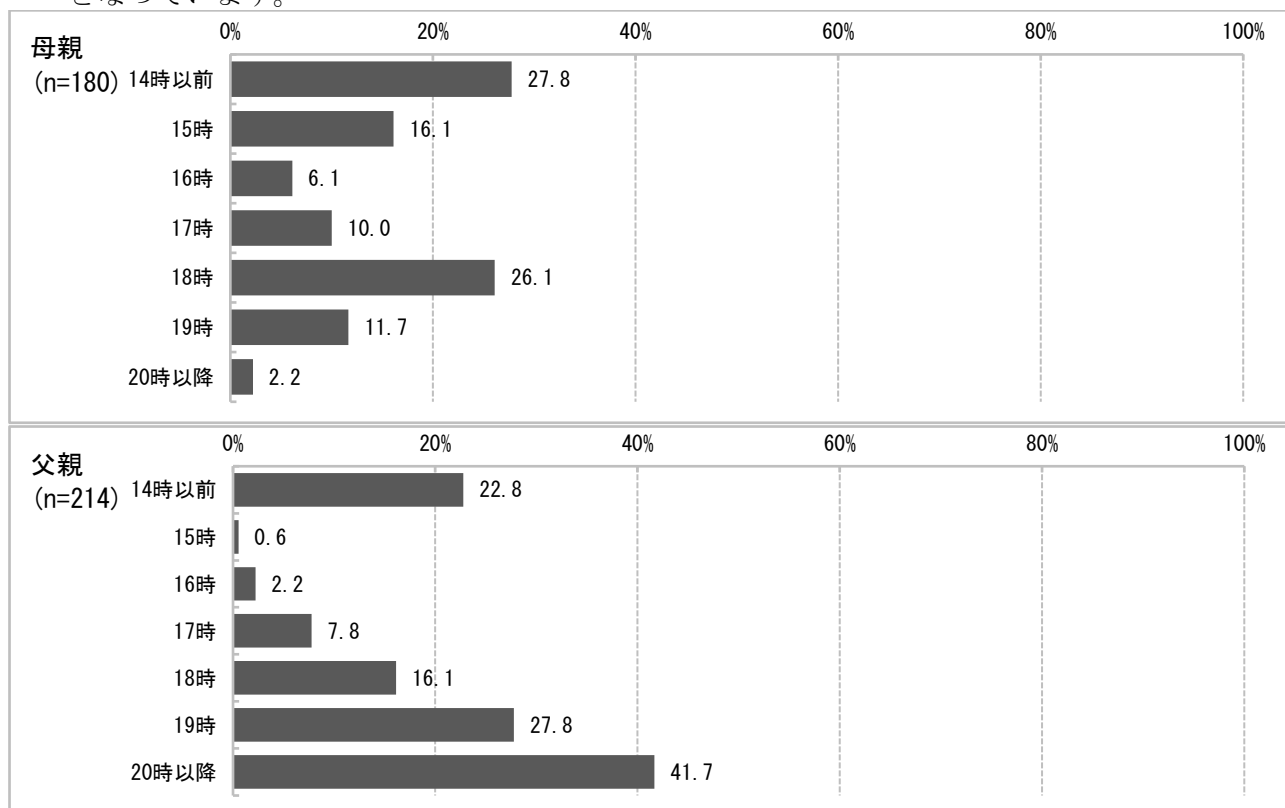
③ 出勤時刻〈数量回答〉

- 母親では、「8時」が51.7%と最も多く、次いで「7時」が21.1%、「9時」が20.0%となっています。
- 父親では、「7時」が38.3%と最も多く、次いで「8時」が22.4%、「6時」が21.0%となっています。



④帰宅時刻〈数量回答〉

- 母親では、「14 時以前」が 27.8%と最も多く、次いで「18 時」が 26.1%、「15 時」が 16.1%となっています。
- 父親では、「20 時以降」が 41.7%と最も多く、次いで「19 時」が 27.8%、「18 時」が 16.1%となっています。

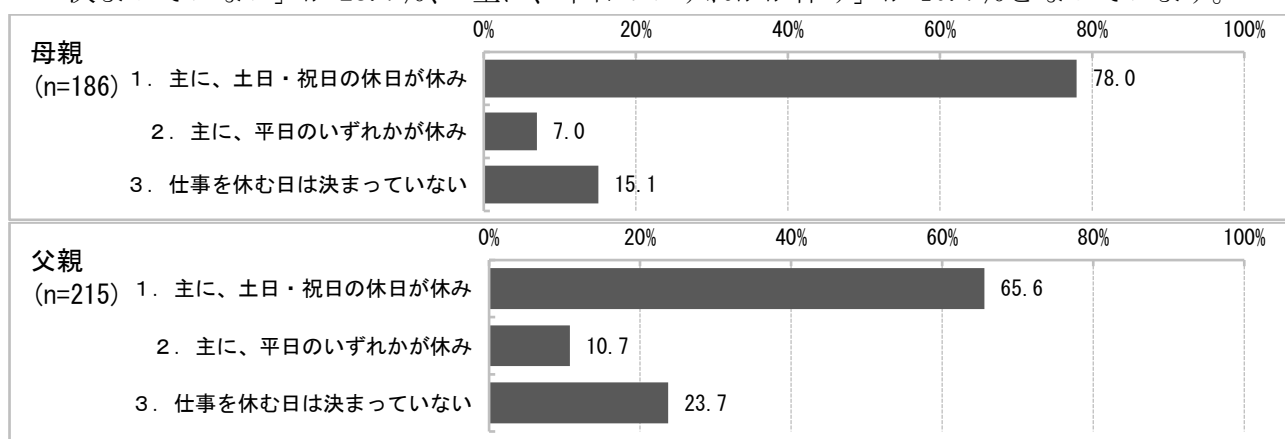


(3) 就労している方の休日の状況

問 10 の母親・父親のどちらかで、「1」から「4」のいずれかに○を付けた方（就労している方）にうかがいます。

問 12 「就労の休みの日」について、もっとも多いパターンはどれですか。

- 母親では、「主に、土日・祝日の休日が休み」が 78.0%と最も多く、次いで「仕事を休む日は決まっていない」が 15.1%、「主に、平日のいずれかが休み」が 7.0%となっています。
- 父親では、「主に、土日・祝日の休日が休み」が 65.6%と最も多く、次いで「仕事を休む日は決まっていない」が 23.7%、「主に、平日のいずれかが休み」が 10.7%となっています。

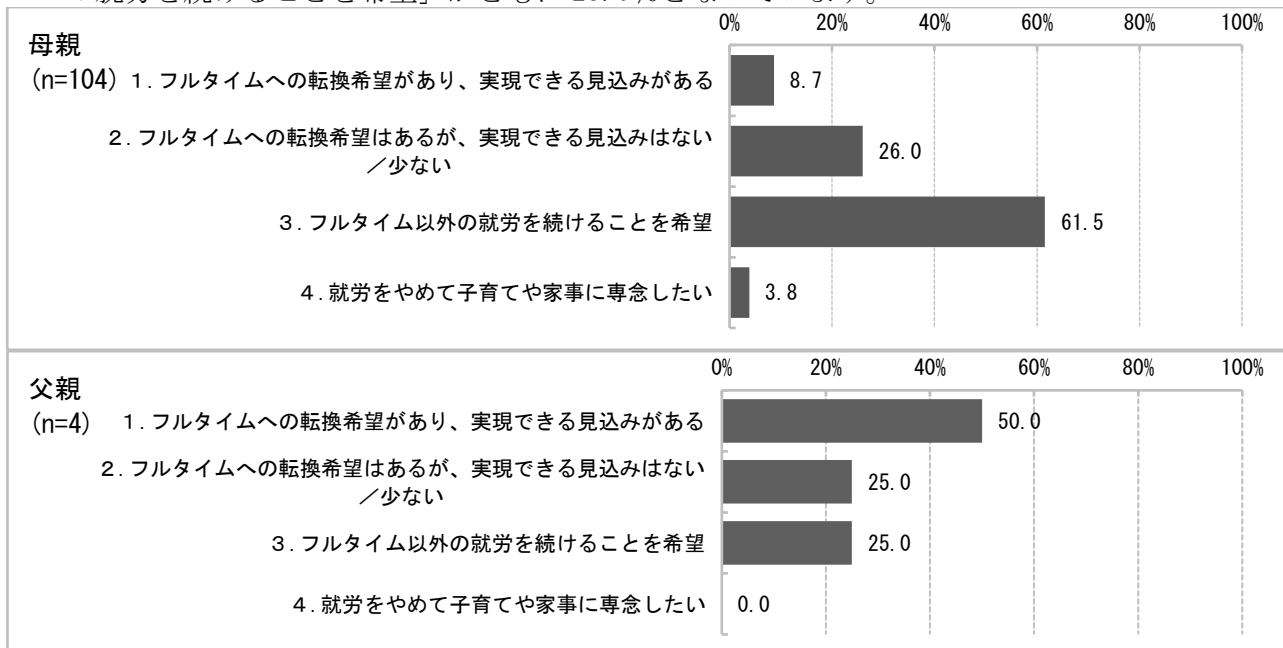


(4) パート・アルバイトなどで就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

問 10 の母親・父親のどちらかで、「3」または「4」のいずれかに○を付けた方（フルタイム以外で就労している方）にうかがいます。

問 13 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。

- 母親では、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 61.5%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が 26.0%となっています。
- 父親では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 50.0%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」と「フルタイム以外の就労を続けることを希望」がともに 25.0%となっています。



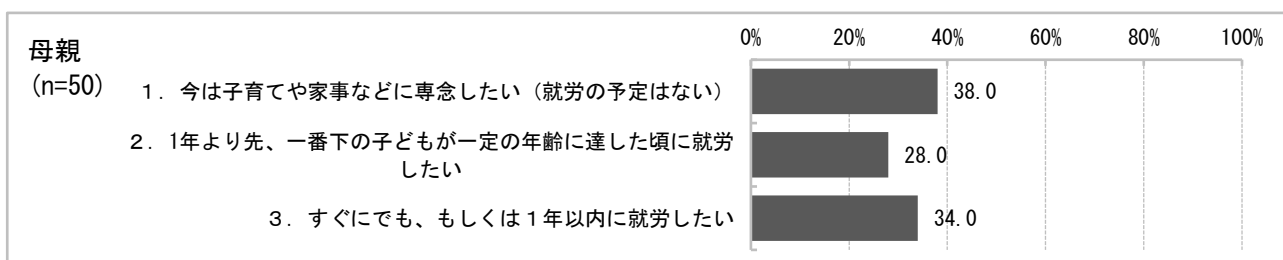
(5) 就労していない方の就労希望

問 10 の母親・父親のどちらかで、「5」に○を付けた方（就労していない方）にうかがいます。

問 14 就労したいという希望はありますか。

①母親の就労希望〈単数回答〉

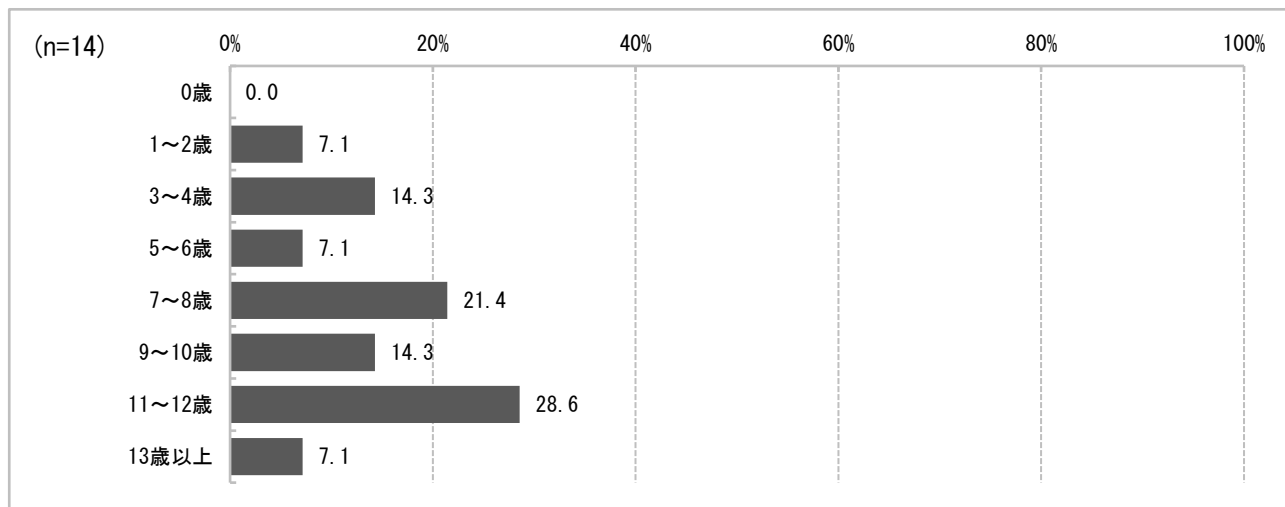
- 「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 38.0%と最も多く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 34.0%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が 28.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 0.9 ポイント（前回調査：37.1%）、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が 1.4 ポイント（前回調査：26.6%）、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 7.3 ポイント（前回調査：26.7%）前回より多くなっています。



②母親の希望する就労タイミング

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」を選んだ方／数量回答〉

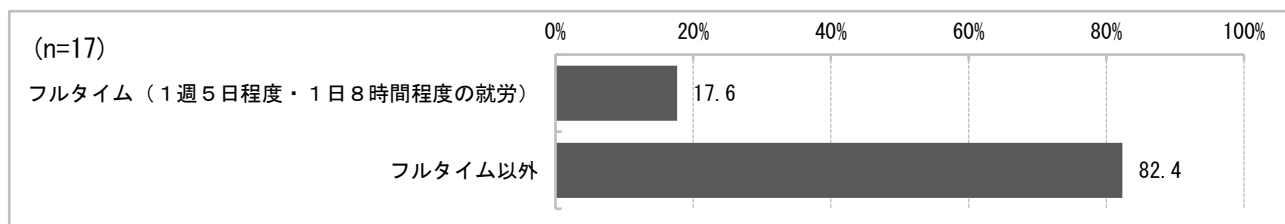
○ 「11～12歳」が28.6%と最も多く、次いで「7～8歳」が21.4%となっています。



③母親の希望する就労形態

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方／単数回答〉

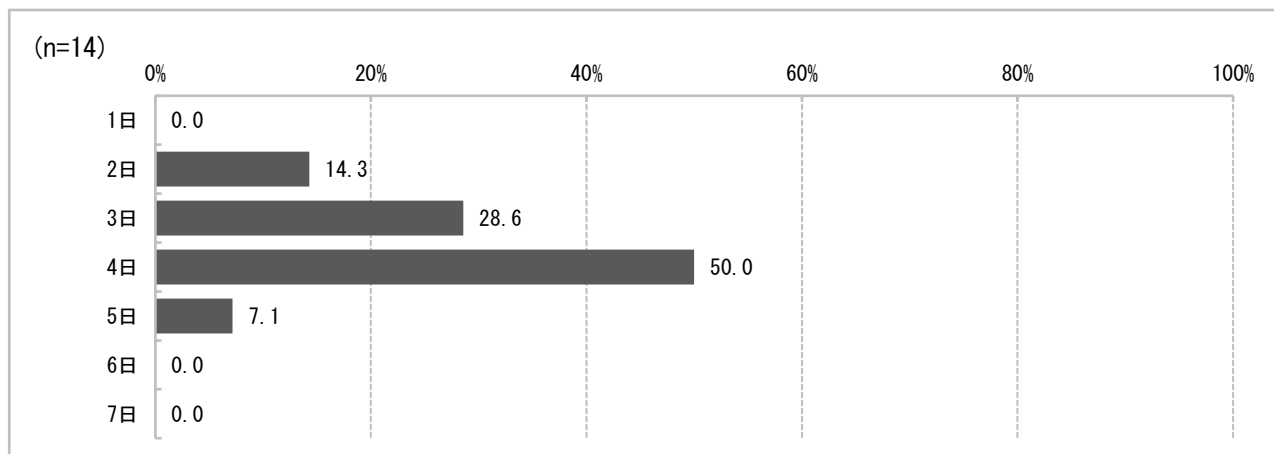
○ 「フルタイム以外」が82.4%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が17.6%となっています。



④母親の「フルタイム以外」での1週あたり希望就労日数

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

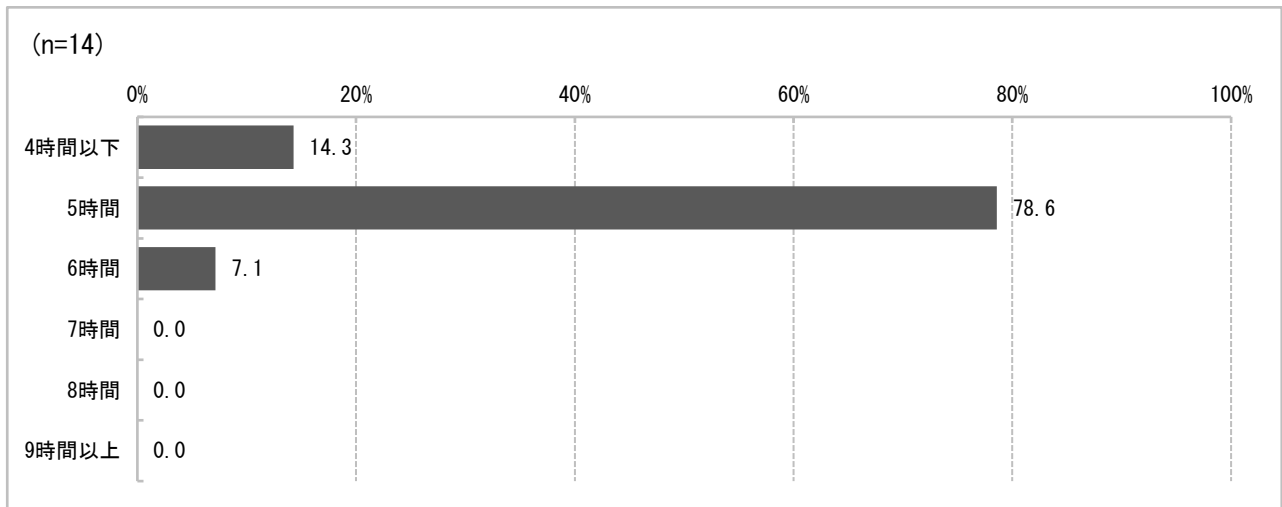
○ 「4日」が50.0%と最も多く、次いで「3日」が28.6%、「2日」が14.3%となっています。



⑤母親の「フルタイム以外」での1日あたり希望就労時間

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

- 「5時間」が78.6%と最も多く、次いで「4時間以下」が14.3%「6時間」が7.1%となっています。



⑥父親の就労希望〈単数回答〉

- (※回答なし)

⑦父親の希望する就労タイミング

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」を選んだ方／数量回答〉

- (※回答なし)

⑧父親の希望する就労形態

〈「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方／単数回答〉

- (※回答なし)

⑨父親の「フルタイム以外」での1週あたり希望就労日数

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

- (※回答なし)

⑩父親の「フルタイム以外」での1日あたり希望就労時間

〈「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答〉

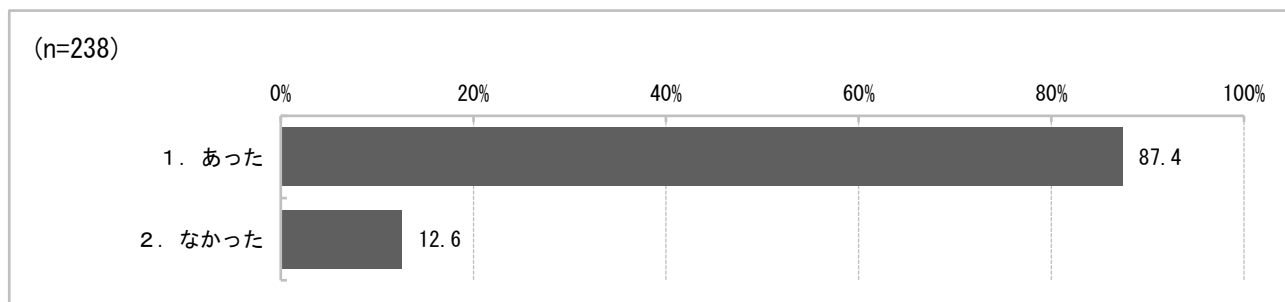
- (※回答なし)

5. 病気の際の対応について【問 15～問 20】

（１）子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無〈単数回答〉

問 15 この１年間でお子さんが病気やケガで学校を休んだことがありますか。

- 「あった」が 87.4%、「なかった」が 12.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「あった」が 30.3 ポイント（前回調査：57.1%）前回より多く、反対に、「なかった」が 29.5 ポイント（前回調査：42.1%）前回より少なくなっています。



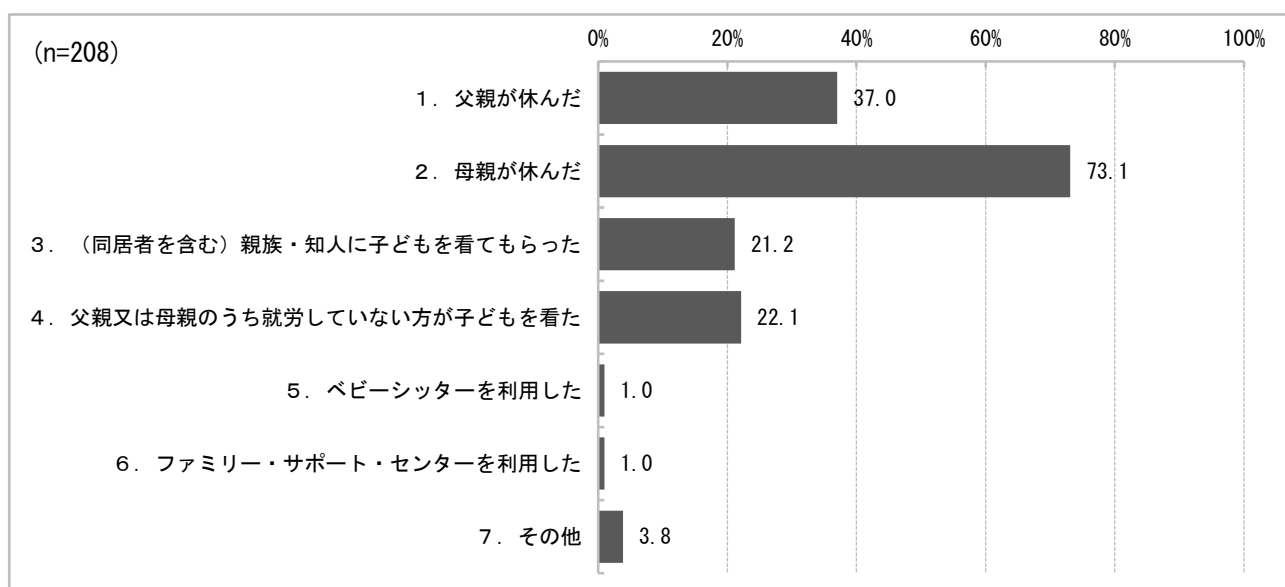
（２）学校を休んだ場合の対処方法

問 15 で「1. あった」に○を付けた方にうかがいます。

問 16 お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○を付け、それぞれの日数も記入してください。

①学校を休んだ場合の対処法〈複数回答〉

- 「母親が休んだ」が 73.1%と最も多く、次いで、「父親が休んだ」が 37.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が 22.1%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が 21.2%となっています。



【その他の主な内容】

- ・子どもに留守番させた

②子どもが病気やケガの際の対処日数〈数量回答〉

- 父親が休んだでは「1～2日」が51.9%、母親が休んだでは「3～5日」が38.8%と最も多く、他の項目でも5日以内が最も多くなっています。

	父親が休んだ n=77	母親が休んだ n=152	族・知人に子どもを看 てもらった (同居者を含む) 親 n=44	父親又は母親のうち就 労していない方が子ど もを見た n=46	ベビーシッターを利用 した n=2	サポート・センターを 利用した ファミリー・ n=2
1～2日	51.9	21.1	31.8	26.1	100.0	100.0
3～5日	31.2	38.8	40.9	32.6	0.0	0.0
6～9日	5.2	13.8	2.3	10.9	0.0	0.0
10～14日	6.5	15.1	11.4	8.7	0.0	0.0
15日以上	5.2	11.2	13.6	21.7	0.0	0.0

※グレー部分は最多項目

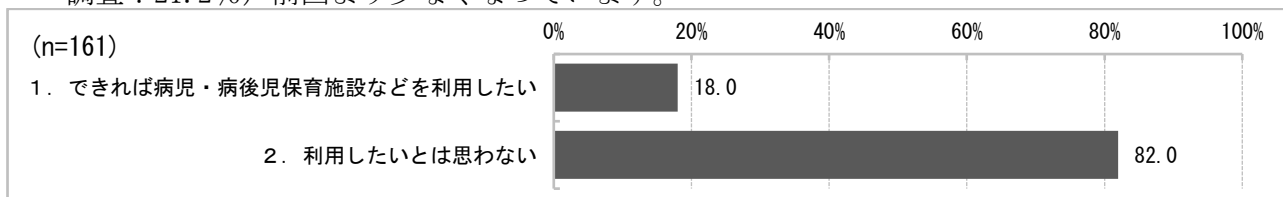
(3) 病児・病後児のための保育施設などの利用意向

問16で「1 父親が休んだ」または「2 母親が休んだ」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問17 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

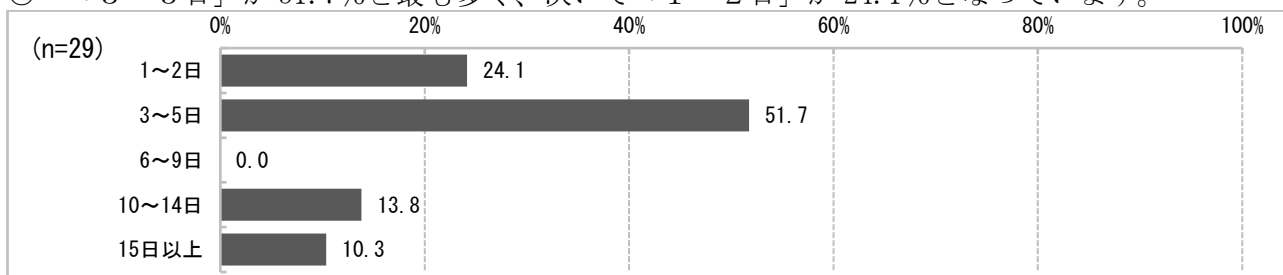
①病児・病後児のための保育施設などの利用意向〈単数回答〉

- 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が18.0%、「利用したいとは思わない」が82.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したいとは思わない」が7.4ポイント（前回調査：74.6%）前回より多く、反対に、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が3.2ポイント（前回調査：21.2%）前回より少なくなっています。



②利用希望日数〈「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「3～5日」が51.7%と最も多く、次いで「1～2日」が24.1%となっています。

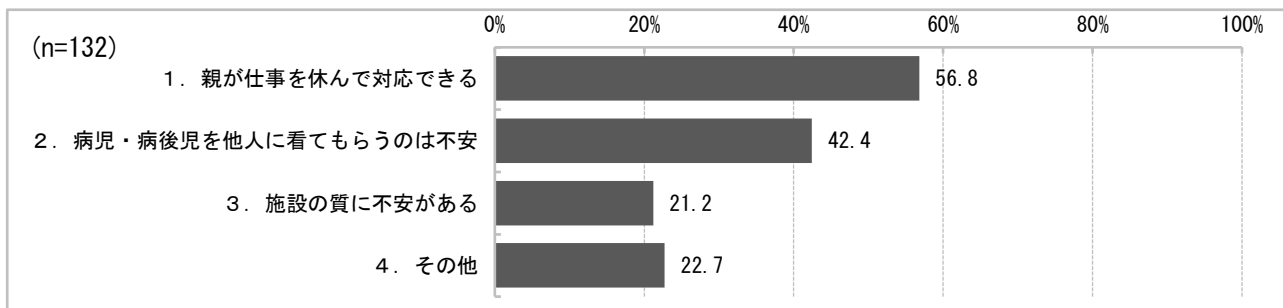


（４）病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由〈複数回答〉

問 17 で「２．利用したいと思わない」に○を付けた方にうかがいます。

問 18 そう思われる理由は何ですか。

- 「親が仕事を休んで対応できる」が 56.8%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 42.4%となっています。



【その他の主な内容】

- ・ 場所が遠いため
- ・ 子どものそばに居てあげたいため
- ・ 子どもが人見知りのため
- ・ お金がかかるため

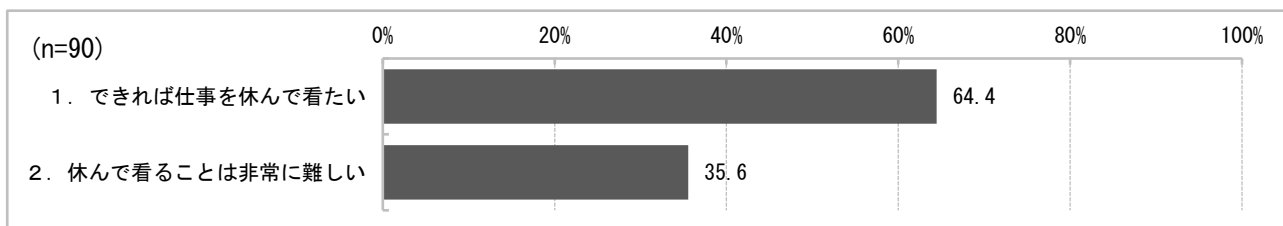
（５）仕事を休まなかった方の仕事を休んで子どもを看たい意向〈単数回答〉

問 16 で「３（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」から「８その他」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問 19 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

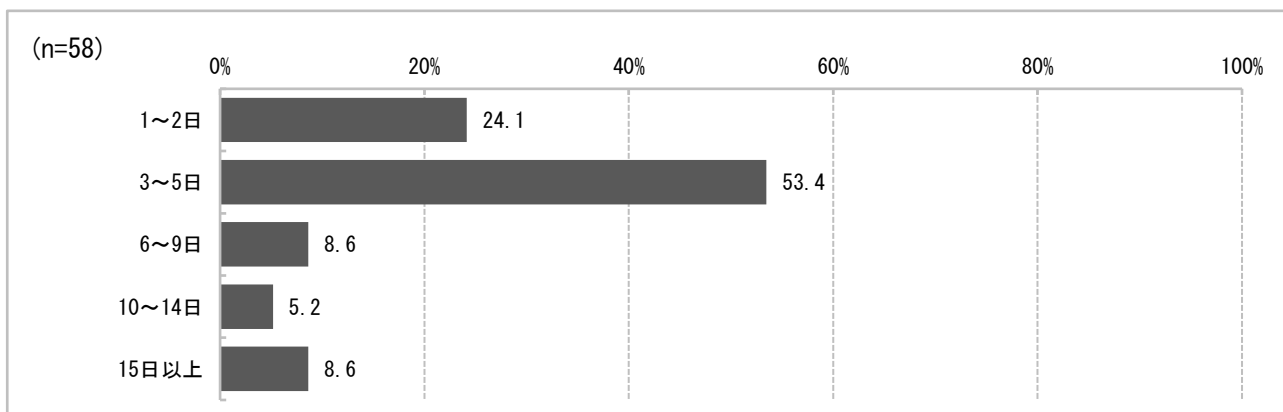
①仕事を休まなかった方の仕事を休んで子どもを看たい意向〈単数回答〉

- 「できれば仕事を休んで看たい」が 64.4%、「休んで看することは非常に難しい」が 35.6%となっています。



②仕事を休んで看たい日数〈「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方／単数回答〉

- 「３～５日」が 53.4%と最も多く、次いで「１～２日」が 24.1%となっています。

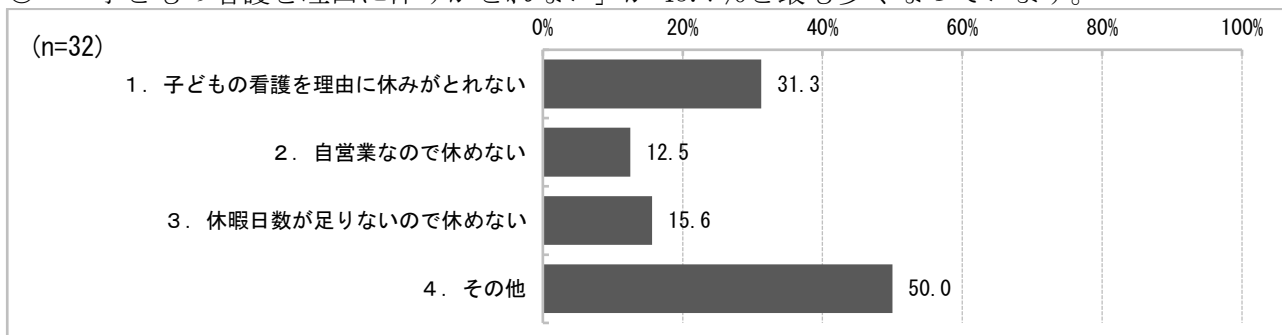


（６）休んで看ることが困難な理由〈単数回答〉

問 19 で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○を付けた方にうかがいます。

問 20 そう思われる理由は何ですか。

○ 「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 45.7%と最も多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・急に休むことで職場に迷惑がかかるため
- ・休みとっても仕事の遅れを取り戻すことが大変なため

6. 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について【問 21～問 23】

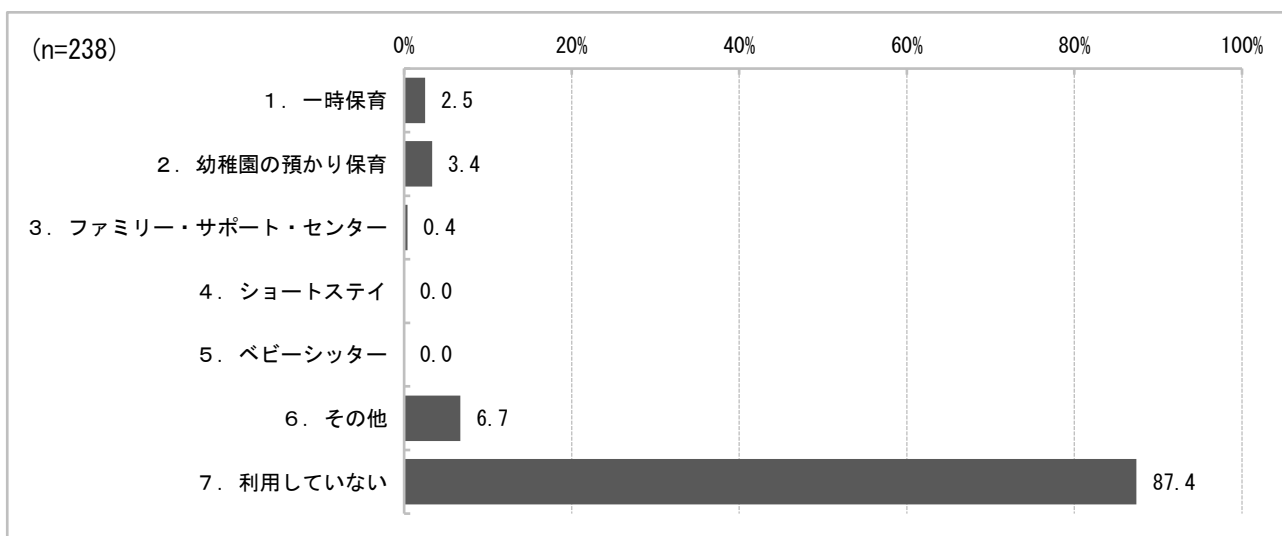
（１）突発的な保育を利用している事業の有無〈複数回答〉

問 21 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期な就労などの目的で利用している事業がありますか。あてはまる番号すべてに○を付け、利用している事業がある場合は、1 年間の利用日数（おおよそ）も記入してください。

①突発的な保育（事業）の利用有無〈複数回答〉

○ 「利用していない」が 87.4%と最も多くなっています。

○ 利用している事業をみると、「幼稚園の預かり保育」が 3.4%、「一時保育」が 2.5%となっています。



【その他の主な内容】

- ・学童
- ・放課後等デイサービス

②突発的な保育（事業）の利用日数〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 一時保育では「3～5日」が50.0%と最も多く、幼稚園の預かり保育では「3～5日」と「15日以上」がともに37.5%が最も多くなっています。

単位：％

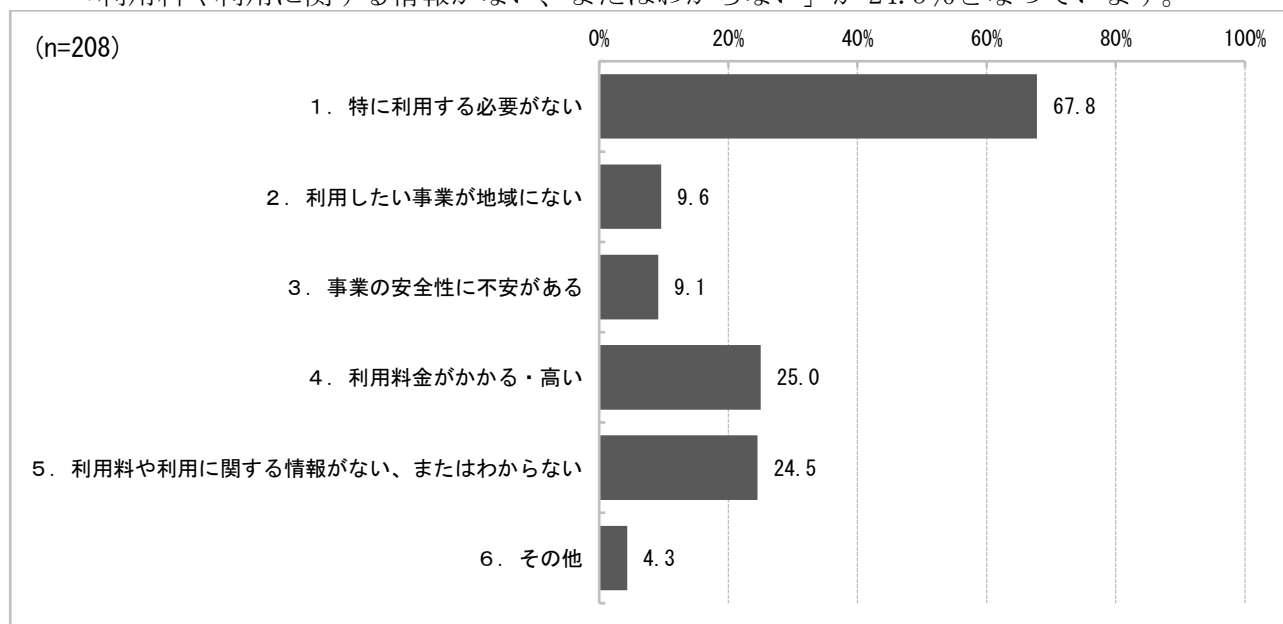
	一時保育	幼稚園の 預かり保育	ファミリー・ サポート・ センター
	n=6	n=8	n=1
1～2日	16.7	12.5	0.0
3～5日	50.0	37.5	0.0
6～9日	0.0	0.0	0.0
10～14日	0.0	12.5	0.0
15日以上	33.3	37.5	100.0

（２）突発的な保育を利用していない理由〈複数回答〉

問 21 で「７．利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

問 22 現在利用していない理由は何ですか。

- 「特に利用する必要がない」が67.8%と最も多く、次いで「利用料金がかかる・高い」が25.0%、「利用料や利用に関する情報が無い、またはわからない」が24.5%となっています。



【その他の主な内容】

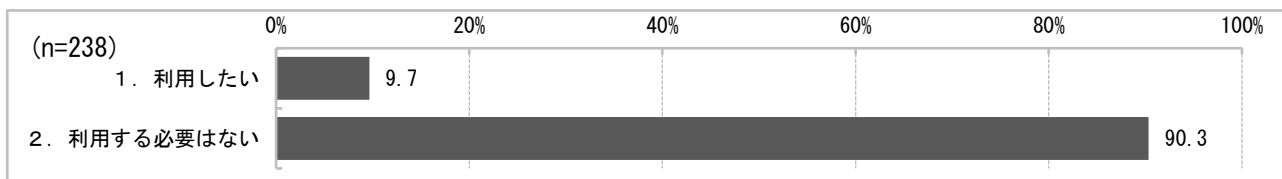
- ・利用したいときに利用できないため
- ・近くにないため

(3) 突発的な保育の利用希望

問 23 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○を付け、必要な日数をご記入ください。

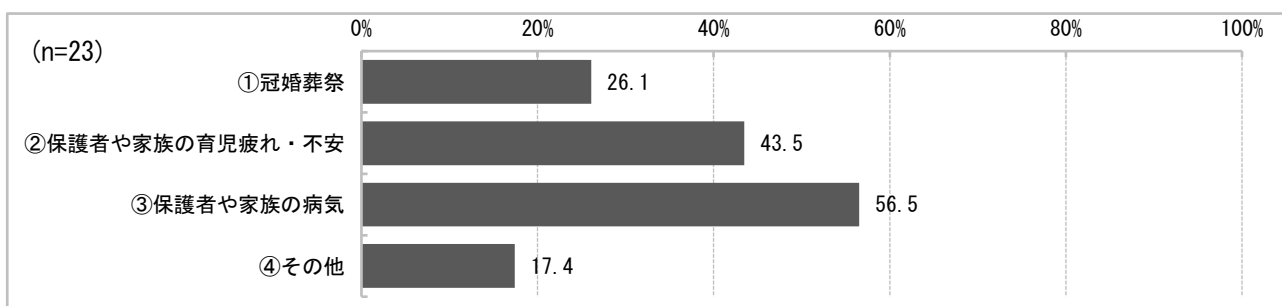
①突発的な保育の利用希望〈単数回答〉

○ 「利用したい」が9.7%、「利用する必要はない」が90.3%となっています。



②利用したい目的の内訳〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

○ 「保護者や家族の病気」が56.5%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が43.5%、「冠婚葬祭」が26.1%となっています。



【その他の主な内容】

・ 仕事 ・ 親の介護

③利用希望の年間日数〈「利用したい」を選んだ方／数量回答〉

○ 「冠婚葬祭」では「1～2日」が83.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」では「3～5日」が40.0%、「保護者や家族の病気」では「3～5日」が38.5%と、いずれも5日以下が最も多くなっています。

	冠 婚 葬 祭	保 護 者 や 家 族 の 育 児 疲 れ ・ 不 安	保 護 者 や 家 族 の 病 気
	n=6	n=10	n=13
1～2 日	83.3	30.0	30.8
3～5 日	16.7	40.0	38.5
6～9 日	0.0	0.0	0.0
10～14 日	0.0	30.0	23.1
15 日以上	0.0	0.0	7.7

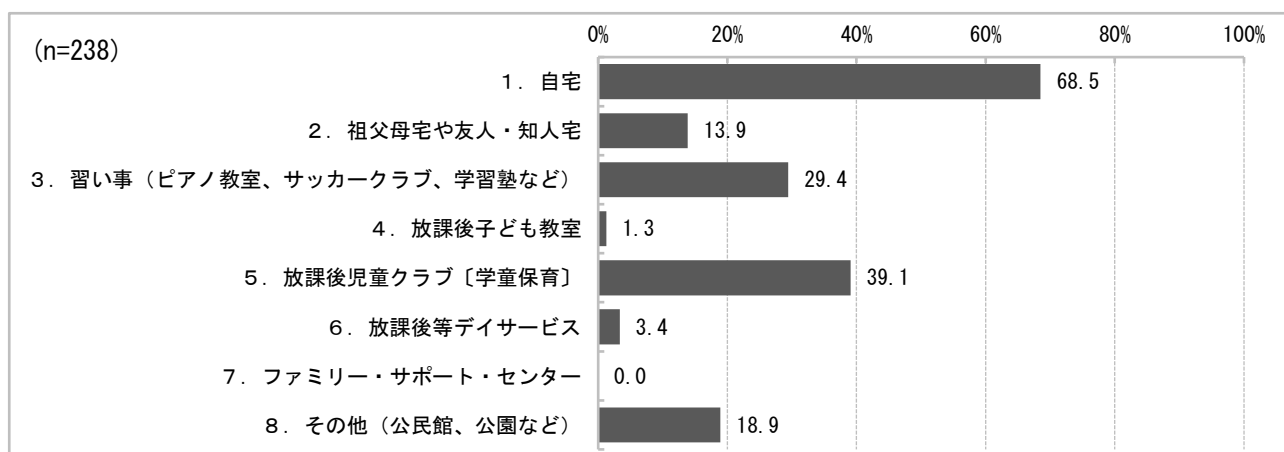
7. 小学校での放課後の過ごし方について【問 24～問 29】

(1) 放課後を過ごす場所〈複数回答〉

問 24 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）、どのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。また、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の場合には、利用している週あたりの日数、下校時からの利用時刻と利用希望の最終学年も記入してください。

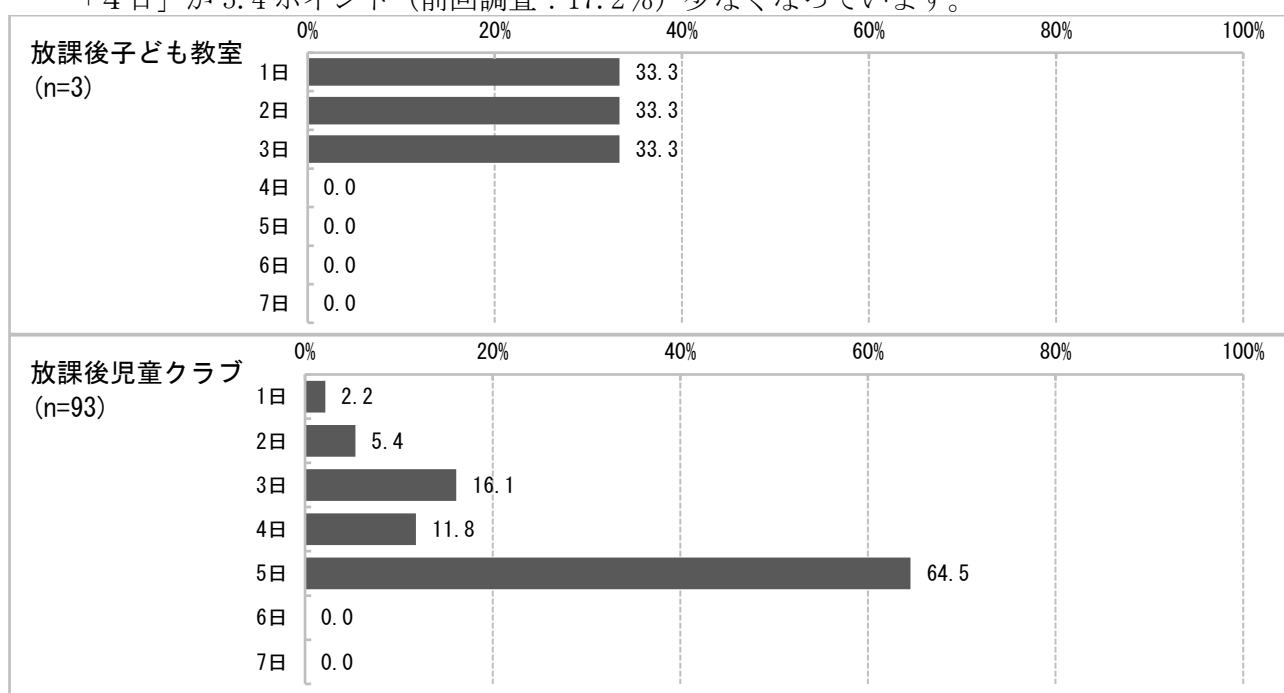
①放課後を過ごす場所〈複数回答〉

- 「自宅」が 68.5%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 39.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 29.4%となっています。



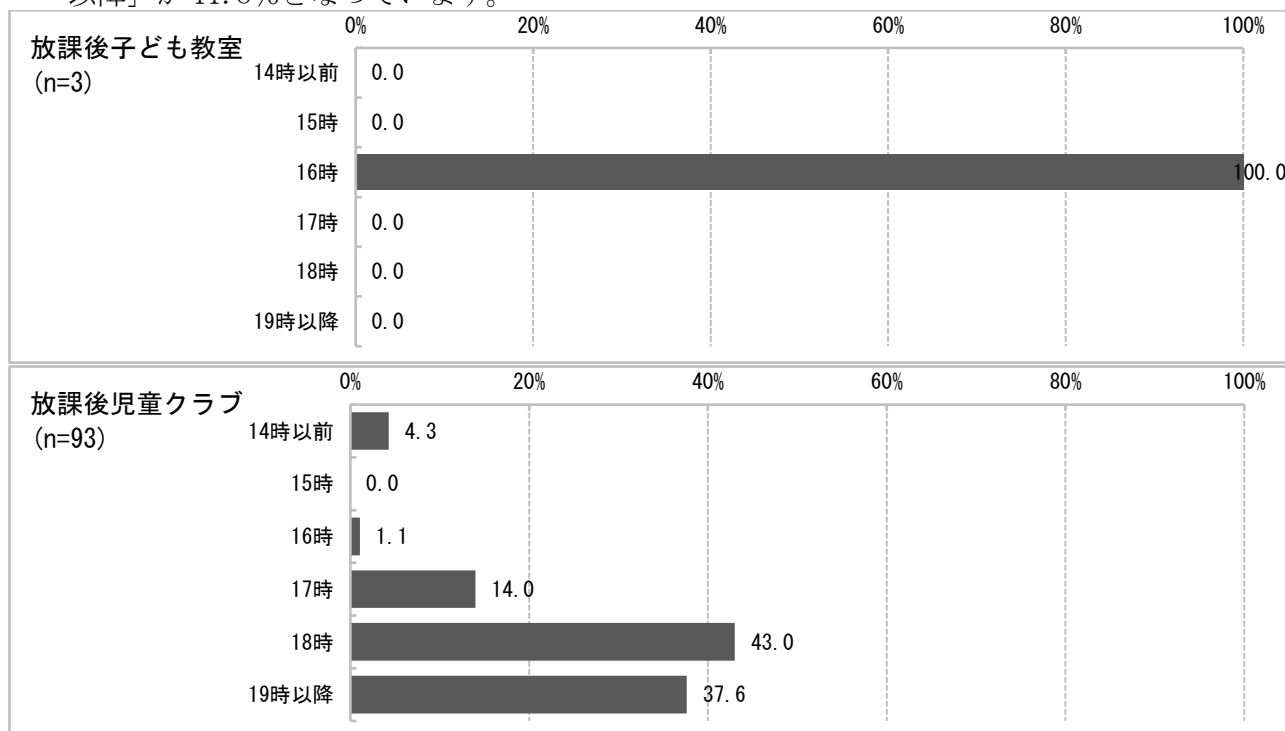
②放課後子ども教室と放課後児童クラブの1週あたり利用希望日数〈数量回答〉

- 放課後子ども教室をみると、「1日」、「2日」、「3日」がいずれも 33.3%となっています。
- 放課後児童クラブをみると、「5日」が 64.5%と最も多く、次いで「3日」が 16.1%となっています。前回調査と比較すると、「5日」が 1.1 ポイント（前回調査：63.4%）前回より多く、「4日」が 5.4 ポイント（前回調査：17.2%）少なくなっています。



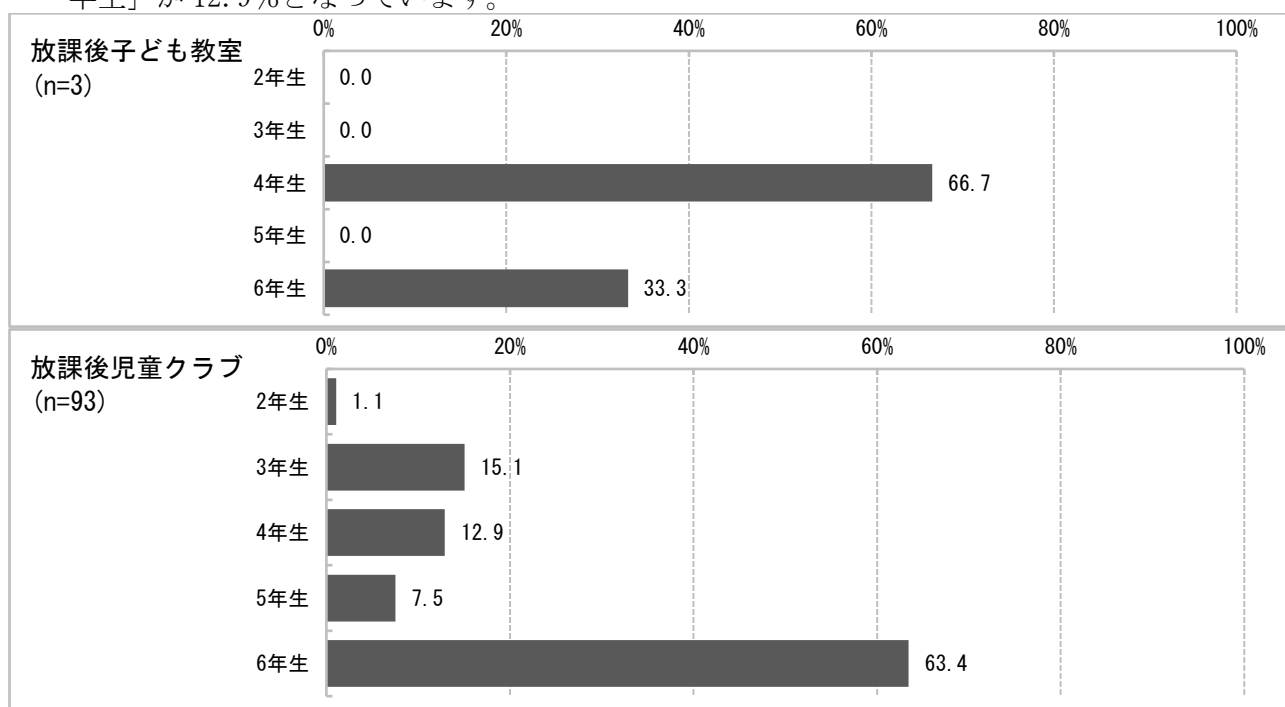
③放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用希望時刻〈数量回答〉

- 放課後子ども教室をみると、「16 時」が 60.0%と最も多く、次いで「14 時以前」と「15 時」、「17 時」がいずれも 10.0%となっています。
- 放課後児童クラブをみると、「18 時」が 53.8%と最も多く、次いで「17 時」が 26.9%、「19 時以降」が 11.8%となっています。



④放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用希望の最終学年〈数量回答〉

- 放課後子ども教室をみると、「4 年生」が 66.7%と最も多く、次いで「6 年生」が 33.3%となっています。
- 放課後児童クラブをみると、「6 年生」が 63.4%と最も多く、次いで「3 年生」が 15.1%、「4 年生」が 12.9%となっています。



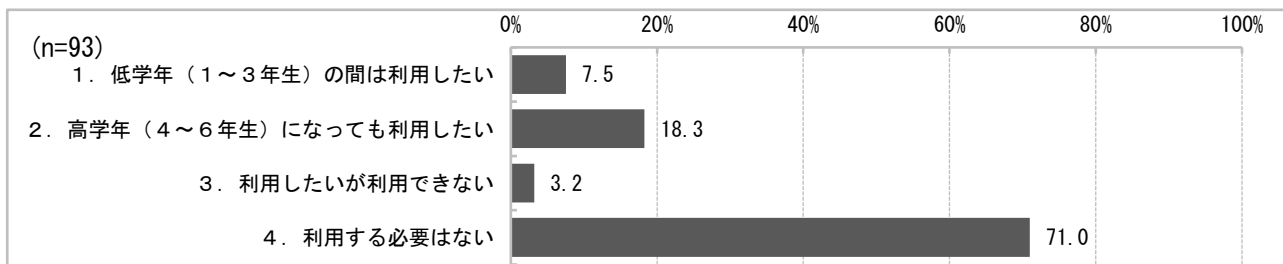
（２）土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈複数回答〉

問 24 で「５．放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○を付けた方にうかがいます。

問 25 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日の利用希望〈単数回答〉

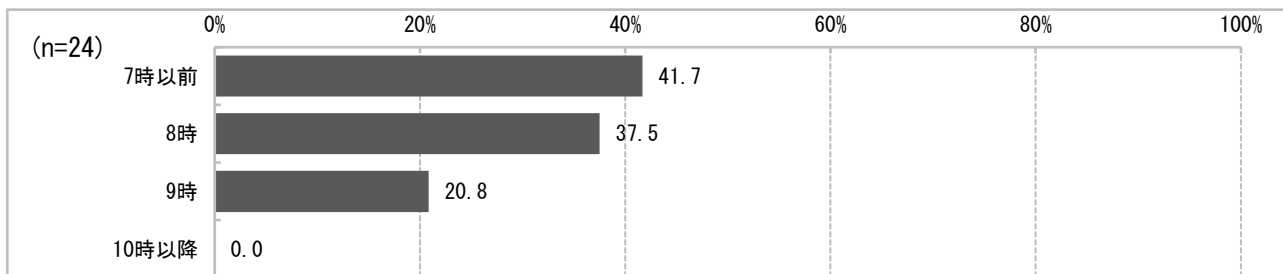
- 「利用する必要はない」が 71.0 と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 18.3%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 7.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 2.2 ポイント（前回調査：9.7%）前回より少なく、反対に「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 1.1 ポイント（前回調査：17.2%）前回より多くなっています。



②土曜日の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

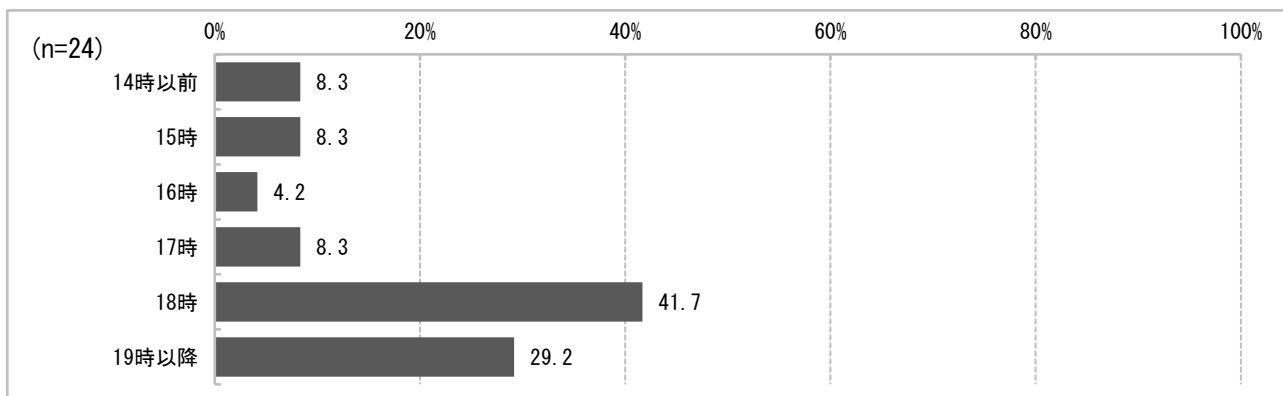
- 「７時以前」が 41.7% と最も多く、次いで「８時」が 37.5%、「９時」が 20.8% となっています。



③土曜日の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

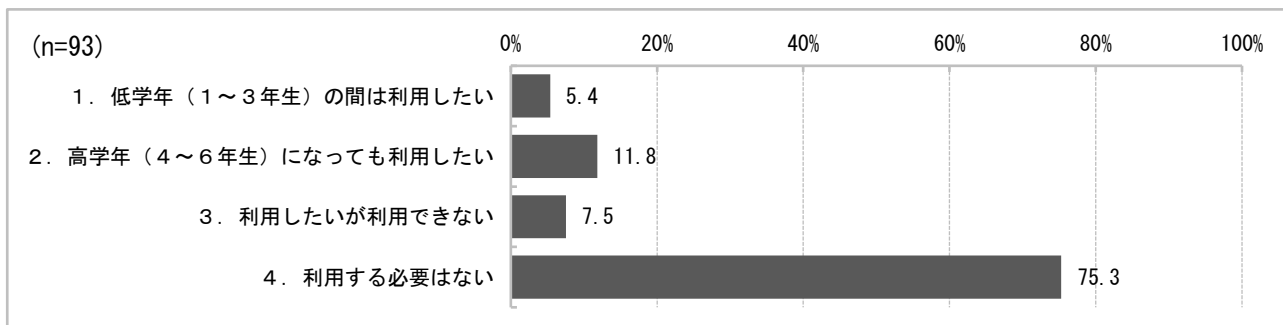
- 「１８時」が 41.7% と最も多く、次いで「１９時以降」が 29.2% となっています。



④日曜日・祝日の利用希望〈単数回答〉

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

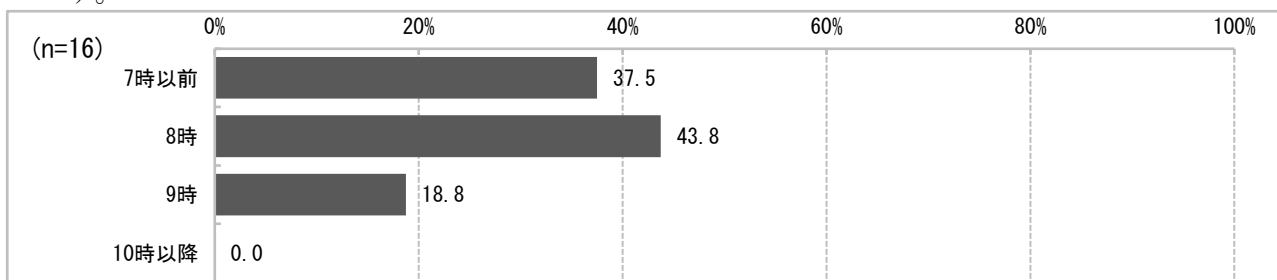
- 「利用する必要はない」が75.3%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が11.8%、「利用したいが利用できない」が7.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が2.2ポイント（前回調査：3.2%）、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が2.1ポイント（前回調査：9.7%）前回より多くなっています。



⑤日曜日・祝日の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

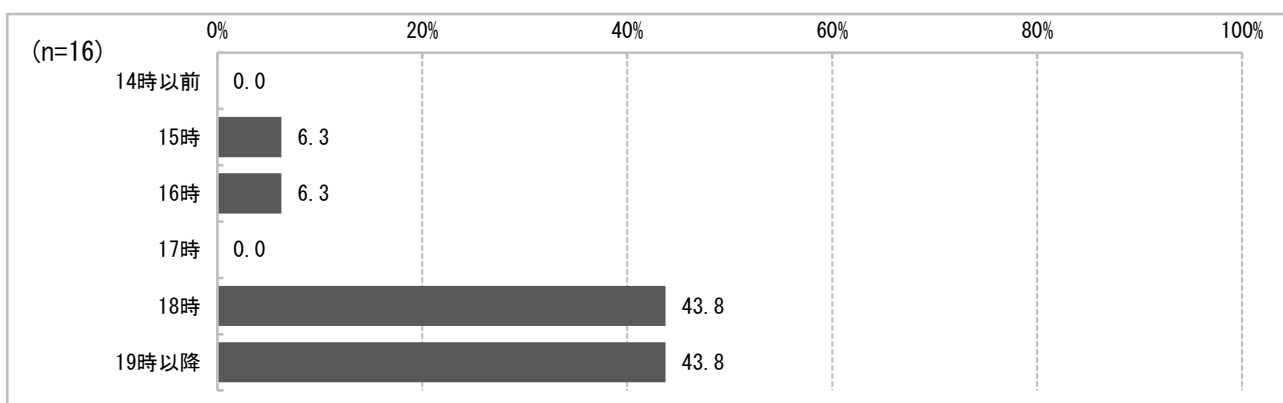
- 「８時」が43.8%と最も多く、次いで「７時以前」が37.5%、「９時」が18.8%となっています。



⑥日曜日・祝日の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「18時」と「19時以降」がともに43.8%と最も多く、次いで「15時」と「16時」がともに6.3%となっています。



（３）放課後児童クラブを利用したいが利用できない理由〈自由記述〉

問 25 で「３．利用したいが利用できない」に○を付けた方にうかがいます。

問 26 利用できない理由は何ですか。

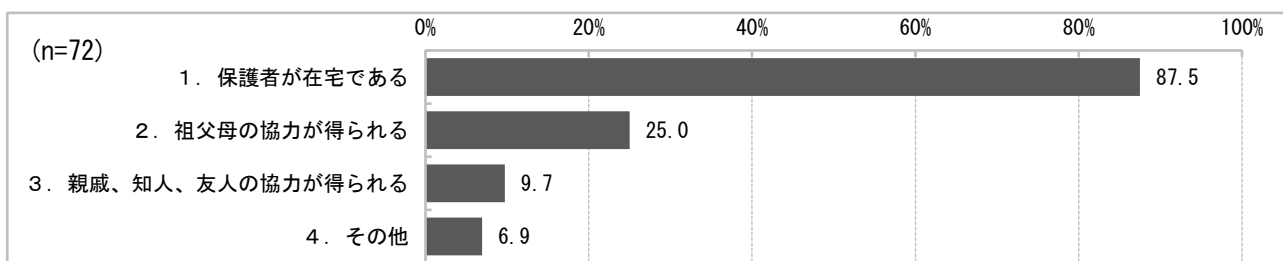
- 主な回答として、「土日祝日に利用できないため」や「料金がかかるため」などが挙げられています。

（４）放課後児童クラブを利用する必要がない理由〈複数回答〉

問 25 で「４．利用する必要はない」に○を付けた方にうかがいます。

問 27 利用する必要がない理由は何ですか。

- 「保護者が在宅である」が 87.5%と最も多く、次いで「祖父母の協力が得られる」が 25.0%となっています



【その他の主な内容】

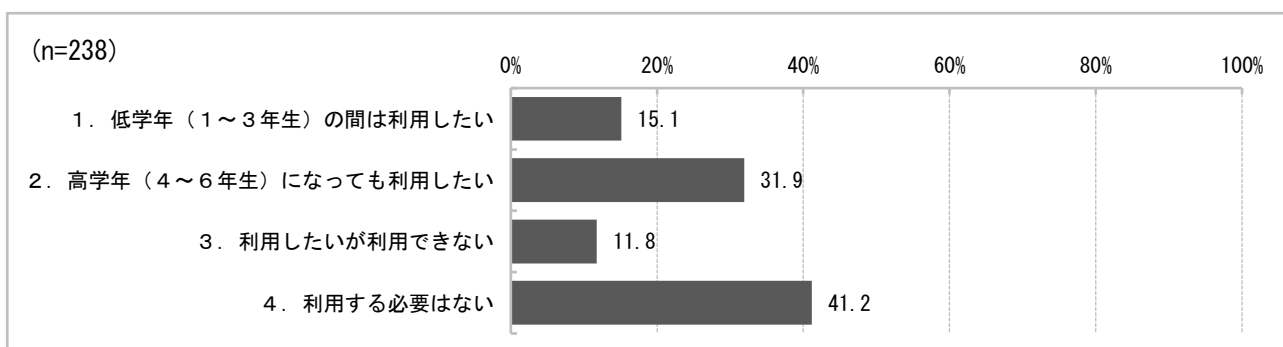
- ・子どもが自立できているため
- ・兄弟がいるため

（５）長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 28 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

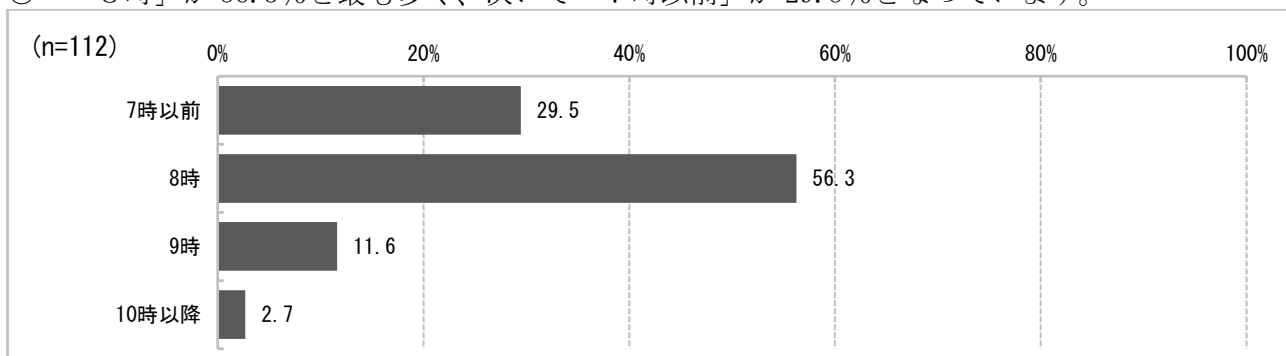
- 「利用する必要はない」が 41.2%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 31.9%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 15.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 4.5 ポイント（前回調査：19.6%）前回より少なく、反対に「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 3.4 ポイント（前回調査：28.5%）前回より多くなっています。



②長期休暇中の利用希望開始時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

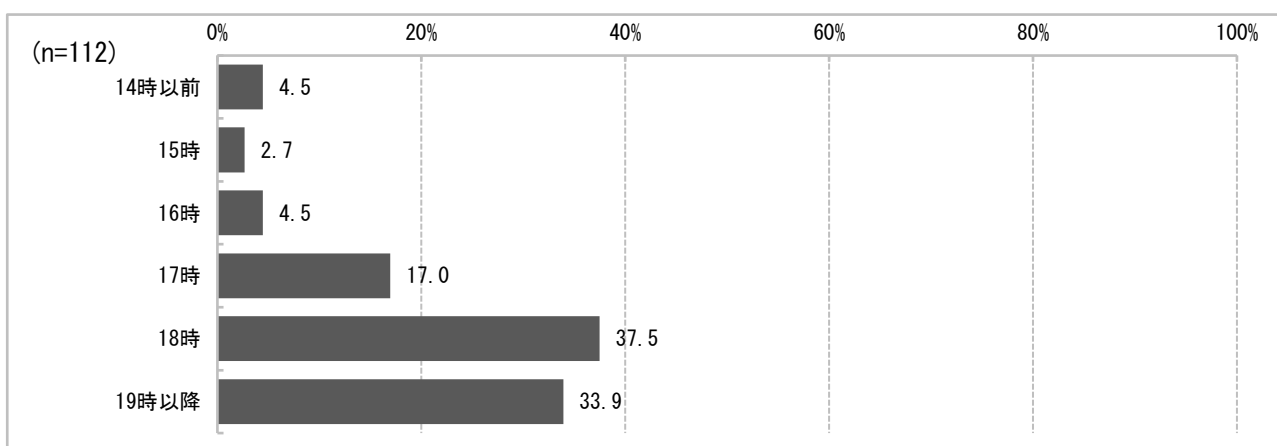
- 「８時」が 56.3%と最も多く、次いで「７時以前」が 29.5%となっています。



③長期休暇中の利用希望終了時刻

〈「低学年（１～３年生）の間は利用したい」または「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方／数量回答〉

- 「18 時」が 37.5%と最も多く、次いで「19 時以降」が 33.9%、「17 時」が 17.0%となっています。



（６）放課後児童クラブを利用したいが利用できない理由〈自由記述〉

問 28 で「３．利用したいが利用できない」に○を付けた方にうかがいます。

問 29 利用できない理由は何ですか。

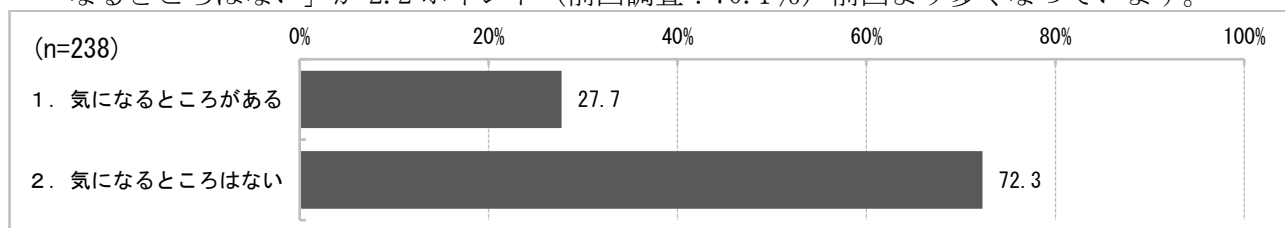
- 主な回答として、「長期休暇のみの利用ができないため」、「空きがなく断られたため」、「料金が
高いため」、「送迎バスの対象地域に含まれないため」、「近くにないため」、「子どもが嫌がるた
め」などが挙げられました。

8. 子どもの気になるところについて【問 30～問 32】

(1) 子どもの気になるところの有無〈単数回答・自由記述〉

問 30 お子さんについて、「気になるところ」がありますか。

- 「気になるところがある」が 27.7%、「気になるところはない」が 72.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「気になるところがある」が 3.2 ポイント（前回調査：24.5%）、「気になるところはない」が 2.2 ポイント（前回調査：70.1%）前回より多くなっています。

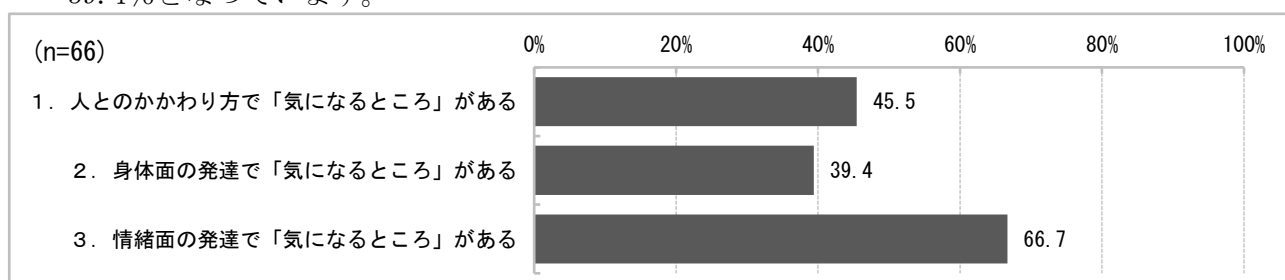


(2) 子どもの気になるところ〈複数回答・自由記述〉

問 30 で「1. 気になるところがある」に○を付けた方にうかがいます。

問 31 お子さんについて、下記のようなところが気になりますか。

- 「情緒面の発達で『気になるところ』がある」が 66.7%と最も多く、次いで「人とかかわり方で『気になるところ』がある」が 45.5%、「身体面の発達で『気になるところ』がある」が 39.4%となっています。



(3) 施設・機関などの認知・利用状況と今後の利用意向

問 30 で「1. 気になるところがある」に○を付けた方にうかがいます。

問 32 ①から⑤について相談・利用できることを知っているものや、これまでに相談・利用したことがあるもの、今後相談・利用したいと思うものをお答えください。

①認知状況〈単数回答〉

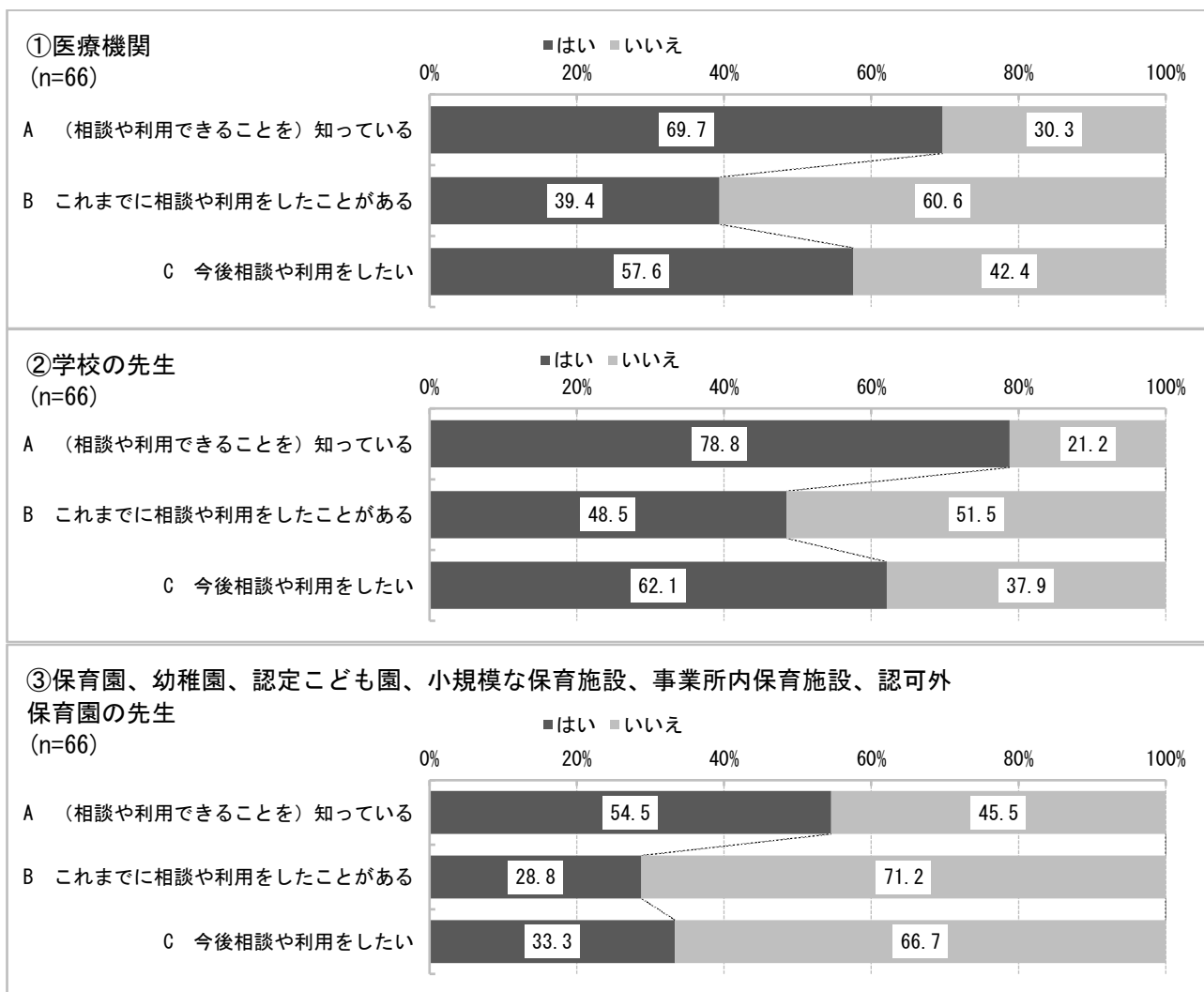
- “知っている”に「はい」と回答された方をみると、「④行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 80.3%と最も多く、次いで「②学校の先生」が 78.8%、「①医療機関」が 69.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が 25.3 ポイント（前回調査：44.4%）、「②学校の先生」が 11.0 ポイント（前回調査：67.8%）、「③保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が 7.8 ポイント（前回調査：46.7%）、「④行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が 42.5 ポイント（前回調査：37.8%）、「⑤民間の療育施設など」が 33.7 ポイント（前回調査：17.8%）前回より多くなっています。

②現在の相談・利用状況〈単数回答〉

- “これまでに相談や利用をしたことがある”に「はい」と回答された方をみると、「⑥その他」が79.2%と最も多く、次いで「②学校の先生」が48.5%、「①医療機関」と「④行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」がともに39.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が6.1ポイント(前回調査：33.3%)、「④行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が20.5ポイント(前回調査：18.9%)、「⑤民間の療育施設など」が21.4ポイント(前回調査：4.4%)前回より多く、反対に「②学校の先生」が12.6ポイント(前回調査：61.1%)、「③保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が4.5ポイント(前回調査：33.3%)少なくなっています。

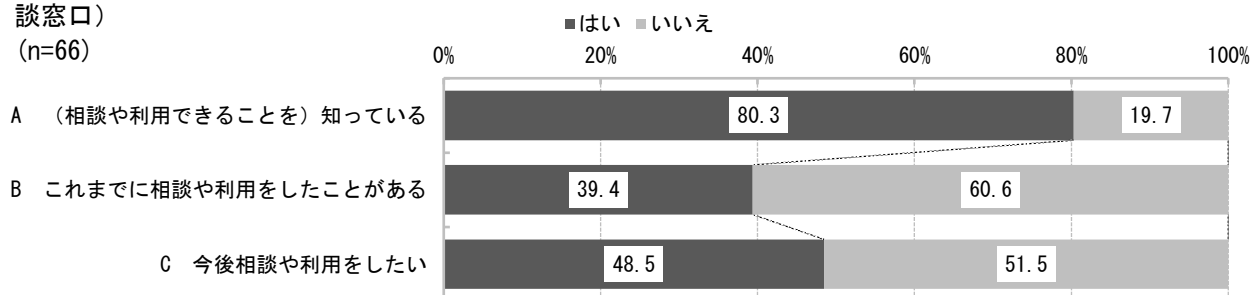
③今後の相談・利用意向〈単数回答〉

- “今後相談や利用をしたい”に「はい」と回答された方をみると、「⑥その他」が91.7%と最も多く、次いで「②学校の先生」が62.1%、「①医療機関」が57.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「①医療機関」が22.0ポイント(前回調査：35.6%)、「②学校の先生」が14.3ポイント(前回調査：47.8%)、「④行政機関(子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口)」が24.1ポイント(前回調査：24.4%)、「⑤民間の療育施設など」が21.5ポイント(前回調査：13.3%)前回より多く、反対に「③保育園、幼稚園、認定こども園、小規模な保育施設、事業所内保育施設、認可外保育園の先生」が13.4ポイント(前回調査：46.7%)前回より少なくなっています。



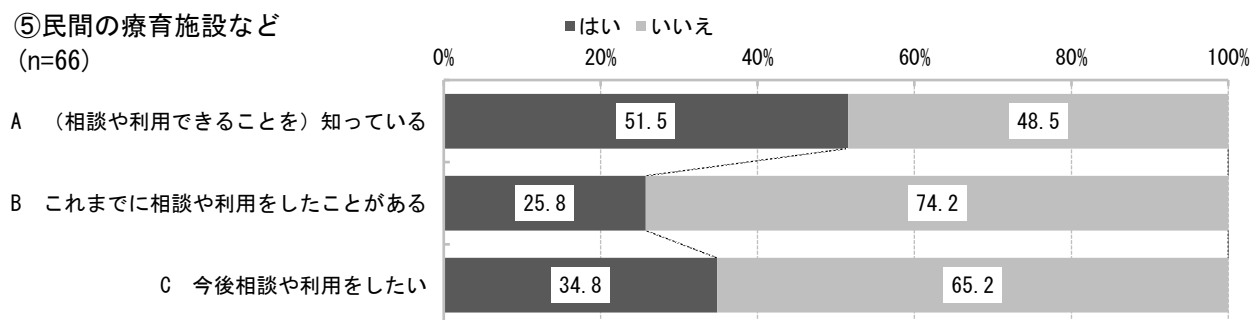
④行政機関（子育て支援課、こども発達支援課、健康推進課、障がい福祉課などの相談窓口）

(n=66)



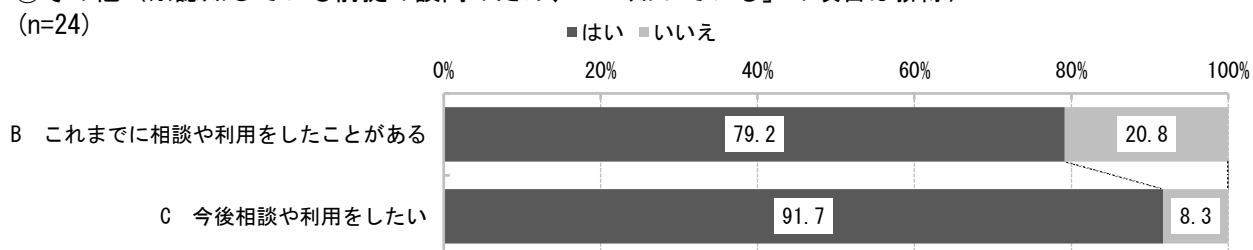
⑤民間の療育施設など

(n=66)



⑥その他（※認知している前提の設問のため、「A 知っている」の項目は排除）

(n=24)

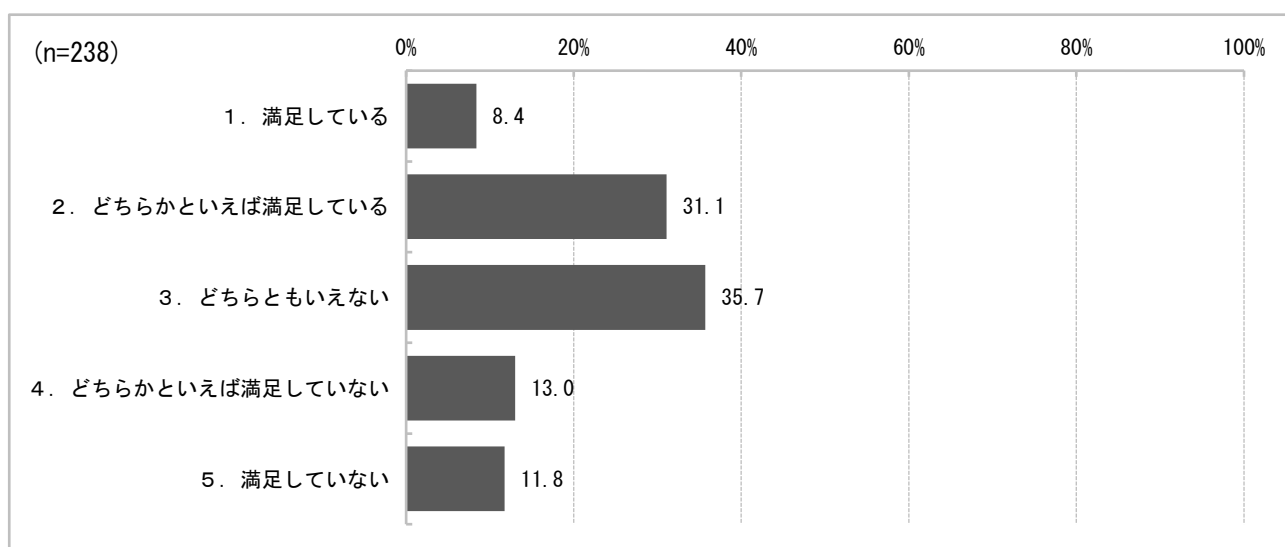


9. 子育て支援施策の全般について【問 33～問 35】

(1) 子育て環境や支援の満足度〈単数回答〉

問 33 あなたは、お住まいの地域における子育ての環境や支援について、満足していますか。

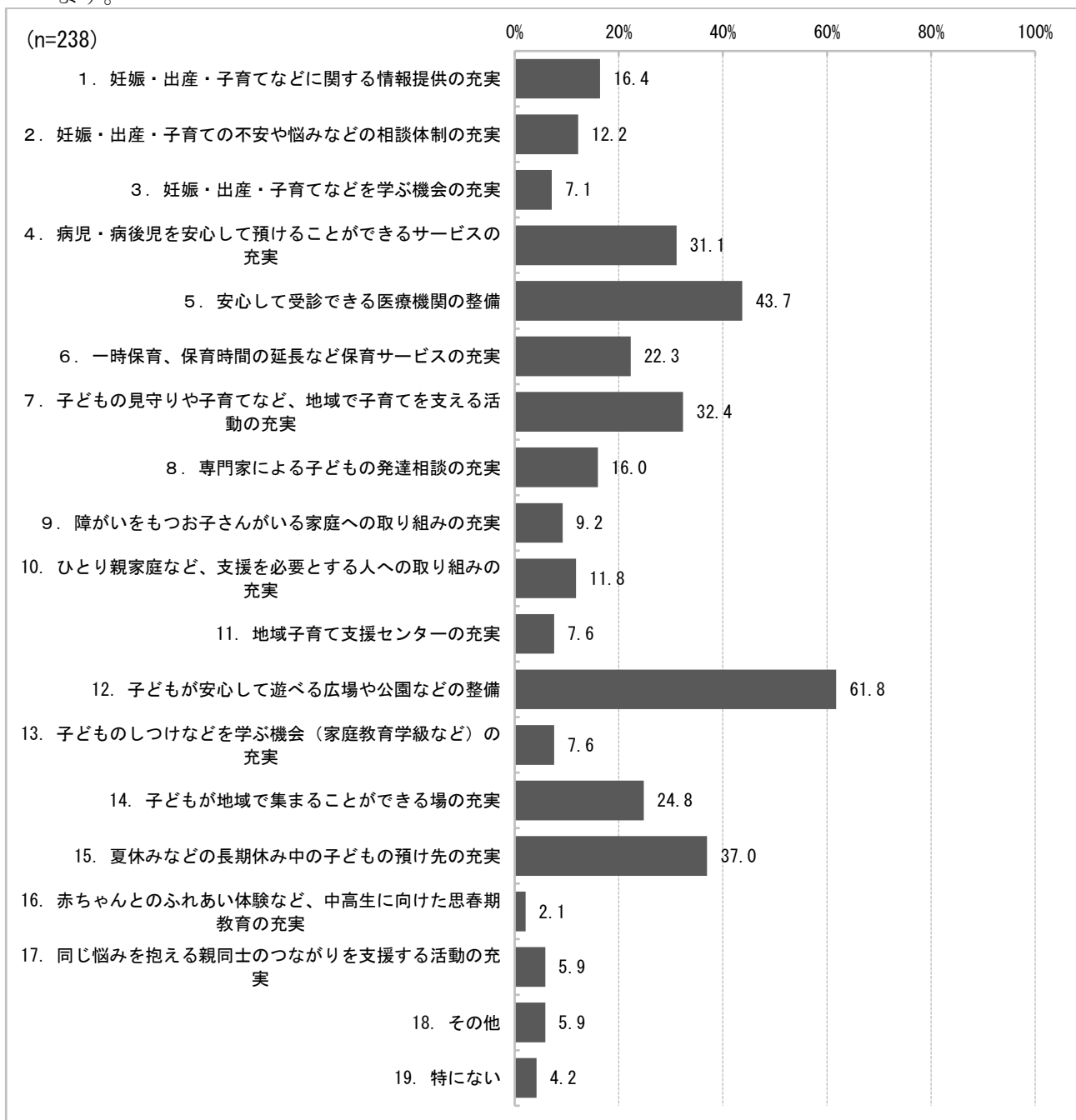
- 「どちらともいえない」が 35.7%と最も多くなっています。
- 「満足している」(8.4%)と「どちらかといえば満足している」(31.1%)を合わせた“満足”が 39.5%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば満足していない」(13.0%)と「満足していない」(11.8%)を合わせた“不満”が 24.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”が 4.5 ポイント（前回調査：35.0%）、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせた“不満”が 1.7 ポイント（前回調査：23.1%）前回より多くなっています。



(2) 子育て支援施策に取り組んでいくために重要なこと〈複数回答／最大5つまで〉

問 34 今後、市として子育て支援施策に取り組んでいくために重要なことは何だと思いますか。

- 「子どもが安心して遊べる広場や公園などの整備」が 61.8%と最も多く、次いで「安心して受診できる医療機関の整備」が 43.7%、「夏休みなどの長期休み中の子どもの預け先の充実」が 37.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「5. 安心して受診できる医療機関の整備」が 15.4 ポイント（前回調査：28.3%）、「8. 専門家による子どもの発達相談の充実」が 6.5 ポイント（前回調査：9.5%）前回より多く、反対に「9. 障がいをもつお子さんがいる家庭、ひとり親家庭など、支援を必要とする人への取り組みの充実」が 9.3 ポイント（前回調査：18.5%）、「14. 子どもが地域で集まることができる場の充実」が 7.8 ポイント（前回調査：32.6%）、「15. 夏休みなどの長期休み中の子どもの預け先の充実」が 5.4 ポイント（前回調査：42.4%）前回より少なくなっています。



以上